

注意／Attention

ここに掲載されているシラバスは、
2025 年 3 月 31 日時点の内容です。
最新版は学務情報システムでご確認
ください。

The syllabuses listed below are the
latest version as of March 31, 2025.

Please check the Student Affairs
Information System for updates.

経済学入門A/Introduction to Economics A

担当教員/Instructor: 古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period: 火曜3限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0201J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google Classroom Code: uge7rgh

経済学入門 A ではマルクス経済学の概要について学びます。

東北大学や東京大学に限らず、日本の大学ではマルクス経済学と近代経済学という、二系統の経済理論が入門的科目で教育されてきました。東北大学では基礎専門科目の経済学入門 A と経済学入門 B が、東京大学では基本科目の経済理論 A (I/II) と経済理論 B (I/II) がそれにあたっていました。マルクス経済学は K. マルクスと F. エンゲルスの理論に基づくもので、近代経済学（これは日本独特の名称です）は L. ワルラスや A. マーシャル、J. M. ケインズの理論に基づいていました。

マルクス主義に基づいていたはずのソ連が 1991 年末に崩壊したことは、さまざまな意味でマルクス経済学にとっても大打撃となりました。それから三十数年後の現在、近代経済学（この名称もあまり使われなくなりました）と相並ぶ経済理論としてマルクス経済学を教育することの説得力は、大幅に低下したといっているでしょう。

では経済学入門 A を学ぶ意味はどのあたりにあるのでしょうか。マルクス経済学と近代経済学が火花を散らし対立していたさなか、東京大学の（マルクス経済学側ではなくて）近代経済学側の泰斗・小宮隆太郎や根岸隆、宇沢弘文らは次のように述べました。「近代経済学を学ぶ人がつねに広い視野をもち、経済社会の発展にともなって提起されてくる新しい経済問題に対して新鮮な感覚で接し、それらに答えてゆくためには、他の社会科学やマルクス経済学に目を閉ざすべきではない。思想や哲学は科学の母である。一つの偉大な思想であるマルクス経済学に接し、その問題提起を批判的に検討してゆくことは、経済学を学ぶものにとって必要なことであるとわれわれは考えるものである。」

この授業でも、一つには今日の経済学がその近接学問領域との相互作用のなかで作られてきたことを理解するための思想・理論として、二つには今日の西側を含めた政治・社会・経済の形成に少なからず与ってきた思想・理論として、マルクスの経済学を学んでいきます。（マルクス経済学が近代経済学を代替すべきと唱える授業でもなければ、マルクス主義が全面的に正しいと喧伝する授業でもありません。）

（ちなみに小宮隆太郎先生たちが上のように書いたのは、マルクス経済学の陣営と近代経済学の陣営とが、醜いまでにいがみ合っていた時期のことです。大阪大学の斎藤謹造先生（近代経済学）はほぼ同じ頃に次のように書いています。「カール・マルクスが経済学の歴史においてもっとも巨大な存在の一人であったことは、今日では近代経済学者のほとんどが率直にみとめるところである。しかし、だからといってマルクス経済学と近代経済学の間のこえがたい断絶が消えたわけではなく、相互の敵視や黙殺の傾向は現在でもかなり根強いといわなければならない。」このような情勢のなか、近代経済学を学ぶ経済学部生にとってマルクス経済学を学ぶことも必要なだと小宮先生たちが書いたことは、大家ゆえの卓見というべきでしょう。）

2. 学修の到達目標/Goal of study:

20 世紀の経済や政治にマルクス経済学が与えてきた影響について学ぶとともに、現代社会や現代思想とのつながりについて自ら考えられるようになる。

マルクス経済学の基本的な考えや概念についての知見を得るとともに、その長所・短所について自ら考えられるようになる。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

学事暦通りに通常の講義形式で進め、学期中に何回か小テストを挟みます。以下の講義内容は予定です（変更があり得ます）。

- ① 4月8日 オリエンテーション
- ② 4月15日 20世紀の世界とマルクス
- ③ 4月22日 経済学の危機（19世紀半ばの古典派経済学）
- ④ 5月13日 唯物史観
- ⑤ 5月20日 恐慌と階級
- ⑥ 5月27日 広義の経済学と狭義の経済学、プラン問題
- ⑦ 6月3日 「ここがロドスだ、さあ跳んでみろ！」商品・貨幣・資本
- ⑧ 6月10日 「われ亡きあとに洪水はきたれ！」剰余価値論
- ⑨ 6月17日 「最近10年間のロンドンでの飢え死にの激増は、ミシン裁縫業の拡大に並行している」協業・分業・機械製大工業
- ⑩ 6月24日 「資本は、頭から爪先まで毛穴という毛穴から血と汚物をしたたせながら生まれてくる」資本の蓄積・本源的蓄積
- ⑪ 7月1日 資本の循環・回転と再生産表式
- ⑫ 7月8日 剰余価値の分割
- ⑬ 7月15日 マルクスの未来社会論
- ⑭ 7月22日 マルクス以降のマルクス主義
- ⑮ 7月29日 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

小テスト・課題で計 40 点・理解度確認セッションで 60 点
小テスト・課題については初回の授業で説明します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

教科書は使わず、
資料を配布しつつ
授業する予定です。

下の「その他」に、
読書案内として
いくつか本を挙
げておきました。

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎回、教材の一部を読んできてもらい、学期中一回は課題にも取り組んでもらう予定です。
いずれも初回の授業で説明します。

10. その他/In addition :

読書案内

★マルクスとエンゲルスの著作を手にとってみようという場合は

- マルクス『賃労働と資本／賃金・価格・利潤』森田成也訳、光文社古典新訳文庫 2014 年
- マルクス『共産党宣言』森田成也訳、光文社古典新訳文庫 2020 年
- エンゲルス『空想から科学へ』村田陽一訳、大月書店 2009 年
- エンゲルス『フォイエルバッハ論』渡辺憲正訳、大月書店 2010 年

★マルクスとマルクス経済学の入門的解説

- 鈴木直『思想史の中のマルクス——資本主義はどこへゆくのか (NHK カルチャーラジオ 歴史再発見ムック)』NHK 出版 2014 年 (鈴木直『マルクス思想の核心——21 世紀の社会理論のために』NHK ブックス 2016 年)
- 池上彰『高校生からわかる「資本論」』集英社 2019 年
- マルチェロ・ムスト『アナザー・マルクス』江原慶・結城剛志訳、堀之内出版 2018 年

★『資本論』の解説

- 伊藤誠『『資本論』を読む』講談社学術文庫 2006 年

★宇野派の経済原論のテキスト

- 山口重克『経済原論講義』東京大学出版会 1985 年
- 伊藤誠『資本主義経済の理論』岩波書店 1989 年

★宇野派ではない経済原論のテキスト

- 富塚良三『経済原論簡約版——資本主義経済の構造と動態』有斐閣 2007 年

★マンガ・映画

- 野口美代子・丸川楠美『マルクス&エンゲルス』1-4 巻、高文研 2019-2023 年
- マルクス・エンゲルス (ラウル・ペック監督) 2017 年

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学入門B/Introduction to Economics B

担当教員/Instructor: 吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 水曜1限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0202J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済学の入門的知識を講義形式でレクチャーする

2. 学修の到達目標/Goal of study:

近代経済学の基礎的な理論がわかるようになる。

特に、専門課程のミクロ経済学、マクロ経済学の基礎が理解できるようになることが目標。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

0. イントロダクション (近代経済学とはどのような学問か) ;Introduction

1. 消費者行動の経済学 (何をどれだけ買ったら幸せになるか) ;Consumer

2. 企業行動の経済学 (何をどれだけ作ればもうかるか) ;Firms

3. 市場の経済学 (需要と供給の会合のところで何が起こるか) ;Market

4. 金融の経済学 (貨幣、銀行、株式市場のはたらき) ;Finance and Money

5. マクロの経済学 (国民総生産、インフレ、デフレとはなにか) ;Macro economics

6. 政府の経済学 (税金、公共財、景気対策、福祉事業) ;Public sector

7. 国際経済学 (貿易収支、外国為替、国際的政策協調) ;International economics

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

学期末にマークシート式の理解度確認セッション (100点法、持ち込み不可) を行う。

追試験や再試験の条件は高校までと異なるので、必ず学生便覧を読んでおく。

個別に追試や救済レポートはありません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

『近代経済学入門 吉田 浩 丸善 (生協にてタ
ブレットで読む
デジタル教材と
して販売される
予定 (2025.09))

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

各講義で練習問題を出すので復習すること

10. その他/In addition:

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営学入門/Introduction to Business and Management

担当教員/Instructor: 高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN201J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

C・I・バーナードの近代組織論を基軸に、組織とは何か、どのようなメカニズムで成り立っているか、どのように管理されるべきか、といった問題意識を背景に経営管理論の諸概念について学習する。

This lecture will provide you the basic knowledge of several concepts of business administration referring to the modern organization theory produced by C.I. Barnard so that you can understand what is the mechanism of business organization, how it should be managed and so on.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

2 年次以降、経営学を専門的に学習するにあたっての入門的知識を得ることを目指す。とりわけ身近で小規模な組織を題材に、目の前の具体的な経営事象について多角的に分析し、本質的に理解する経営学的センスを習得することを目標とする。

This lecture aims to let you acquire the introductory knowledge of management and the academic mind in learning how to analyze critical issues embedded in a small business case from various points of view

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

映像資料（ドラマ教材）等を交えながら、以下の分野（項目）について概説する。

- (1) 組織理論の基本枠組（管理過程論、協働システム論、意思決定論）
- (2) 組織構造論（連結ピンモデル、階層原理、組織のデザイン）
- (3) 組織行動論①モチベーション論（内発的動機付け、X-Y理論、動機付け-衛生理論）
- (4) 組織行動論②リーダーシップ論（権限受容説、行動類型論、道徳的リーダーシップ論）
- (5) 組織認識論（組織化プロセス、イナクトメント、組織文化の変革モデル）

本講義は対面授業を基本とするが、Google クラスルーム（下記コード）を通じて授業資料の配布、解説動画の配信及び提出課題の受付、オンライン審査を実施する予定である。

クラス コード: xn3ybuk （履修登録後、確認できます）

教室では、映像資料の視聴と演習問題に関するディスカッションを中心に進める（原則、教室に参集すること）。ただし授業欠席時も課題提出は可能である。

正規の履修登録をせず Google クラスルームのみの登録を通じたオンライン聴講を認める。

We will explore the following contents of the organization theories and frameworks; designing organizational structure, organizational behavior and organizational epistemology.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

各講の課題レポート及びオンライン審査に基づいて評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

コア・テキスト	高橋伸夫	新世社	2020	9.7848838432e+12	教科書
経営学入門 第2版					
基礎コース 経営学 第2版	小松章	新世社	2006	4883841057	参考書
テキスト経営学増補版	井原久光	ミネルヴァ書房	2000	46230512939.7848838432e+12	参考書
経営管理（有斐閣アルマ）新版	塩次喜代明、高橋伸夫、小林敏男	有斐閣	2009	20094641123756	参考書
1からの経営学	加護野忠男、吉村典久	碩学舎	2006	4502696102	参考書
わかる経営学	小樽商科大学・高大連携チーム	日本経済評論社	2005	4818817678	参考書
経営学入門（日経文庫）	榊原清則	日本経済新聞社	2002	4532108535	参考書
ドラマで学ぶ経営学	河西邦人	PHP 研究所	2007	4569659713	参考書

営学入門 ケースに学ぶ経 営学 新版 (有 斐閣ボックス)	東北大学経営学 有斐閣 グループ	2008	9784641183582	参考書

8. 関連URL/URL :

毎回の授業に教科書を持参 (参照) することが必須である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎週、次回の講義で取り上げる項目のテキスト該当箇所を指示するので、事前に通読しておくこと。また講義後は、学習した項目に関連して参考文献をテキストで確認し、図書館等で調べ理解を深めることが望ましい。

10. その他/In addition :

履修の条件：とくに予備知識を必要としない。

連絡先 (メールアドレス)：教員用 HP (<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/>) で確認のこと。

オフィファワー：木曜3限、その他随時 (出張等で不在の場合もありますので事前にご確認いただくことをお勧めします。研究室：経済学部棟 6F601)

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

会計学入門/Introduction to Accounting

担当教員/Instructor: 亀岡 恵理子 / ERIKO KAMEOKA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 4 限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC201J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

会計はビジネスに必須のコミュニケーション・ツールであり、しばしばビジネスの共通言語と表現される。会計の役割は、財務報告のサプライチェーンに携わる利害関係者間のコミュニケーションを促進することであり、会計情報は各利害関係者の意思決定を支える基礎となる。

この授業は会計に関する基礎的な知識や技術を習得することを目的とする。主たる会計情報である損益計算書や貸借対照表などの財務諸表を利用できるようになるためには、その作成方法である複式簿記を学ぶことが有益である。授業では複式簿記の仕組みについても説明する。

Accounting is an essential communication tool in business and is often called "the language of business." Its role is to facilitate communication among participants in the financial reporting supply chain. Accounting information serves as the basis for decision-making by various stakeholders.

This class aims to provide basic knowledge and skills in accounting. Learning double-entry bookkeeping is particularly useful, as financial statements such as the income statement and balance sheet are based on it. The class will explain the principles and system of double-entry bookkeeping.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下を学習の到達目標とする。

- ・財務諸表を作成する仕組みとしての簿記を理解すること
- ・実際に手を動かすことによって、簿記の実践スキルを習得すること（レベルとしては日商簿記検定 3 級程度、一部 2 級レベルの内容を追加）
- ・財務諸表に記載されている会計情報の内容や、企業会計や企業経営に関連する新聞・雑誌記事の内容をある程度理解できること

The learning goals are as follows:

- ・Acquire knowledge of double-entry bookkeeping as a fundamental mechanism for preparing financial statements.
- ・Develop practical skills in double-entry bookkeeping (equivalent to the 3rd or 2nd level of the Nissho Bookkeeping Examination).
- ・Gain the ability to understand accounting information in financial statements and apply it when reading newspapers and journal articles.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

Google Classroom クラスコード: gg4hpna

- 第 1 回: ガイダンス
- 第 2 回: 財務諸表の種類と構造、複式簿記の概観
- 第 3 回: 簿記一巡の手続、帳簿、取引の記録
- 第 4 回: 仕訳と転記（資金調達取引、現金と預金）
- 第 5 回: 仕訳と転記（様々な資産の取得・売却取引、商品売買取引）
- 第 6 回: 仕訳と転記（複数の代金決済方法）
- 第 7 回: 仕訳と転記（税金、その他の債権・債務取引）
- 第 8 回: 補助簿、課題の提示（予定）
- 第 9 回: 課題の確認、決算手続（試算表の作成、帳簿の締切）
- 第 10 回: 決算整理事項（商品勘定の整理）
- 第 11 回: 決算整理事項（収益・費用の見越・繰延）
- 第 12 回: 決算整理事項（減価償却、貸倒引当金）
- 第 13 回: 決算整理事項（消耗品など）
- 第 14 回: 精算表の作成、財務諸表の利用（財務分析）
- 第 15 回: 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション（100%）により評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

検定簿記講義／	渡部裕亘・片山	中央経済社	2025	教科書
3 級商業簿記	覚・北村敬子編著			
検定簿記ワーク	渡部裕亘・片山	中央経済社	2025	教科書

ブック／3級商 覚・北村敬子編著
業簿記
起業ストーリー 川島健司
で学ぶ会計

中央経済社

2021

4502398314

参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習 :

事前に配布する講義資料を一読すること。

復習 :

授業で説明したテキストの該当箇所を読み、設例やワークブックの練習問題を解くこと。

10. その他/In addition :

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

教科書、参考書ともに、第1回目の講義では使用しません。4月中に購入してもらったので結構です。

講義のうち1回、外部講師を招いて公認会計士制度説明会を実施する予定です。

經濟史入門/Introduction to Economic History

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period: 木曜1限

对象学年/Eligible Participants : 1-2.

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0203J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

Classroom code 4nqnw6p

「1」授業の目的

人類が織りなしてきた経済という営みの歴史である「経済史」を、経済学と歴史学の知見を借りながら、一気通貫して見てみたいと思います。

[2]授業の概要

したがって、具体的には、

(1) 「財の生産、流通、交換（取引、分配など）、消費、再生産」と定義される経済システムのうち、とりわけ歴史的に大きな変遷をとげてきた「生産」プロセスに焦点をあて

- ・生産システムのありかたは、いかに変化してきたか。
- ・生産プロセスの各々はいかなる特徴をもち、いかにモデル化できるか。
- ・ある生産システムが別の生産システムに移行する際には、いかなるメカニズムが働いていたか。
- ・生産システムの各々や、その移行は、いかなる歴史的意義をもっているか。
- ・こういった問題について、経済学や歴史的学の知見を利用しながら概観すると、どうなるか。

(2)「経済史」を研究する学問領域を「経済史学」と呼ぶとすれば、

- ・経済史学は、いかに定義され、いかなる特徴をもっているか。
- ・経済史学は、その上位領域である経済学や歴史学と、いかなる関係を取りむすんでいるか。
- ・経済史を学んで、なにか意味はあるのか。

といった点について考えます。

This class has, as its objective and purpose, following the economic history, i.e., history of economic activities of the human kind, using the knowledge of economics and historical science.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

皆さんがこれらの点について知識を得、みずから考えることにより、

- ・経済および経済史学について基本的な知識を得る。
 - ・経済学、歴史学、経済史学を学ぶことの意義について、みずからの意見をもつ。
- ようになることです。

This class has two goals, i.e.,

1. getting the basic knowledge on the economics and economic historical science.
2. forming your own opinion on the reason "why we should study economics, historical science, and economic historical science.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

[1]授業の内容と進度

1. オリエンテーション
2. 狩猟採集経済
3. 農耕革命
4. ファミリービジネス
5. 資本主義
6. 小作制度と問屋制度
7. 反省会：ミニットペーパーへの回答、授業評価アンケートその1
8. 中間理解チェック
9. 産業革命
10. 企業
11. 経済史学の定義と方法論
12. 経済史学の歴史
13. 最終理解チェック
14. チェックシートの返却と、全体のまとめ：授業評価アンケートその2
15. 予備日

[2] 授業の形態

- ・授業の内容や進度については、初回までに詳細なシラバスを作成し、下記ホームページにアップします。
- ・なお、ミニットペーパー（質問、意見などを無記名で書いてもらいます）とそれに対するリプライなどの制度などを活用し、なるべく双方向的な授業を心掛けたいと思います。

This class is composed as follows:

1. orientation
2. hunting and gathering economy
3. agricultural revolution
4. family business
5. capitalism
6. sharecropping and putting-out systems
7. review (1)
8. mid-term Knowledge check
9. industrial revolution
10. firm
11. definition and methodology of economic historical science
12. history of economic historical science
13. final Knowledge check
14. review (2)
15. reserved day

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

中間理解チェック (50 点) と最終理解チェック (50 点) をともに授業時間内におこない、授業期間内に返却してフィードバックを受付ける予定ですが、変更する可能性もあるので、下記ホームページ上の詳細シラバスを確認してください。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ライブ・経済史入門	小田中直樹	勁草書房	2017	教科書
門				

8. 関連URL/URL :

・ミニットペーパーをとりまとめたものや詳細シラバスは以下のホームページに掲載します。
<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~odanaka/intro25/index.html>

・なおテキスト初版 (第 1 版第 1 刷) にはいくつかの間違えが含まれています。購入する際は、これらを修正した「第 1 版第 2 刷」を指定することを強く勧めます。「第 1 版第 1 刷」については、正誤表をホームページにアップするので、確認のうえ修正しておいてください。

・また、臨時休講その他の連絡は「講義掲示板」

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

でおこないます。適宜チェックしてください。学務情報システムや経済学部教務掲示板などは基本的に利用しないので、ご注意ください。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

・教科書である小田中直樹『ライブ・経済史入門』(勁草書房、2017) に完全に準拠した授業をおこないます。該当する章を事前に読み、ある程度理解してきたことを前提として授業をすすめるので、これが予習となります。

・授業後に、理解できなかったところをチェックし、二回の理解チェックに備えるのが復習となることは、いうまでもありません。

10. その他/In addition :

・質問などがある場合は、上記「講義掲示板」のコメント機能を利用するか、電子メール (odanaka@tohoku.ac.jp) でご連絡ください。

・授業中は、私語は一切禁止します。絶対、他の受講生諸君のメイワクとなるからです。発見した場合は、一発レッドカードで履修放棄として処理します (過去にもありました)。これ以外の行為、すなわち飲食、着帽、遅刻、欠席、早退、昼寝、読書、ケータイ、メールなどは、周囲にメイワクをかけないかぎりオッケーです。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

統計学入門/Introduction to Statistics

担当教員/Instructor: 石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period: 月曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM201J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済学、経営学の問題のみならず社会における様々な問題を解決するため、データに基づく意思決定はますます重要となってきた。データから得られる根拠（エビデンス）に基づく問題解決を実践するためには、データを適切に処理し、必要な情報を得るための統計学の知識と考え方が必要となる。本講義の目的は以下の通りである。

- ・大学初年度程度の統計学の知識を身に付ける。
- ・統計に騙されない、誤解・誤用しないための統計リテラシーを身に付ける。
- ・統計学の知識を獲得し、統計的な思考法の基礎を知る。
- ・Python を用いた基礎的なデータ分析の経験を身に付ける。

In this course, students learn a basic statistics.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・基本的なデータの取り扱いや可視化の方法を理解する。
- ・経済・経営に関する統計指標を理解する。
- ・確率分布の概念を理解する。
- ・標本分布の特性、区間推定、仮説検定の考え方と方法を理解する。
- ・Python を用いた基礎的なデータ分析を経験する。

This course is designed to help students understand the basic statistics.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

Google Classroom のクラスコード「5rlamxn」

- ・各回で授業を実施する。
- ・事前に配布するデータ分析のための Python コードを、各自が予習し実行している前提で授業を行う。

第1回: ガイダンス
第2回: 調査と標本
第3回: 共分散と相関係数
第4回: 単回帰分析
第5回: 確率変数と確率分布
第6回: 期待値
第7回: 2変数間の確率変数
第8回: 代表的な確率分布
第9回: 標本平均
第10回: 標本平均の性質～3つの定理
第11回: 正規母集団の区間推定
第12回: 統計的仮説検定の問題設定
第13回: 平均に関する検定
第14回: 分散・相関に関する検定
第15回: 理解度確認セッション

This is a lecture-centered course.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションの結果で評価する。具体的には第1回ガイダンスで指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

統計学（第2版）	森棟公夫、照井伸 有斐閣	2008	参考書
	彦、中川満、西埜		
	晴久、黒住英司		

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

前回の講義内容が後の講義での前提知識となる場合が多い。そのため、理解不足と感じた内容の復習はしっかりと行ってもらいたい。予習も重要ではあるが、復習をより重視してほしい。

Students are required to prepare for class according to the goal and contents of each class.

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済経営数学入門A/Introduction to Mathematics for Economics and Business A

担当教員/Instructor: 松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 3 限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM202J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google クラウドルームコード: 2hpe5bv

経済学、経営学で用いられる数学について講義を行う。

経済経営数学入門 A (前期) に微分、積分、

経済経営数学入門 B (後期) に線形代数を扱う。

本講義 A では微分、積分について学び、経済/経営学への応用を扱う。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

「関数とは何か」からはじめ、1 変数関数の微分、積分、多変数関数の偏微分、重積分を扱う。経済学でよく用いられるニュートン法による最適化の意味をしり計算できるようになることが目標である。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- ・関数とは
- ・関数の連続性
- ・関数の微分
- ・合成関数の微分
- ・初等関数の微分
- ・偏微分の定義
- ・高次導関数
- ・平均値の定理
- ・テイラー展開
- ・関数の極値
- ・積分

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

宿題を 5, 6, 7 月に出し、その結果で採点する

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

データサイエンスのための数学	椎名洋 姫野哲人 保科架風	講談社	2019	978-4-06-516998-8	参考書

978-4-06-516998-8

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

講義前に教科書を読んでおくこと。

10. その他/In addition:

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済経営数学入門B/Introduction to Mathematics for Economics and Business B

担当教員/Instructor: 李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period: 月曜3限

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM203J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google Classroom Code: rdkkdsd

経済学、経営学で用いられる数学について講義を行う。主に線形代数についての講義を行う。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経済経営数学入門Aより詳細な内容の線形代数について講義を行う。特にベクトル、行列の基礎知識、および固有値、固有ベクトルなどについても講義をする。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

【授業方法】

配布資料がメインで、各内容の実践用の参考プログラムも配布する予定です。

>第8回講義後、レポート課題を配布します。

>理解度確認セッションを行います。

【授業内容】(予定)

1. ベクトルと行列の演算
2. 対称行列、直交行列、逆行列
2. 連立方程式と行列
4. 対称と置換行列
5. ベクトルと行列ノルム
6. ベクトル空間
7. ベクトル空間の基底
8. 線形写像と射影
9. 行列のランク
10. 行列式
11. 固有値、固有ベクトル
12. 行列の対角化
13. 行列の分解
14. 主成分分析
15. 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

30% レポート課題

70% 理解度確認セッション

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

データサイエンスのための数学 椎名洋, 姫野哲 講談社
人, 保科架風

2019

978-4-06-516998-8

参考書

978-4-06-516998-8

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業前の予習をおすすめします。

10. その他/In addition :

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：火曜3限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済学の様々な分野において、ゲーム理論はモデル化や分析のために必要不可欠なものとなっている。この科目では、ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用をゼミ形式で学習する。ゲーム理論は、消費者や企業などの経済主体の行動が互いに影響を与え合う状況において、各経済主体が相手の持つ情報や相手のとる行動を合理的に予想しながら自らの行動を決定すると、社会的にどのような結果が実現するのかを分析する。ゲーム理論は、その誕生以来、経済学の主要な分野の理論を“ゲーム理論的な考え方”に基づいて再構築させるほどの多大な影響を与えてきた。また、ゲーム理論の応用範囲は幅広く、社会学、心理学、政治学、国際関係学などの人文社会科学分野から、数理学、情報科学、物理学、生物学などの自然科学分野にまで及んでいる。

[In this course, students will learn the basic framework of game theory and its application to economics.]

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。ゲーム理論に必要な最小限の数学の知識を身に付ける。

[In this course, students should understand the basic framework of game theory and its application to economics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

この授業の Google Classroom の授業コードは、33jaxko である。授業の詳細、変更等については Google Classroom で周知するので、よく確認すること。

[The Google Classroom class code for this class is 33jaxko. Class details and changes will be announced on Google Classroom, so please check it carefully.]

ゲーム理論の基本的なテキストを受講者が交代で報告をして、その後全員で討論を行う。

- 第1回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第2回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第3回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第4回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第5回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第6回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第7回：情報不完備なゲーム
- 第8回：情報不完備なゲーム
- 第9回：情報不完備なゲーム
- 第10回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第11回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第12回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第13回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第14回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第15回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム

[In this course, students will discuss several topics on game theory and its application to economics.]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

平常点（報告、宿題等）によって成績評価を行う。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

ゲーム理論入門	武藤滋夫	日経文庫	2001	978-4532108298	参考書
				978-4532108298	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

報告者だけではなく、受講者全員が予習をすること。授業で取り扱った練習問題をよく復習すること。

10. その他/In addition :

この授業の Google Classroom の授業コードは、33jaxko である。

連絡先 : ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業終了後から 30 分間。それ以外は、授業終了時またはメールで日時を約束すること。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済学の様々な分野において、ゲーム理論はモデル化や分析のために必要不可欠なものとなっている。この科目では、ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用をゼミ形式で学習する。ゲーム理論は、消費者や企業などの経済主体の行動が互いに影響を与え合う状況において、各経済主体が相手の持つ情報や相手のとる行動を合理的に予想しながら自らの行動を決定すると、社会的にどのような結果が実現するのかを分析する。ゲーム理論は、その誕生以来、経済学の主要な分野の理論を“ゲーム理論的な考え方”に基づいて再構築させるほどの多大な影響を与えてきた。また、ゲーム理論の応用範囲は幅広く、社会学、心理学、政治学、国際関係学などの人文社会科学分野から、数理科学、情報科学、物理学、生物学などの自然科学分野にまで及んでいる。

[In this course, students will learn the basic framework of game theory and its application to economics.]

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。ゲーム理論に必要な最小限の数学の知識を身に付ける。

[In this course, students should understand the basic framework of game theory and its application to economics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

この授業の Google Classroom の授業コードは、uz6734q である。授業の詳細、変更等については Google Classroom で周知するので、よく確認すること。

[The Google Classroom class code for this class is uz6734q. Class details and changes will be announced on Google Classroom, so please check it carefully.]

ゲーム理論の基本的なテキストを受講者が交代で報告をして、その後全員で討論を行う。

- 第1回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第2回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第3回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第4回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第5回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第6回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第7回：情報不完備なゲーム
- 第8回：情報不完備なゲーム
- 第9回：情報不完備なゲーム
- 第10回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第11回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第12回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第13回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第14回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第15回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム

[In this course, students will discuss several topics on game theory and its application to economics.]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

平常点（報告、宿題等）によって成績評価を行う。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

ゲーム理論入門	武藤滋夫	日経文庫	2001	978-4532108298	参考書
				978-4532108298	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

報告者だけではなく、受講者全員が予習をすること。授業で取り扱った練習問題をよく復習すること。

10. その他/In addition :

この授業の Google Classroom の授業コードは、uz6734q である。

連絡先 : ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業終了後から 30 分間。それ以外は、授業終了時またはメールで日時を約束すること。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜3限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

授業のテーマ：行動経済学を通じて、人間の合理性について考えてみよう

経済学は経済活動における人間の行動を分析する学問でもあります。主流派経済学（新古典派経済学）では伝統的に人間は合理的に行動するものだということを前提にして分析を行ってきました。ところがそうした理論的前提に対して、人間は本当に合理的な存在なのか疑問を呈する人たちが表れて、実験を通じて人間は結構合理的ではない行動をするものだ主張するようになりました。ところがさらに実験を進めると人間は完全に不合理というわけでもなく、不合理の方向に予想可能な側面があることもわかってきました。それと同時にそうした「予想可能な不合理」を利用したビジネス戦略がたくさんあることもわかってきました。このプレゼミでは、行動経済学のテキストをグループ単位で輪読・発表・ディスカッションすることを通じて、人間は合理的なのか不合理なのか予想可能な不合理なのか、予想可能な不合理性はビジネスの世界でどのように利用されているのか、それは伝統的な経済学をどのように拡張していくのかなどの問題について考えていきたいと思います。

経済理論の前提に興味のある学生、経済学と心理学の関係に興味のある学生、経済学とビジネス戦略の間の関係に興味のある学生、経済学の現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・人間の合理性について理解することができる。
- ・経済学の心理学的側面について理解することができる。
- ・経済学とビジネス戦略との関係を理解することができる。
- ・グループ学習、グループ発表、グループ討論を通じてプレゼンやディスカッションの能力を身につける。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業開講形態：対面授業を行うことを予定しています。

Google Classroom のクラスコード「ecmqx6w」。

1 グループ5人程度のグループを作ったうえで、テキストの内容についてグループで報告・発表してもらい、発表内容に基づいてグループ・ディスカッションをしてもらおうと考えています。

現在のところ、次の内容でサブゼミを進めていこうと考えています。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 相対性の真相
- 第3回 需要と供給の誤謬
- 第4回 ゼロコストのコスト
- 第5回 社会規範のコスト
- 第6回 無料クッキーの力
- 第7回 先延ばしの問題と自制心
- 第8回 高価な所有意識
- 第9回 扉をあけておく
- 第10回 予測の効果
- 第11回 価格の力
- 第12回 不信の輪
- 第13回 わたしたちの品性について その1
- 第14回 わたしたちの品性について その2
- 第15回 ビールと無料のランチ

学生の反応・理解度、教員の健康状態等の影響によって内容が変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

出席状況（無断欠席は厳禁）、グループでの発表・報告やディスカッションの内容などから総合的に評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

978-4-15-050391-8

対面又はオンラインで対応しますので、面談を希望する人は事前に E メールで連絡してください。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：火曜3限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

この授業の目的は、参加者に実証分析（データ分析）に馴染んでもらうことにあります。与えられたデータの意味を正しく読み取ることの重要性は近年ますます高まっています。参加者は、実習を通じて、こうしたデータ分析の勘所を会得してほしいと思います。なお、実践に重きをおくため、統計学的な解説は最小に留める予定です。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

統計ソフトウェア「R」を使って基本的なデータ分析ができるようになることが到達目標です。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は田中隆一著「計量経済学の第一歩：実証分析のススメ」に沿って行います。進捗予定は次のとおりです。

第1回：イントロダクション（なぜ計量経済学が必要なのか）

第2回：データの扱い方

第3回：計量経済学のための確率論（1）

第4回：計量経済学のための確率論（2）

第5回：統計学による推論（1）

第6回：統計学による推論（2）

第7回：単回帰分析

第8回：実習1回目

第9回：重回帰分析の基本

第10回：実習2回目

第11回：重回帰分析の応用

第12回：実習3回目

第13回：操作変数法

第14回：実習4回目

第15回：まとめ

授業は対面式で実施します。授業にはノートパソコンを持参してください。統計の実習を行うため、タブレットやスマートフォンだけで授業に参加することは難しいと思われます。また、実習では統計分析ソフトウェア「R」とRstudio（いずれもフリーウェア）を使用します。予めインストールしておいてください。データはGoogle Classroomで配布します。なお、新型コロナウイルスの今後の流行状況によっては、授業の実施形式をオンラインに変更する場合があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

出席状況と授業への取り組みによって評価します。理解度確認セッションは行いません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

計量経済学の第一歩：実証分析のススメ	田中隆一	有斐閣	2015	9.7846411503e+12	教科書
Rによる実証分析：回帰分析から因果分析へ	星野匡郎、田中久稔	オーム社	2016	9784274219474	参考書
				9.7846411503e+12	

8. 関連URL/URL :

R および Rstudio のインストール : https://qiita.com/daifuku_mochi2/items/ad0b398e6affd0688c97

有斐閣サポートページ : http://www.yuhikaku.co.jp/static/studia_ws/index.html#isbn_9784641150287

Google Classroom: <https://classroom.google.com/c/NzQ5MjI5NTMwODQw>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書の章末問題を宿題として問いてもらう予定です。

10. その他/In addition :

1. 授業には統計分析ソフトウェア「R」および Rstudio がインストールされたノートパソコンを持参すること。R と Rstudio のインストールの仕方は関連 URL を参照のこと。
2. 統計学入門を履修済みであることが望ましい。
3. 授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を通じて行う。授業開始前に Classroom にアクセスしておくこと（クラスコード : 11pn5t6)

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

- ・社会調査方法論の基礎を学び、実際に自ら行ってみることを通じて、社会現象を可視化する手法を学ぶ。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・社会調査方法の目的、要素、手法について理解する。
- ・簡単な社会調査を行えるようになる。
- ・社会に対する好奇心を持てるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

- ・講義は原則、対面で行う。
- ・講義が始まる前に必ず Classroom に登録しておくこと。
- ・この講義の GoogleClassroom の情報は以下のとおり。

プレゼミ [EB115]

Google Classroom クラスコード： 2c4dmfk

- ・授業のスケジュール

第1回：オリエンテーション
 第2回：社会調査へようこそ、社会調査のファーストステップ
 第3回：社会調査の基本ルールと基本の道具
 第4回：グループで問題意識を考える
 第5回：GW(実践)
 第6回：量的研究法：調査表を作ってみよう (GW)
 第7回：量的研究法：サンプリングという発想 (GW)
 第8回：量的研究法：調査表調査のプロセスとデータ化作業 (GW)
 第9回：量的研究法：調査結果を分析してみよう (GW)
 第10回：質的研究法：質的研究法の基本 (GW)
 第11回：実習と実践 (GW)
 第12回：調査結果分析 (GW)
 第13回：調査結果分析 (GW)
 第14回：発表準備 GW (実践)
 第15回：グループワーク発表会

* GW=group work

- * スケジュール変更の可能性がある。
- * テキスト輪読の回は、割り当てられたグループが担当章について発表する。
 担当グループは資料（レジュメ）を準備し、講義前に配布すること。
- * 授業が始まる前に教科書は入手しておくこと。

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

- ・出席は全講義数の7割以上が必須。
- ・成績は、授業内での発表や態度、授業への貢献、プレゼンの評価によって決定する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

最新・社会調査へ 大谷信介、木下栄 ミネルヴァ書房 2023 462309524X テキスト
 のアプローチ：論 二、後藤範章、小

8. 関連URL/URL :**9. 授業時間外学修/Preparation and Review :**

- ・ 規定の授業時間外に活動を行うこともあるので留意すること（無論、受講生の都合を聞いて調整する）。
- ・ 授業についての質問等は、随時受け付ける。事前に必ずメールで連絡をすること。
- ・ 連絡先は michi@tohoku.ac.jp

10. その他/In addition :

講義は原則対面であるが、状況が変わり次第 Google Classroom を通じて連絡をする。

以下の点を守れる学生を前提に授業を行う。

- ・ グループワークが必須の授業となるので、グループのメンバーと協調して課題に取り組む意思があること。
- ・ 最低限のコミュニケーション能力があること。
- ・ 与えられた課題は必ず期限内にこなす意思があること。
- ・ やむを得ず欠席する場合には授業前に必ず連絡をすること。

★第一回目の授業までにテキストを各自入手しておくこと。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor: 浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period: 火曜 3 限

対象学年/Eligible Participants: 2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

このプレゼミのテーマは、グローバル化と貿易政策の経済分析である。国境を超えた経済取引が生じる要因や、国境間の取引や企業移動に対して課される規制の影響について、現実の事例と理論モデルを用いながら考察していく。また、近年問題視されているグローバル化と格差の関係や、台頭する保護主義と貿易戦争などについても取り上げ、自由貿易との向き合い方について議論していく。

The objective of this seminar is to help students understand international trade and investment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

国際貿易について理解を深めるとともに、プレゼンの基礎的な技術を身につける。

By the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of international trade and investment and acquire presentation skills.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

毎回、参加者が教科書（伊藤萬里、田中鮎夢『現実からまなぶ国際経済学』 有斐閣、2023 年）の該当箇所を報告し、その内容に基づいて議論を行う。

This is a reading group based on students' presentations.

連絡は Google Classroom 上で行う。クラスコードは、757srvy。

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is 757srvy.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

発表および議論への貢献に基づいて判断する。
正当な理由がなく欠席や大幅な遅刻を繰り返した場合、単位習得を認めない。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

現実からまなぶ 国際経済学	伊藤萬里、田中 有斐閣 鮎夢	2023	4641149283	教科書
クルーグマン国 際経済学 理論と 政策〔原書第 10 版〕上:貿易編	Paul R. Krugman, 丸善出版 Maurice Obstfeld, Marc J. Melitz 山形浩生・守岡桜 (訳)	2017	4621300571	参考書
			4641149283	

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

参加者は全員、毎回の予習として教科書の報告箇所を読んでもくること。

10. その他/In addition:

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義では、経済学を学ぶことの意義を問い、大学での学習・研究がどのように実生活や実社会に応用できるかについて考える。
また、大学における学習・研究についての基本的な知識（なぜ大学で学ぶのか、レポートと論文はどのように違うのか、ディスカッションやプレゼンテーションはどのようにすべきなのか等）を学び、今後の大学における履修選択や研究活動の礎となるような知見・能力の習得を目指す。

This course explores the significance of studying economics and considers how academic learning and research can be applied to real-world situations and society. Additionally, students will acquire fundamental knowledge about university-level learning and research, such as the purpose of university education, the differences between reports and academic papers, and the proper approaches to discussions and presentations. The course aims to equip students with the foundational skills and insights necessary for making informed decisions regarding course selection and research activities during their university studies.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

社会科学や経済学がどのような学問なのかについて、自らの言葉で説明できるようになる。
経済学という学問体系について理解を深め、今後の学習・ゼミ選択の参考にする。
大学における学習・研究の一連の流れを理解し、ディスカッションやプレゼンテーション、レポート執筆の作法を身につける。
自らの頭で考え、それを人前で他者に向けて説明する能力を養う。

Develop the ability to explain, in one's own words, the nature of social sciences and economics.
Gain a deeper understanding of the field of economics as a discipline, serving as a reference for future coursework and seminar selection.
Comprehend the overall process of academic learning and research at the university level and acquire essential skills for discussions, presentations, and report writing.
Cultivate the ability to think critically and articulate one's ideas effectively in front of others.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

主に以下のトピックについて、適宜資料を参考にしながら参加者全員でディスカッションを行う。

経済学とはなにか
社会科学とはなにか
経済学部では何を学んでいるのか
大学における研究とは何か
先行研究の調査や輪読はどのようにすべきか
ディスカッションとはどういうものか
良いプレゼンテーションとはどういうものか
社会課題を経済学的に捉えるとはどういうことか

The course will primarily involve discussions among all participants, using relevant materials as needed, on the following topics:

What is economics?
What are the social sciences?
What do students study in an economics faculty?
What is academic research at a university?
How should one conduct literature reviews and reading sessions on prior research?
What constitutes an effective discussion?
What makes a good presentation?
How can economic perspectives be applied to social issues?

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

講義への参加状況およびコメントペーパーによって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

初回講義時に指示する。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義後は感想や意見、要約などを記載したコメントペーパーの提出を求める場合がある。

事前学習は必須ではないが、講義内で提示した話題についてあらかじめ調査しておくことは有益である。

10. その他/In addition :

教科書は特に指定しない。参考書や資料は必要に応じて講義内で紹介する。

教員の連絡先やオフィスアワーは初回講義時に説明する。

受講者は講義への積極的かつ主体的な参加が求められる。

受講者の興味関心・習熟度に応じて講義内容が変更される場合がある。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：陳 鳳明 /FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

このプレゼミはデータ分析より因果関係への理解を深めると同時に、プレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、社会人になってからも必要なコミュニケーション能力を養うことを目指す。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

以下の3点を目指す。

- (1) 経済学への直観的な理解を深める。
- (2) 因果関係と相関関係の違いを理解できる。
- (3) プレゼンテーションやディスカッションの基礎的なスキルを習得できる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

1. ガイダンス
2. 学校の先生と相撲の力士、どこがおんなじ？ (1)
3. 学校の先生と相撲の力士、どこがおんなじ？ (2)
4. ク・クラックス・クランと不動産屋さん、どこがおんなじ？ (1)
5. ク・クラックス・クランと不動産屋さん、どこがおんなじ？ (2)
6. ヤクの売人はどうしてママと住んでるの？ (1)
7. ヤクの売人はどうしてママと住んでるの？ (2)
8. 犯罪者はみんなどこへ消えた？ (1)
9. 犯罪者はみんなどこへ消えた？ (2)
10. 完璧な子育てとは？ (1)
11. 完璧な子育てとは？ (2)
12. 完璧な子育て、その2 (1)
13. 完璧な子育て、その2 (2)
14. 最終プレゼンテーション (1)
15. 最終プレゼンテーション (2)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語で講義を行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method：

各回の出席状況 (30%)
発表 (30%)
討論への貢献 (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

やばい経済学(増 Steven D. 東洋経済新報社 2007 年 978-4-492-31378-7 教科書
補改訂版) Levitt, (著),
Stephen J.
Dubner (著), 望
月衛 (訳)

978-4-492-31378-7

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【vcnswsq】である。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor: ZHANG TINGTING /ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period: 火曜 4 限

対象学年/Eligible Participants: 2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

- ・受講者に、「失われた 30 年」とも呼ばれる 1990 年代から 2010 年代までの日本経済、およびこれから日本が直面する移民問題を鳥瞰する視点を提供する。
- ・経済現象に関する問いを立てて調査を進め、仮説を提示することを体感する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・テキストの内容を理解する
- ・情報検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの初歩的な調査・研究スキルを身につける。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 第 1 回: オリエンテーション
- 第 2 回: (教科書①) 第 1 章～第 2 章
- 第 3 回: (教科書①) 第 3 章～第 4 章
- 第 4 回: (教科書①) 第 5 章
- 第 5 回: (教科書①) 第 6 章～第 7 章
- 第 6 回: (教科書①) 第 8～9 章
- 第 7 回: (教科書②) 第 1 章
- 第 8 回: (教科書②) 第 2 章～第 3 章
- 第 9 回: (教科書②) 第 4 章～第 5 章
- 第 10 回: (教科書②) 第 6 章～終章
- 第 11 回: 発表チーム分けと報告テーマの設定
- 第 12 回: グループワーク (1)
- 第 13 回: グループワーク (2)
- 第 14 回: グループワーク (3) 発表順決定
- 第 15 回: グループワーク (4) 成果発表会

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- レジュメ: 30%
- 討論への参加: 30%
- 発表レポート: 40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

日本経済 30 年史	山家悠紀夫	岩波書店	2019	978-4004317999	教科書
バブルからアベノミクスまで					
移民の経済学	友原章典	中公新書	2020	0 978-4004317999	教科書

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMwNDA1Njgx?cjc=rzdtcat>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

予習が中心である。教科書を読み、報告と討論の準備をすることが必要である。

10. その他/In addition:

Google Classroom コード : rzdtcat

教員連絡先：

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email : zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー：授業後約 1 時間（研究室にて可）

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜3限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

授業のテーマ：ビジネス・エコノミクスを学んで、企業のさまざまな経営戦略を経済学的に考えてみよう

長い間、経済学と経営学は別の学問であると考えられてきました。しかしながら経済学で市場構造分析を行う産業組織論が誕生し、寡占企業の行動にゲーム理論が利用されるようになり、不確実性の経済学や行動経済学が誕生して現実の企業行動、経営意思決定を経済学的に分析することが可能になってきました。その結果、経済学と経営学の学問的融合が進行していきました。このようにして誕生した、経営問題を経済学的に分析する学問分野がビジネス・エコノミクス (Business Economics, 経営の経済学) です。

このプレゼミでは、ビジネス・エコノミクスのテキストをグループ単位で輪読・発表・ディスカッションすることを通じて、企業のさまざまな経営意思決定、経営戦略を経済学的に考えていきたいと思います。

ビジネス戦略、企業の経営意思決定の経済学的背景に興味のある学生、経済学と経営学の関係に興味のある学生、経済学の現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・現実の企業のさまざまな経営戦略について知ることができる。
- ・経済学と経営学の関係について理解することができる。
- ・経営戦略の経済学的背景について理解することができる。
- ・グループ学習、グループ発表、グループ討論を通じてプレゼンやディスカッションの能力を身につける。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業開講形態：対面授業を行うことを予定しています。

Google Classroom のクラスコード「ar6kbxt」。

1 グループ3人から5人程度のグループを作ったうえで、テキストの内容についてグループで報告・発表してもらい、発表内容に基づいてグループ・ディスカッションをしてもらおうと考えています。

現在のところ、次の内容でサブゼミを進めていこうと考えています。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 ビジネス・エコノミクスへの招待
- 第3回 価格戦略 (その1)：差別化と価格の弾力性を使った戦略
- 第4回 価格戦略 (その2)：巧妙な価格戦略の裏を探る
- 第5回 流通戦略 (その1)：カテゴリーキラー&マスマーケティング
- 第6回 流通戦略 (その2)：流通チャンネル&フランチャイズ
- 第7回 市場の変化 (その1)：中抜き
- 第8回 市場の変化 (その2)：サブスクリプション&データの利用価値
- 第9回 市場の論理と組織の論理
- 第10回 組織を活性化するための市場機能の活用
- 第11回 ゲーム理論が視野を広げる
- 第12回 インセンティブとはなにか
- 第13回 行動経済学とビジネス
- 第14回 戦略をより深く理解する
- 第15回 イノベーションがすべてを変える

学生の反応・理解度、教員の健康状態等の影響によって内容が変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

出席状況 (無断欠席は厳禁)、グループでの発表・報告やディスカッションの内容などから総合的に評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

ビジネス・エコノミクス 伊藤元重 日本経済新聞出版 2021年 978-4-532-32380-6 教科書

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：火曜 3 限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

この授業は、イノベーション・マネジメント論・マーケティング論の視点から製品やサービスの成功の要因を検討し、プレゼンテーションでの報告や論文形式で執筆する方法を学習します。そのために、イノベーション・マネジメント論に関するテキスト（近能・高井，2024）を輪読しながら、論文執筆の基本的な方法を学び、最終的には自身で具体的な事例を取り上げて製品・サービスを成功に導いた要因を論文形式でまとめていきます。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・製品、サービス成功の要因をイノベーション・マネジメント論やマーケティング論の視点から考察することができる。
- ・プレゼンテーションを用いて、テキストの内容を報告することができる。
- ・自らの考えを論文形式でまとめることができる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

第1回にイントロダクションを実施したのち、第2回以降はマーケティング論に関する理論をテキストの報告を通じて学習すると同時に、調査・報告の方法を学んでいきます。最終的には、調査した内容を報告し、文章化して提出することとなります。なお、講義の連絡などは、google classroomを 사용합니다。クラスコード：rd5j2a3

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 イノベーションの特徴（近能・高井，2024 第1章、第2章）
- 第3回 イノベーションの時系列変化（近能・高井，2024 第3章）及び経営学に関する文献の検索方法
- 第4回 イノベーションの企業への影響前半（近能・高井，2024 第4章）及び論文執筆に際する基本的な内容
- 第5回 イノベーションの企業への影響後半（近能・高井，2024 第5章）及び経営学における基本的な分析方法
- 第6回 研究・技術開発（近能・高井，2024 第6章、第7章）
- 第7回 製品アーキテクチャ（近能・高井，2024 第8章）と論文の引用の方法
- 第8回 新製品開発前半（近能・高井，2024 第9章、第10章）
- 第9回 新製品開発後半（近能・高井，2024）及び企業の情報の検索方法
- 第10回 イノベーションに関する論文を読む
- 第11回 分析対象の設定
- 第12回 企業間関係（近能・高井，2024 第12章）及び文献探索の実践
- 第13回 オープンイノベーション（近能・高井，2024 第13章）及び文献引用の実践
- 第14回 ビジネスモデルイノベーション（近能・高井，2024 第14章）及び論文執筆の実践
- 第15回 最終報告会

*履修人数に応じて計画が変更となる可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

1. 毎回の課題・・・30%
2. 講義時の発言・活動・・・30%
3. 最終プレゼンテーション・・・20%
5. 最終レポート・・・20%

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

コアテキスト 近能善範・高井文 新世社 2024 978-4-88384-386-2 テキスト
イノベーション・子
マネジメント
新訂版

978-4-88384-386-2

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/u/1/c/NzQ5MjMyODA3NTYx>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎回の課題の準備

報告の準備

最終プレゼンテーションおよびレポートの作成

10. その他/In addition :

- ・オフィスアワー、教員の連絡先は講義開始時に指示します。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義では、経済学を学ぶことの意義を問い、大学での学習・研究がどのように実生活や実社会に応用できるかについて考える。

また、大学における学習・研究についての基本的な知識（なぜ大学で学ぶのか、レポートと論文はどのように違うのか、ディスカッションやプレゼンテーションはどのようにすべきなのか等）を学び、今後の大学における履修選択や研究活動の礎となるような知見・能力の習得を目指す。

This course explores the significance of studying economics and considers how academic learning and research can be applied to real-world situations and society. Additionally, students will acquire fundamental knowledge about university-level learning and research, such as the purpose of university education, the differences between reports and academic papers, and the proper approaches to discussions and presentations. The course aims to equip students with the foundational skills and insights necessary for making informed decisions regarding course selection and research activities during their university studies.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

社会科学や経済学がどのような学問なのかについて、自らの言葉で説明できるようになる。

経済学という学問体系について理解を深め、今後の学習・ゼミ選択の参考にする。

大学における学習・研究の一連の流れを理解し、ディスカッションやプレゼンテーション、レポート執筆の作法を身につける。自らの頭で考え、それを人前で他者に向けて説明する能力を養う。

Develop the ability to explain, in one's own words, the nature of social sciences and economics.

Gain a deeper understanding of the field of economics as a discipline, serving as a reference for future coursework and seminar selection.

Comprehend the overall process of academic learning and research at the university level and acquire essential skills for discussions, presentations, and report writing.

Cultivate the ability to think critically and articulate one's ideas effectively in front of others.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

主に以下のトピックについて、適宜資料を参考にしながら参加者全員でディスカッションを行う。

経済学とはなにか

社会科学とはなにか

経済学部では何を学んでいるのか

大学における研究とは何か

先行研究の調査や輪読はどのようにすべきか

ディスカッションとはどういうものか

良いプレゼンテーションとはどういうものか

社会課題を経済学的に捉えるとはどういうことか

The course will primarily involve discussions among all participants, using relevant materials as needed, on the following topics:

What is economics?

What are the social sciences?

What do students study in an economics faculty?

What is academic research at a university?

How should one conduct literature reviews and reading sessions on prior research?

What constitutes an effective discussion?

What makes a good presentation?

How can economic perspectives be applied to social issues?

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

講義への参加状況およびコメントペーパーによって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

初回講義時に指示する。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義後は感想や意見、要約などを記載したコメントペーパーの提出を求める場合がある。

事前学習は必須ではないが、講義内で提示した話題についてあらかじめ調査しておくことは有益である。

10. その他/In addition :

教科書は特に指定しない。参考書や資料は必要に応じて講義内で紹介する。

教員の連絡先やオフィスアワーは初回講義時に説明する。

受講者は講義への積極的かつ主体的な参加が求められる。

受講者の興味関心・習熟度に応じて講義内容が変更される場合がある。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 陳 鳳明 /FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period : 火曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このプレゼミはデータ分析より得られる結婚、出産、子育ての真実への理解を深めると同時に、プレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、社会人になってからも必要なコミュニケーション能力を養うことを目指す。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下の2点を目標とする。

- (1) 経済学見地から結婚、出産、子育ての実態を理解できる。
- (2) プレゼンテーションやディスカッションの基礎的なスキルを習得できる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. ガイダンス
2. 育児スタイルと経済学
3. ヘリコプター・ペアレントの出現
4. 世界各国の育児スタイル
5. 不平等、育児スタイル、子育ての罫
6. 鞭からニンジンへ
7. 男子 VS 女子
8. 出生率と児童労働
9. 子育てと階級
10. 学校制度の組織
11. 子育ての未来
12. グループワーク 1
13. グループワーク 2
14. プレゼンテーション 1
15. プレゼンテーション 2

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語で講義を行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

各回の出席状況 (30%)
レジュメ・討論への貢献 (30%)
最終プレゼンテーション (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

子育ての経済学	Matthias Doepke	慶応義塾大学出	2020	978-4-7664-2711-0	教科書
—愛情・お金・育	& Fabrizio	版社			
児スタイル	Zilibotti (著) 鹿				
	田昌美 (訳) 大				
	垣昌夫 (解説)				

978-4-7664-2711-0

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【hwleha6】である。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : ZHANG TINGTING /ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

- ・受講者に、「失われた30年」とも呼ばれる1990年代から2010年代までの日本経済、およびこれから日本が直面する経済、人口、社会問題を鳥瞰する視点を提供する。
- ・経済現象に関する問いを立てて調査を進め、仮説を提示することを体感する。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・テキストの内容を理解する
- ・情報検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの初歩的な調査・研究スキルを身につける。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回：オリエンテーション
 第2回：(教科書①) 第1章～第2章
 第3回：(教科書①) 第3章～第4章
 第4回：(教科書①) 第5章
 第5回：(教科書①) 第6章～第7章
 第6回：(教科書①) 第8～9章
 第7回：(教科書②) 第1講～第2講
 第8回：(教科書②) 第3講～第4講
 第9回：(教科書②) 第5講～第6講
 第10回：(教科書②) 第7講～第8講
 第11回：(教科書②) 第9講～第10講
 第12回：発表チーム分けとグループワーク(1)
 第13回：グループワーク(2)
 第14回：グループワーク(3)発表順決定
 第15回：グループワーク(4)成果発表会

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

レジュメ：30%
 討論への参加：30%
 発表レポート：40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済 30 年史	山家悠紀夫	岩波書店	2019	978-4004317999	教科書
バブルからアベノミクスまで					
これからの日本の人口と社会	白波瀬 佐和子	東京大学出版会	2019	0	教科書
				978-4004317999	

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMzNjExMDg0?cjc=g2ufwou>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習が中心である。教科書を読み、報告と討論の準備をすることが必要である。

10. その他/In addition :

Google Classroom コード : g2ufwou

教員連絡先 :

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email : zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業後約 1 時間 (研究室にて可)

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /WANG YANGYUZI

曜日・講時/Day/Period : 金曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course will help undergraduate students prepare for their own academic research and graduate-level seminars. Students will learn how to read academic papers, prepare primary presentations, and participate in primary academic discussions. The course combines academic paper introductions with primary presentations, developing essential skills for future thesis writing.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

By the end of the semester, students will be able to:

- Read and understand academic papers effectively.
- Identify key arguments and research methods in academic literature.
- Participate constructively in primary academic discussions
- Create and deliver primary academic presentations

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

This course includes 15 sessions:

Part I Introduction to Academic Reading

Session 1 Course Introduction and Academic Reading Basics

Session 2 Understanding Research Papers

Session 3 Introduction to Political Economy

Session 4 Introduction to Evolutionary Economics

Part II Presentation Skills and Paper Analysis

Session 5 Creating Academic Presentations

Session 6 Paper discussions I

- Selected papers on political economy

- Student presentations and discussion

Session 7 Paper discussion II

- Selected papers on evolutionary economics

- Student presentations and discussion

Session 8 Literature Review Skills

- Finding and organizing sources

- Summarizing research

- Critical analysis basics

Part III Research Methods and Applications

Session 9 Research Methods Overview

Session 10 Paper discussion III:

- Economic methodology of academic papers

- Group discussion

Session 11 Paper discussion IV

- Results and Findings of academic papers

- Group discussion

Session 12 Academic Writing Introduction

- Basic academic writing skills

- Citation methods

- Paper structure

Part IV Advanced Topics and Integration

Session 13 Paper discussion V

- Current research topics

- Group discussion

Session 14 Paper discussion VI

- Research implications

- Policy applications

Session 15 Research Proposal Development

- Thesis topic selection

- Research question development

- Literature search methods

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

The total score is 100 points:

- Class participation and discussion (40%).
- Final report (60%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are encouraged to try to compose a research proposal for their own thesis following the course progress.

10. その他/In addition :

ミクロ経済分析/Microeconomics

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜1限、水曜3限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0210J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

ミクロ経済学は、さまざまな応用分野（国際経済学、医療経済学、労働経済学、環境経済学、開発経済学など）の基礎となる科目である。この授業では、ミクロ経済学の基礎理論を講義する。

Google classroom クラスコード：omqstdv

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ミクロ経済学の基礎理論を修得する。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

メインのテキストは、配布する講義ノート（Google Classroom で配布）と奥野正寛著『ミクロ経済学』東京大学出版会を利用する。

ミクロ経済学の具体的な応用例やより平易な教科書が必要とする人は、アセモグル他著『ミクロ経済学』東洋経済新報社（昨年度、入門経済学Bで使用したテキスト）を推薦する。（持っていない人は、無理して購入する必要はない。図書館でも利用可能）

具体的な問題を解きたい人については、奥野正寛著『ミクロ経済学』をベースに作成された演習の本として、猪野他『ミクロ経済学演習 第2版』東京大学出版 を薦める

消費者行動の分析と企業行動の分析では、効用最大化問題、利潤最大化問題を扱う。最大化問題を厳密に扱うために、微分を利用するが、理論を直感的に理解するために、数学だけでなく、グラフを用いた説明も交えながら説明する。

具体的な内容は下記の通り

1. 市場均衡と社会の利益（社会的総余剰）（1～8回）

 (1) 需要曲線と消費者の利益

→ 講義ノート3 （参考書：アセモグル他 「5章 消費者とインセンティブ」）

 (2) 供給曲線と生産者の利益

→ 講義ノート4 （参考書：アセモグル他 「6章 生産者とインセンティブ」）

 (3) 市場均衡と社会的総余剰

→ 講義ノート5 （参考書：アセモグル他 「7章 完全競争と見えざる手」）

 (4) 余剰分析の応用

→奥野 序章（P7～15）

 (5) 環境問題と市場の失敗

→ 講義ノート6 （参考書：アセモグル他 「9章 外部性と公共財」）

2. 消費者行動（8～12回）

奥野「ミクロ経済学」 第1章

3. 生産者行動（13～17回）

奥野「ミクロ経済学」 第2章

4. ゲーム論の基礎（18～21回）

奥野「ミクロ経済学」 第4章 （参考書：アセモグル他 「第13章 ゲーム理論と戦略的行動」）

5. 不完全競争（22～25回）

奥野「ミクロ経済学」 第5章

6. 不確実性と情報の非対称性（25～28回）

講義ノート12：不確実性と期待効用仮説

7. 外部性と公共財（もし講義が早く進み、余裕があれば）

講義ノート11 交渉による解決～コースの定理」と奥野「ミクロ経済学」第7章

8. 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの成績と授業中の小テストあるいは宿題

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ミクロ経済学	奥野正寛	東京大学出版会	2008	ISBN-10 : 4130421271 ISBN-13 : 978-4130421270	教科書
ミクロ経済学	ダロン・アセモグル, デヴィッド・レイブソン, ジョン・リスト	東洋経済新報社	2020	0	参考書
ミクロ経済学演習 第2版	猪野 弘明, 井上 朋紀, 加藤 晋, 川森 智彦, 矢野 智彦	東京大学出版会	2008	0ISBN-10 : 4130421271 ISBN-13 : 978-4130421270	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

経済学の有効な勉強方法は、事前にテキストを読み、予習をしたうえで、授業を受けることです（授業を復習の場にする）。専門の授業になると、授業で初めて聞いた内容はすぐに理解できません。このため、必ず事前にテキストを読んでから授業に臨んでください。

10. その他/In addition :

○この授業は、入門経済Bで学んだことを基礎として、より詳細なミクロ経済学の理論を学びます。このため、入門経済Bを履修済みであることが望ましいです。

入門経済Bを履修していない人、また、入門経済Bで学んだことを忘れてしまった人は、本授業の準備として、Google Classroomで配布する、講義ノート1及び2を事前に読んで参加してください。

○経済経営数学基礎の単位を取得済みあるいはそれに相当する数学の知識（微分を使った最大化問題）があることが望ましい。授業では、ところどころ微分を使いますが、その意味を解説するようにするので、経済経営数学の基礎を取得していない人でも、頑張りたいと考える人は、授業でわからないところがあれば遠慮なく質問に来てください。経済学は数学を使いますが、経済学的思考で、重要なのは数学ではなく、論理的思考です。数学は、論理的思考をサポートする道具にすぎません。

○授業で使用するテキストは、私の講義ノートと奥野正寛著「ミクロ経済学」です。また、昨年度、入門経済学Bで使用した、アセモグル他著「ミクロ経済学」も参考書として利用します。

○アセモグル／レイブソン／リスト著『ミクロ経済学』東洋経済新報社は、より優しく書かれているので、上記のテキストを読む前に、該当箇所を読むとより分かりやすくなると思います。

○Office hour : いつでもOK。ただし、事前に（直前でもいいので）メール（hibiki@tohoku.ac.jp）アポイントを取ること。（会議等で不在にしていることが多いため）

○履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

マクロ経済分析/Macroeconomics

担当教員/Instructor: 鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 月曜3限、木曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0214J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、受講学生にマクロ経済分析の基礎を習得してもらうことである。そのため、以下の内容について解説する。
(1) マクロ経済の実態把握に必要な国内総生産 (GDP)、物価、失業率等の経済統計データ、(2) 基本的なマクロ経済モデルとそれらに基づいた金融財政政策の効果。

The purpose of this course is to provide students with the basics of macroeconomic analysis. To this end, the following topics will be covered. (1) Economic statistical data necessary to understand actual macroeconomic conditions, such as gross domestic product (GDP), price indices, unemployment rates, etc; (2) Basic macroeconomic models and the effects of monetary and fiscal policies based on these models.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

基本的なマクロ経済学のモデルをその限界とともに理解すること。それらの理論モデルに基づいて、データを解釈し、経済政策の効果を議論できるようになること。

This course is designed to help students understand basic macroeconomic models along with their limitations. Based on those theoretical models, students will be able to interpret data and discuss the effects of economic policies.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

- 第1回: イントロダクション/Introduction
- 第2回: 国民経済計算上の諸概念 (1) /System of National Accounts
- 第3回: 国民経済計算上の諸概念 (2) /System of National Accounts
- 第4回: 国民経済計算上の諸概念 (3) /System of National Accounts
- 第5回: マクロ経済モデル: 45度線モデル/Keynesian cross diagram
- 第6回: マクロ経済モデル: IS-LM モデル (1) /IS-LM model
- 第7回: マクロ経済モデル: IS-LM モデル (2) /IS-LM model
- 第8回: マクロ経済モデル: 総需要・総供給モデル (1) /AD-AS model
- 第9回: マクロ経済モデル: 総需要・総供給モデル (2) /AD-AS model
- 第10回: マクロ経済モデル: 総需要・総供給モデル (3) /AD-AS model
- 第11回: 失業とインフレーション (1) /Unemployment and inflation
- 第12回: 失業とインフレーション (2) /Unemployment and inflation
- 第13回: 失業とインフレーション (3) /Unemployment and inflation
- 第14回: 開放経済への応用 (1) /Application to the open economy
- 第15回: 開放経済への応用 (2) /Application to the open economy
- 第16回: 開放経済への応用 (3) /Application to the open economy
- 第17回: 消費の理論 (1) /Consumption
- 第18回: 消費の理論 (2) /Consumption
- 第19回: 投資の理論 (1) /Investment
- 第20回: 投資の理論 (2) /Investment
- 第21回: 金融政策の理論と実際 (1) /Monetary Policy
- 第22回: 金融政策の理論と実際 (2) /Monetary Policy
- 第23回: 経済成長の理論と実際 (1) /Economic growth
- 第24回: 経済成長の理論と実際 (2) /Economic growth
- 第25回: 経済成長の理論と実際 (3) /Economic growth
- 第26回: 経済成長の理論と実際 (4) /Economic growth
- 第27回: 経済成長の理論と実際 (5) /Economic growth
- 第28回: 安定化政策に関する異なる考え方 (1) / Alternative perspectives on stabilization policy
- 第29回: 安定化政策に関する異なる考え方 (2) / Alternative perspectives on stabilization policy
- 第30回: 理解度確認セッション/ Examination

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

課題提出 (Google classroom) と理解度確認セッションの成績により評価する。

Students are evaluated on their submitted assignments and the examination.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

マクロ経済学 I 入門篇(第5版)	N・グレゴリー・ マンキュー	東洋経済新報 社	2024	9.7844923156e+12	参考書
マクロ経済学 II 応用篇(第5版)	N・グレゴリー・ マンキュー	東洋経済新報 社	2024	9784492315590	参考書
マクロ経済学 新 版 (New Liberal Arts Selection)	齊藤 誠, 岩本 康志, 太田 聰 一, 柴田 章久	有斐閣	2016	46410538479.7844923156e+12	参考書
マクロ経済学 - - 入門の「一歩 前」から応用ま で 新版	平口良司 , 稲 葉大	有斐閣	2020	20204641150761	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

1. 授業内容の復習
2. 練習問題への取り組み

10. その他/In addition :

授業は、事前に Google Classroom にアップロードしたスライドを用いて講義形式で行う。授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を通じて行うので、この科目の履修を考えている人は授業開始前に Classroom にアクセスしておくこと。
(クラスコード: ln63ubz)

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

政治経済学原理/Principle of Political Economy

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /YURI SHIOMI

曜日・講時/Day/Period : 火曜1限、金曜2限

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0211J, 単位数/Credit(s) : 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この講義ではマルクス経済学に基づく資本主義の基礎理論を解説します。

This lecture will cover Marxian political economy.

マルクス経済学とは、資本の行動原理を分析し、多数の資本によって編成される資本主義経済の仕組みを考察する学問です。この視点から経済を捉えなおすことで、市場経済の発展と変容の原動力を理解し、成長・拡大してゆく市場経済と人間社会の関わり方についてより多面的に考えることができます。

Marxian political economy analyzes the behavioural principles of capital (businesses) and examines the dynamics of the development and transformation of the capitalist economy.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

・マルクス経済学の基礎理論を理解できること

・資本主義の理論と現実の関係について考え、自分の意見を論じられること

The aims of this course are: to understand the basic theory of Marxian political economy; to consider and discuss the relationship between the theory and reality of capitalism.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

この講義では、以下の内容を扱います。

The following contents will be discussed.

1. 商品 / Commodity
2. 貨幣 / Money
3. 資本 / Capital
4. 労働 / Labor
5. 生産 / Production
6. 蓄積 / Accumulation
7. 価格機構 / Price Mechanism
8. 市場機構 / Market Mechanism
9. 景気循環 / Business Cycle

この授業は通常対面形式で実施しますが、一部オンデマンド形式の遠隔講義を実施する可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 / Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

4回の小テスト（各25%）の得点で評価します。

Four take-home examinations (25% each).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済原論：基礎と演習 小幡道昭 東京大学出版会 2009 978-4-13-042133-1 参考書

978-4-13-042133-1

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

初回授業時に Google Classroom のクラスコードを案内する予定です。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

数理統計/Mathematical Statistics

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜1限、水曜3限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM210J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済学、経営学の問題のみならず社会における様々な問題を解決するため、データに基づく意思決定はますます重要となってきた。データから得られる根拠（エビデンス）に基づく問題解決を実践するためには、その問題に対して有効なデータ分析手法を適用する必要がある。本講義では、既に学習した統計的検定と回帰分析の知識に基づいて、最尤法、ベイズ統計、多変量解析、因果効果推定などのトピックに関する知識を身に付けることを目的とする。

In this course, students learn the basic mathematical statistics for economics and management.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・統計的モデリングについて知る
- ・基礎的なベイズ統計について理解する
- ・基礎的な多変量解析について理解する
- ・基礎的な因果効果推定について理解する
- ・上記の内容に関する基礎的なデータ分析のプログラミングを作成・実行できる

This course is designed to help students understand the basics of mathematical statistics and be able to apply them to economics and management problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

Google Classroom のクラスコード「ox7sm52」

- ・各回で授業を実施する。
- ・事前に配布するデータ分析のための Python コードを、各自が予習し実行している前提で授業を行う。

【イントロダクション】

第1回：ガイダンス

第2回：データ活用社会と経済学部生

【統計的モデリング】

第3回：線形回帰モデル

第4回：線形回帰モデルのためのデータ作成

第5回：実証のための回帰モデル1

第6回：実証のための回帰モデル2

第7回：予測のための回帰モデル

第8回：統計モデルと尤度原理

第9回：ロジスティック回帰モデル

第10回：ロジスティック回帰モデルの推定

第11回：尤度関数と数値最適化

第12回：ポアソン回帰モデル

第13回：第1回フォローアップ授業

【ベイズ統計】

第14回：ベイズ統計学とは？

第15回：事前分布と事後分布1

第16回：事前分布と事後分布2

第17回：ベイズ推定

第18回：意思決定のためのベイズ推定

【多変量解析】

第19回：多変量解析のための固有値分解の復習

第20回：主成分分析1

第21回：主成分分析2

第22回：判別分析

第23回：非線形回帰

第24回：ベイジアンネットワーク

【統計的因果推論】

第25回：統計的因果推論とは？

第26回：統計的因果推論と共変量調整

第27回：差の差の分析

第28回：統計的因果推論に必要な仮定・条件

第29回：第2回フォローアップ授業

第30回：理解度確認セッション

This is a lecture-centered course.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの結果で評価する。具体的には第1回ガイダンスで指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済経営のデータサイエンス	石垣、植松、千木 共立出版 良、照井、松田、李	2022	9.7843201252e+12	参考書

9.7843201252e+12

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習よりも復習を重視して欲しい。

10. その他/In addition :

統計的検定や回帰分析の知識を前提として講義を行うため、統計学入門・計量分析は履修済みであることが望ましい。
加えて、線形代数の知識（特に、逆行列や固有値分解）を前提として講義を行う回があるため、経済経営数学入門AとB、経済経営数学の履修を推奨する。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済史・経営史/Economic and Business History

担当教員/Instructor : 川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period: 月曜3限、木曜1限

对象学年/Eligible Participants: 2-3-4

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM214J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

産業革命以降の目覚ましい経済発展により、人類は今や史上最高の生活水準を達成し、絶対的貧困を克服する手段を手に入れた。本講義では、この未曾有の経済成長が、西洋社会において最初に可能となったことの現代的意義を問うための基礎知識を学ぶ。

近代的経済成長は、「特別な条件」が整わなければ起こり得なかったという意味で歴史的現象と解釈される。また、その発生を、西洋固有の政治、経済、法制度、人口、文化を含む幅広い要因から説明できることから、やはり歴史的現象として捉えることができる。

本講義では、西洋固有の歴史的特徴について主に近世（16～18 世紀）に焦点を当て「特別な条件」の再現を試みる。近世に着目する理由は、西洋経済が他の経済から分岐する時期に符号するからである。その経緯は、所得水準の上昇のみならず、西洋独自の社会的価値をもとに示すことができる。例えば、国家形成期においても個人本位の経済的営みが重視される「公私混在」の社会原理もその一つである。

グローバル経済を牽引することとなった西洋経済の功罪に対する評価は、それがいかなるものであれ、経済（学）に対する見方を左右することになる。経済学部を受講生には、その評価を主体的に行うための基礎能力と同時に、経済（学）の本質を見抜くために必要な、物事を相対的に捉える鋭い歴史感覚を身につけてほしい。

本講義では、偏った経済的思考に陥らない“pluralist economics”の精神を尊重しつつ、欧米と同じ自由市場経済体制下にある日本経済の行く末を見据える上で欠かせない経済史学の基礎知識の習得を目指す。また、最先端の研究結果に触れるため英語文献を積極的に活用する。

「経済史」の概要及び関連科目については、担当者の HP (<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/ecoinfo.html>) を参照。

Economics is a study of context dependent phenomena. "Economic History" in 2023 argues that the progress of West European society and its offshoots, such as the US, offers an appropriate context for studying the modern global economy. Our basic institutions in Japan, such as the free market and democratic government, have been heavily influenced by the way in which the Economy of Western Europe has developed over the centuries. Our common values, such as respect for individual choices, the rule of law, and social welfare, has also emerged in the course of its long history in the West.

"Economic History" in 2023 is designed to explore how the West came to hold sway in the global markets in the 21st century. "Economic History" also puts special emphasis on the period before the Industrial Revolution, reflecting the latest scholarship on the medieval and early modern economy. This was the time when the unique foundation of urban and commercial society began to emerge in Western Europe. We will examine why this early development matters.

Responding to the growing needs for global learning in the higher education sector, this lecture is designed to encourage undergraduate students to digest economic information in the English language.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・ヨーロッパ及びアメリカ経済の歴史を軸に、各国の経済的経営的事象を相対的に評するための基礎的知識を身につける。
- ・経済的経営的事象を政治的、社会的、文化的側面と関連付けて思考し、経済変化の本質を鋭く見通す能力を身につける。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

序論

1. 歴史の中の経済社会
2. 方法とアプローチⅠ 経済史学の誕生
3. 方法とアプローチⅡ 経済史学の展開

第1部 近代経済の源流

4. 中世の経済と社会 I
5. 中世の経済と社会 II
6. 中世後期の経済・社会変動
7. 近世ヨーロッパの経済成長
8. 近世経済の基底構造 I
9. 近世経済の基底構造 II
10. 都市化の進展と商業圏の拡大
11. 近世ヨーロッパにおける国家形成 I
12. 近世ヨーロッパにおける国家形成 II
13. スミスの経済の展開 I
14. スミスの経済の展開 II
15. 福祉の混合経済 I

16. 福祉の混合経済 II
17. 小括—公私混在の経済社会—

第2部 近代経済の展開

18. 近世から近代へ—歴史変化と連続性—
19. イギリス産業革命
20. 地域産業の再編
21. 持続的経済成長の理論
22. 修正主義と復権
23. 産業と金融サービスの高度化
24. 自由貿易と国際金本位制の時代
25. 工業化の社会的影響
26. 西欧諸国とグローバル経済の拡大
27. アメリカ合衆国とグローバル経済の展開
28. グローバル経済の挫折
29. グローバル経済の再構築
30. 総括

※講義は対面及びオンライン形式で行う。最新の研究成果を講義に反映させるために授業内容を変更する場合がある。

1. The Economic History of the West
2. Method & Approach I
3. Method & Approach II
4. Medieval Economy and Society I
5. Medieval Economy and Society II
6. Economic Problems and Progress in the Late Middle Ages
7. A Little Divergence and the Great Divergence
8. Demographic Expansion and the Commercial Revolution
9. The Advanced Organic Economy
10. The Enlightenment and the Urban Economy
11. The Rise of Early Modern States I
12. The Rise of Early Modern States II
13. Institutional Changes
14. The Consumer Revolution and the Industrious Revolution
15. The Mixed Economy of Welfare I
16. The Mixed Economy of Welfare II
17. Brief Summary
18. The Expansion of the Modern Economy: Introduction
19. Britain' s Industrial Revolution
20. The Emergence of Industrial Regions
21. The Economic Foundation of Sustainable Economic Growth
22. Revisionism and Rehabilitation
23. The Rise of Industrialism and the Financial Services
24. The International Gold Standards and the Impact of Free Trade
25. Social Implications of Industrialisation and Urbanisation
26. The Rising Powers: The Realignment of European States
27. The Rising Powers: The Advancement of the US Economy
28. The Great Depression and the Two World Wars
29. The Post-war Economic Growth and the Rise of Global Post-industrial Society
30. Conclusion

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語/英語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

毎回の受講を前提に理解度確認セッション、または、レポートにより評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

西洋経済史	岡田泰男編	八千代出版	1995 年	
ヨーロッパの奇跡—環境・経済・地政の比較史	ジョーンズ	名古屋大学出版会	0	
エネルギーと産業革命	リグリイ	同文舘	0	
世界史のなかの産業革命—資源・人的資本・グロー	アレン	名古屋大学出版会	0	0

バル経済			
消費社会の誕生	サースク	筑摩書房	0
イギリス個人主義の起源—家族・財産・社会変化	マクファーレン	南風社	0
プロト工業化の時代—西欧と日本の比較史	斎藤 修	岩波書店	0
勤勉革命	ヤン・ド・フリー ス	筑摩書房	0
イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名 洋	創文社	0
公私混在の経済社会—近世イギリスにおける個人と都市法人	川名 洋	日本経済評論社	2024 年

8. 関連URL/URL :

イギリス経済史： <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/englisheco.html>

受講者用リンク集： <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/link.html>

経済史のキーワード： <https://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/keyword.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

初回に配布する文献リストを参考に講義内容についてさらに知識を深めてほしい。その上で、「欧米経済」の成立ちについて論理的に説明できるように、要点・疑問点等を講義内容に沿ってよく整理してもらいたい。

10. その他/In addition :

1. 本科目は選択科目です。初回の講義において成績評価の方法等に関する重要な説明を行うので、履修希望者は必ず出席し、説明内容を十分理解した上で履修すること。
2. 大学の国際化推進に向けて英語で講義内容について解説する場合があるが、英語力は履修条件としない。
3. 担当教員の研究に関する参考文献として、『公私混在の経済社会』（日本経済評論社）を参照。貸出を希望する受講者には随時対応する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営原理/Principle of Management

担当教員/Instructor: 藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 2 限、金曜 1 限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN210J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

21 世紀の現代社会において、経営学の重要性はさらに高まっています。この講義では、経営学の理論的基礎を深く掘り下げるとともに、その歴史的発展を追います。経営原理を多角的に理解し、現代企業におけるその適用を学びます。また、企業が社会に与える影響や、ビジネスリーダーとしての資質を養うための知見を得ることを目指します。本講義は、将来のビジネスリーダーを目指す学生のみならず、一般消費者や市民として企業活動の理解を深めたい方にも、実践的な洞察を提供します。

This lecture course explores the significant evolution and the theoretical foundations of management studies that have provided a theoretical basis for business administration worldwide. Through a detailed examination of the history of management thought, this course aims to provide comprehensive and systematic knowledge of management theories and business principles. It is designed not only to impart deep insights to those aspiring to be future business leaders but also to offer valuable perspectives to consumers and citizens on the nature and impact of corporate activities in society.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本講義では、経営学説の総論的な検討を通じて、基本的な諸概念や分析フレームワークについて体系的に理解することを目指します。また、主に日本企業の事例を用いて、現実の経営現象を理論的に考察できる能力を養成します。このプロセスを通じて、学生は経営の理論と実践の両面についての深い洞察を得ることができるようになります。

This lecture aims to enable students to systematically understand the fundamental concepts and analytic frameworks through a comprehensive examination of management theories. Additionally, using primarily case studies of Japanese companies, students will develop the ability to theoretically analyze real-world management phenomena. Through this process, students will gain profound insights into both the theoretical and practical aspects of management.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

講義は各部のテーマに基づいて構成され、具体的な事例と理論の統合を通じて経営学の理解を深めます。以下の各部に分けて授業を進行します:

第 1 部: 経営学の基礎 (5 回)

経営学の定義、歴史、および現代企業論について学びます。専門経営者の出現、所有と支配の分離など、経営の基本的な概念と枠組みを理解します。

第 2 部: 経営管理論 (5 回)

科学的管理法、人間関係論、協働システム論など、経営管理の様々な理論について学び、理論が現実の組織運営にどのように適用されるかを探求します。

第 3 部: 組織構造論 (5 回)

機能別組織、事業部制組織、マトリックス組織など、組織構造の理論と実践に焦点を当て、効果的な組織設計の要素を詳しく解説します。

第 4 部: 経営戦略論 (5 回)

競争戦略、資源戦略、組織間関係など、経営戦略の核心に迫り、戦略的思考と意思決定のプロセスを理解します。

第 5 部: 組織行動論 (5 回)

モチベーション、リーダーシップ、組織文化など、組織内の人的側面に焦点を当て、行動科学の視点から組織運営を探究します。

第 6 部: 応用と総括 (5 回)

最新の経営トレンド、企業倫理、CSR、戦略的意思決定など、経営学の応用領域を総括し、実践的な洞察を提供します。

The course is organized around thematic units, designed to deepen students' understanding of management through the integration of theoretical frameworks and real-world case studies. The course will be conducted in the following six parts:

Part 1: Foundations of Management

Part 2: Management Theories

Part 3: Organizational Structure

Part 4: Strategic Management

Part 5: Organizational Behavior

Part 6: Applications and Integration

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

オンラインによる小テスト、期末テスト及び課題の提出状況や分析レベル、討議に対する貢献度などに応じて評価する。

Grades will be based on online quizzes, the final exam, the submission and quality of assignments including the level of analysis, and contributions to discussions.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経営管理（有斐閣 アルマ）新版	塩次喜代明、高橋 有斐閣 伸 夫、小林敏男	2009	4641123756	参考書

4641123756

8. 関連URL/URL :

参考事例) リクルート Works 連載シリーズ「成功の本質」(監修/野中郁次郎)
<https://www.works-i.com/works/series/seikou.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営組織/Organization and Management

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period: 月曜3限、木曜1限

对象学年/Eligible Participants: 2-3-4.

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN211J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

私たちの日常生活は、企業をはじめ、大学や行政組織など、様々な組織との関わりでなりたっている。近年は、非営利組織や社会的企業も台頭してきている。この授業では、組織において人々が示す行動や態度に関する組織行動論の基本的な概念を学習する。企業だけではなく、非営利組織、社会的企業、大学等の多様な組織に関するテーマもとりあげる。

また、ゲスト講義や受講生同士のディスカッションなど、ケーススタディやグループワークも取り入れて、組織における集団や個人のダイナミズムを実践的に学ぶ機会も取り入れる。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・組織行動論に関する基本的な概念を理解する。
- ・多様な組織の特性について理解する。
- ・基本的な概念や現象について、自分の意見を述べたり、他者の意見を聴くことができる。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業で取り上げる予定のテーマは以下の通り。

- ・個人レベル（個人行動の基礎 [パーソナリティ、認知と多様性、価値と倫理]、動機付け）
- ・集団レベル（集団行動、チーム、コミュニケーション、意思決定、リーダーシップ、コンフリクト）
- ・組織レベル（組織構造、組織設計、人材管理、組織文化、組織変革）
- ・組織間レベル（組織間関係、外部環境）、多様な組織

1. 組織間・組織関係・外部環境・多様な組織
2. 組織・組織文化・組織デザイン
2. 3. 組織・組織行動とは何か
4. 集団：グループとチーム（グループワーク）
5. 管理者の役割・環境・社会的責任
6. ダイバーシティ（DEI）マネジメント（グループワーク）
7. 8. 個人行動の基礎、動機づけ
9. 組織・組織文化・組織行動・多様な組織の経営：社会的企業（ゲスト講義）
10. 意思決定
11. 12. リーダーシップ
13. 多様な組織の経営：米国 企業&NPO（ゲスト講義。New York より来仙予定）
14. 意思決定（ケース・グループワーク）
15. 組織・組織文化・組織行動・中間ふりかえり・QA セッション・ディスカッション・小テスト
16. コミュニケーションと情報、パワーとコンフリクト
17. 人財管理とキャリア
18. 19. 組織構造・組織デザイン
20. 21. 組織文化（ケース・グループワーク）
22. 23. 組織変革と組織間関係（ケース・グループワーク）
24. 25. 組織の未来：ウェルビーイング経営、未来の寓話ワークショップ（グループワーク）
26. 27. 学生発表（有志のみ）（個人発表・2-3名のグループ発表）
- 28-30 全体総括・ふりかえり・小テスト

講義、ケーススタディ、グループディスカッション（グループワーク）、受講生の発言や発表等を組合わせる。

本授業では、受講生同士のディスカッション（グループワーク）への積極的な参加を求める。

講義の一部は、ゲスト講師やTF(Teaching Fellow)が行なう場合がある(数回見込み)

ケーススタディ・ゲスト講義予定日（3-4 回程度見込）：5/12、5/26、他調整中。

TF(Teaching Fellow)講義予定日 (4-5 回程度見込) : 4/24、6/30、7/3、予備 : 4/28、6/16

(TF 予定回の一部は、担当教員によるオンライン/オンディマンド授業に変更になる可能性有)

*各回の授業テーマや順番は、実際の授業進度や、ゲストやTF との調整等により、一部変更の可能性有。

4. 実務・実践の授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は原則日本語で行なう。一部英語の参考書や参考資料、英語音声字幕動画等を用いる可能性がある。

受講生のミニッツペーパー、課題・小テスト、レポート・発表、授業内発言は、日本語・英語、いずれも使用可。

6. 成績評估方法/Evaluation method:

1. ミニッツペーパー (MP)・課題・発言 (60%) :
MP: 原則毎回、授業内で提示する課題に対する回答を Google Form に記入提出 (1 点 x 28-30 回程度)。
課題: 2-3 回に一回、特定課題に関する自身の意見や回答を授業外時間に Google Form に記入提出 (2-3 点 x 10-15 回程度)。
(加点) 発言: 授業内質問・意見 (1 点 x 最大 10 回)、グループ・ディスカッションをふまえた意見表明 (1 点 x 最大 5 回)

2. 小テスト (20%) : 授業内で小テストを実施予定 (4-

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

参考書

『マネジメント入門ーグローバル経営のための理論と実践』	ロビンス、ステファン・P/高木晴夫 監訳	ダイヤモンド社	2014	0
『キャリアで語る経営組織ー個人の論理と組織の論理』	稲葉祐之・井上達彦・鈴木竜太・山下勝	有斐閣アルマ	2010	0
『組織論 補訂版』	桑田耕太郎・田尾雅夫	有斐閣アルマ	2010	20100
『新版 組織行動のマネジメントー入門から実践へ』	ロビンス、ステファン・P/高木晴夫 監訳	ダイヤモンド社	2009	0
『組織行動』	鈴木竜太・服部泰宏	有斐閣ストゥディア	2019	0
『はじめての経営組織論』	高尾 義明	有斐閣ストゥディア	2019	0

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

【予習】事前に授業でとりあげるテーマについて考え、問いを立て、問題意識をもって臨む。

【復習】参考書や関連文献を読んだり、関心テーマや実際の組織について自ら調べ、考え、理解を深めたり発展的に探索する。

10. その他/In addition :

各授業の講義資料や連絡、課題提出等は、すべて Google Classroom で行ないます。

受講希望者は以下の google classroom に登録してください。

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMyNDg1Nzky?cjc=ereqdgdu>

クラスコード : ereqdgdu

毎回、授業内で東北大学アドレスから google classroom/google form にアクセスできる情報通信機器 (スマホ/タブレット/PC 等) を持ってきてください。授業内で google form でミニツペーパーの回答提出 (毎回) や小テスト (4-5 回) の回答提出があります。

本授業に関する質問/意見/要望等は、ミニツペーパーや Google Form/Google Classroom や TA/TF を通して受け付けます。直接お話されたい方は、授業開始前やオフィスアワーも利用可能です。

必要な方は、西出 (yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp) 宛、件名に【経営組織、学籍番号、氏名】を記入して連絡下さい。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

会計原理/Accounting Principle

担当教員/Instructor: 尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period: 火曜1限、金曜2限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC210J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業は、財務会計における主要な会計基準や重要な論点の幅広い理解を通じて、財務会計の基本的な仕組みやその応用を学ぶことを目的とする。/This course aims to learn the principles of financial accounting through an understanding of accounting standards and their backgrounds. This course covers financial accounting topics from the introductory level to the advanced level.

現代において経済社会の動向を適切に理解するためには企業の経済活動の実態を理解することが不可欠である。しかしながら、ひとつの企業だけを見てもその経済活動は無数にあり、その実態を直接把握することは難しい。このような場面における有用な情報として、会計情報を利用することができる。会計情報では、企業の経済活動が会計の仕組みを通じて集約・数値化されており、特に財務会計の枠組みにおいては企業の経営成績や財政状態が財務諸表と呼ばれる共通様式の報告書に整理される。このような財務諸表を読み解くことが、企業の実態を把握するための重要な手段となる。

このとき、複雑かつ多様に広がる企業の経済活動を適切に会計情報に反映し、秩序立った報告を維持するために、会計の仕組みには多くの取り決めが必要になる。そうした取り決めは会計基準と呼ばれ、企業の経済活動を数値に落とし込む際に適用される共通のルールを意味する。企業が報告する財務諸表を単に見るだけではその活動実態の理解はしにくく、企業実態の理解に結びつけるためにはその財務諸表が準拠する会計基準を知ることが必要となる。さらに、会計基準を理解するためには、その規定の文言を読むだけでは理解しにくく、基準設定の背景にある理由や重要な論点となる考え方を知ることが効果的かつ効率的である。

以上を踏まえて、この授業では財務会計の基本的な枠組みや具体的な会計基準を入門的なレベルから発展的なレベルまで取り扱い、その背景にある考え方や重要な論点を解説する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

財務諸表における主要な会計基準を幅広く理解する。

会計基準を設定する趣旨や背景にある重要な論点を理解する。

/The goal of this course is to understand accounting standards in financial statements, the knowledge of their backgrounds, and essential issues considered to standard setting.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は指定する教科書に沿った講義資料を配布し、講義形式で行う。/This course is a lecture style course and distribute lecture materials based on the contents of textbooks.

毎回の講義で復習課題を出す。具体的な実施方法については、初回の講義でアナウンスする。/Quizzes for review of the sessions are conducted after every class.

理解度確認セッションを3回(概ね第10回、第20回、第30回を予定)実施し、解説とフィードバックを行う。なお、授業の進捗に応じて実施する回は前後する場合がある。/Examinations are conducted in the 10th, 20th, and 30th sessions. Feedbacks on the examinations are provided in this course. (Note that the dates for the examinations may change.)

授業内容は以下の項目に沿って行う。/The contents are as shown below:

- ・財務会計の機能と制度/Functions and systems of financial accounting
- ・利益計算の仕組み/Bookkeeping principles
- ・会計理論と会計基準/Accounting theory and accounting standards
- ・利益測定と資産評価の基礎概念/Primary concepts of earnings measurement and asset valuation
- ・現金預金/Cash
- ・キャッシュ・フロー計算書/Statement of cash flows
- ・有価証券/Securities
- ・デリバティブ/Derivatives
- ・ヘッジ会計/Hedge accounting
- ・売上高(収益認識)/Sales (revenue recognition)
- ・売上債権/Accounts receivable
- ・棚卸資産/Inventory
- ・売上原価/Cost of goods sold
- ・有形固定資産/Property, plant, and equipment
- ・減価償却/Depreciation
- ・減損会計/Impairment of assets
- ・リース会計/Lease
- ・無形固定資産/Intangible assets
- ・繰延資産/Deferred assets
- ・負債全般/Liabilities
- ・引当金/Allowance
- ・法人税等/Income taxes
- ・税効果会計/Tax effect accounting
- ・株主資本と純資産/Equity and net assets
- ・組織再編/Business combination and Business divestitures
- ・財務諸表の作成と公開/Preparation and disclosure of financial statements

- ・外貨建取引等の換算／foreign currency translation
- ・連結財務諸表（基本的な考え方）／Consolidated financial statements - Basic concepts
- ・連結財務諸表（連結貸借対照表）／Consolidated balance sheet
- ・連結財務諸表（連結損益計算書）／Consolidated statement of income
- ・連結財務諸表（持分法）／Equity method
- ・連結財務諸表（連結キャッシュ・フロー計算書）／Consolidated statement of cash flows
- ・連結財務諸表（注記）／Notes to consolidated statements

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。／Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・講義各回での課題小テスト（25%）
- ・理解度確認セッション（75%）
- ・その他、成績評価に関する事項は初回講義時にアナウンスする。
- ・なお、理解度確認セッションを 3 回実施するが、すべての理解度確認セッションを受けない場合は成績評価の対象外とする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財務会計講義(最 桜井久勝 中央経済社 ※ 978-4502500718 教科書
 新版)※2025 年 9
 月時点の最新版
 を用いる

978-4502500718

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書や講義資料を使って講義で扱う内容を予習および復習する。
 取り扱う範囲が入門レベルから発展的なレベルまで幅広いため、各回の講義内容について教科書の設例や課題を着実にこな
 し、不明点を持ち越さないようにする。

10. その他/In addition :

「会計学入門」で学ぶ程度の簿記の知識を理解していることを前提とする。
 (※教科書に関する補足) 教科書「財務会計講義」については 2025 年 10 月の初回講義時点で最新のものを使用する。講義で
 使用する版については初回講義時にアナウンスする。
 参考書や参考資料は講義内で適宜紹介する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

計量分析/Econometrics

担当教員/Instructor：松田 安昌、李 銀星 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：水曜2限、金曜1限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM212J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroomcode: 3brx3rb

随時投稿するので、最新情報はこちらを参照してください。

現代的な機械学習を学ぶための基本となる「回帰分析」からスタートし、「分類問題」、「ニューラルネットワークモデル」を扱います。データサイエンスでは、データ分析プログラミングが必須です。本講義では、コーディングが初めてという方を想定して入門から講義します。プログラミング未経験者も安心してPythonコーディングに挑戦してください。

なお、参考図書として「経済経営のデータサイエンス」（共立出版）を指定します。下記データサイエンス科目すべての参考図書として有効に使えます。

本講義「計量分析」は経済学部データサイエンス科目群の一つです。データサイエンスを学びたい方は次の年限で履修してください。

1. 統計学入門（1年次前期）
2. 計量分析（2年次前期）
3. 数理統計（2年次後期）
4. データサイエンス（2年次後期）

以降、学部大学院一貫教育プログラム「データ科学」に接続しています。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

現代的な機械学習の基本を学び、Python プログラミングによってデータ分析を実行できるようになること。特に、ニューラルネットワークモデルではPytorchによるコーディングで、画像、自然言語に自身で応用分析することを目指します。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

1. 平均、分散の復習
2. 回帰分析（回帰）
 - 2.1 線形回帰モデル
 - 2.2 Ridge 回帰と Lasso 回帰
 - 2.3 過適合と 正則化
3. 回帰分析（分類）
 - 3.1 ロジットモデル
 - 3.2 プロビットモデル
 - 3.3 決定木
4. 深層学習
 - 4.1 ニューラルネットワークモデル
 - 4.2 畳み込みニューラルネット（画像認識）
 - 4.3 Word2vec（自然言語処理）

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

5月初旬（回帰分析）、6月初旬（分類モデル）、7月初旬（ニューラルネット）について課題を出します。課題レポートの成績によって評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

経済経営のデータサイエンス	石垣、植松、千木 共立出版 良、照井、松田、李	2022	4320125193
			4320125193

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎週宿題を出すので、必ず解いてから翌週の講義に臨むこと

10. その他/In addition :

「統計学入門」を履修していることが望ましい。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

日本経済史/History of Japanese Economy

担当教員/Instructor: 酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period: 火曜3限、木曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0224J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

かつて途上国であった日本は、19世紀以降、先進国へのキャッチアップを始め、20世紀後半には大きな経済成長を達成しました。本授業は、この間の日本経済の軌跡（長期的変化）について、国際的な比較も踏まえながら、いくつかの特徴的な主題を取り上げて講義します。講義を通じて、日本経済の歴史を、経済成長における一般性（国際的な共通性）と特殊性（国や地域ごとの特徴）の両面から理解していくことを目指します。

Once a developing country, Japan began to catch up with the developed countries after the 19th century and achieved significant economic growth in the latter half of the 20th century. This class will lecture on the history of the Japanese economy during this period, taking into account international comparisons and several characteristic topics. Through the lecture, we aim to understand the history of the Japanese economy in terms of both generalities (international commonalities) and particularities (country- and region-specific characteristics) in economic growth.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本授業において、受講生に求められる目標は次の通りです。

- (1) 19～20世紀の日本経済の変化と構造を法制度・社会慣習・文化背景などを含めた多面的な要因から総合的に理解すること
- (2) 講師の説明や配布された史資料の意味を正確に理解・読解すること
- (3) 自らの思考を第三者に対して現代の日本語で平易に説明すること

Students are expected to achieve the following:

- (1) To comprehensively understand the changes and structure of the Japanese economy in the 19th and 20th centuries from a multiple perspective, including the legal system, social customs, and cultural background.
- (2) To accurately understand and read the meaning of the lecturer's explanations and historical materials.
- (3) To explain one's own thinking to the other in plain, modern Japanese.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

各回の授業は、スライドなどを提示し、教員からの説明を中心に進めます。その内容と予定は以下の通りです（なお、授業内容と進捗に変更が生じる場合は、授業内およびGoogle Classroomを通じてお知らせします）。

1. 経済成長から見る日本と世界 (No. 1～3)
2. 前工業化時代の日本 (No. 4～8)
3. 移行期の日本経済 (No. 9～12)
4. 産業革命と二重構造 (No. 12～16)
5. 戦間期の日本経済 (No. 16～22)
6. 日本経済の連続と断絶 (No. 23～26)
7. 高度経済成長 (No. 27～30)

ただし、講義に関する歴史的な文献（史料）あるいはグラフ・数表などを受講者自身が読み解き、内容の解説や考察をして、その結果を提出してもらう機会を複数回設けます。なお、この歴史的な文献には、明治大正時代の言葉で記された文字資料もあるので、その点は留意してください。

This class is a non-interactive lecture in which the teacher explains the content of PP slides. (If there are any changes in the content or progress of the class, notification will be made in class and via Google Classroom.)

Course schedule:

1. Japan and the World from the Perspective of Economic Growth (No.1-3)
2. Japan in the pre-industrial era (No.4-8)
3. Japan's Economy in Transition (No.9-12)
4. The Industrial Revolution and the Dual Structure (No.12-16)
5. The Japanese Economy in the Interwar Period (No.16-22)
6. Continuity and Discontinuity in the Japanese Economy (No.23-26)
7. High economic growth (No.27-30)

However, students are required to read and interpret historical documents, graphs, and tables related to the lecture, & submit the assignments several time. Please note that some of these historical documents are written in the language of the Meiji and Taisho periods.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

6. 成績評価方法/Evaluation method :

期末テストの得点、授業後もしくは授業中に行う課題の得点により評価します。課題は複数回実施する予定です。

Evaluation will be based on the score of assignments and the final test. Assignments will be given multiple times.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済史一近 沢井実・谷本雅之 有斐閣 2016 978-4-641-16488-8 参考書
世から現代まで

978-4-641-16488-8

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

時間外に課題に取り組む機会が複数回ある。また、各授業の関連性について理解を深めるために授業内容の復習を強く勧める。

Some ideas discussed in one session may be pertinent to the themes of the following sessions. Students are encouraged to do their revision after class.

10. その他/In addition :

本講義では、グーグルクラスルームも使用します。クラスコードは ocx3glm

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学史/Economic Thought

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：水曜 2 限、金曜 1 限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0310J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code: a2mzpyc

経済学はどのような歩みを経ることで、こんにち私たちが学んでいるような経済学の姿になったのかを見ていきます。そのことを通して、経済学をより深く・立体的に理解できること。経済学とそのほかの学問領域とのつながりを理解すること。そもそも学問がどのようなものかについて理解を深めること。経済学の様々な授業や科目の関係について理解すること。このようなことを目指していきます。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・ 経済学のこれまでのあゆみを知ること
- ・ それを通して「経済学とはなにか」「そもそも学問とはなにか」について理解を深めること

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

【授業内容・進捗予定】

1. オリエンテーション（授業の進め方、成績評価方法など）
2. 学問が生まれた！
3. 経済って？
4. 古代の経済学＝家政学
5. 古代の経済学・6つのポイント
6. 学問の後退とキリスト教の台頭
7. 中世の学問の完成
8. 中世の経済論
9. 中世の経済の終焉
10. 家から国家へ
11. 近代国家論
12. 近代国家の経済論＝重商主義
13. 重商主義と産業の育成
14. アダム・スミスの反撃
15. 18世紀の学問
16. 『国富論』の体系
17. 古典派経済学の完成
18. マルサスとシスモンディからの反論
19. 後進国からの反論
20. 「二つの国民」とマルクスの反逆
21. 資本主義はそろそろ終わる？
22. ワルラスの大胆な革新と限界革命
23. マーシャルによる経済学の制度化
24. 社会主義陣営の誕生と大恐慌
25. ケインズはどう答えたか？
26. サミュエルソンと新古典派総合
27. フリードマンの攻撃
28. ルーカスの挑戦とシカゴ学派
29. 新しい新古典派総合とリーマンショックでの蹉跌
30. おわりに・経済学の歩みを振り返って

【授業方法】

- ・ 対面授業です。
- ・ Google Classroom ないし ISTU を使いますので、使えるようにしておいてください。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

なるべく頻繁に確認テストを実施して、それらの合計で成績をつけます。確認テストはスマホやパソコン等で回答してもらう予定ですので、端末を用意して Google Classroom か ISTU を使えるようにしておいてください。（選択問題・正誤問題・空欄補充問題など、入力分量は多くないです。）

履修する皆さんに過度の負担とならないよう、また教育効果があがるよう、点数の集計方法や出題範囲について以下のようにします。

（1）欠席や得点が低い回、二回分を成績集計から除外：
体調を崩したりして確認テストを

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済学の歴史	中村・新村・八木 有斐閣	2001	978-4641121386	★参考図書
若い読者のための経済学史	ほかに キシテイニー すばる舎	2018	0	★参考図書
詳説世界史図録	山川出版社	2018	0978-4641121386	★参考図書
入門経済思想史	ハイルブローナー ちくま学芸文庫	2001	20010	★参考図書
世俗の思想家たち	一			
経済学史	小峯敦 ミネルヴァ書房	2021	0	★参考図書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

1. 教材について :

教科書はとくにありません。配布物を提供します。配布物の他、高校の世界史図録（例えば『山川詳説世界史図録』など）は、手元にあると理解の助けになるでしょう。

参考図書をいくつか紹介しておきます。

この授業が開講される頃には、原田哲史編『経済思想史』（法律文化社）が刊行されているはずです。こちらは古代から現代までカバーされていて、私も重商主義の箇所を担当しています。参考図書としてはもっとも参考になると思います。

『若い読者のための経済学史』は読み物として分かりやすく、

10. その他/In addition :

- Google Classroom（クラスコード：a2mzpyc）で最新の情報を確認してください。このシラバスは2月に書いていますので、その後の修正はGoogle Classroom等で周知します。
- 履修を検討されている人は、初回の授業にかならず出席するようにしてください。
- 本講義のためにも、また専門課程での学び全般のためにも、新聞や本（専門書や一般書だけでなく、小説も）等を読んで、バランスのとれた豊かな一般教養を身につけることを期待します。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

財政学/Public Finance

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：火曜 2 限、金曜 3 限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0312J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

現代の財政システムは、中央政府、地方政府等さまざまなレベルの政府から構成される。また、一つのレベルの政府においても、目的に応じたさまざまな会計が存在し、かつ企業的な活動や金融・保険的な活動も行っている。授業では、このように複雑な財政の制度や政策について、現状をふまえて解説する。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・日本を中心とした財政の基本的な制度の把握。
- ・各種の政府や会計間の関係の理解。
- ・現代財政の諸問題を理解し、自分の意見を持つことができる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

1. 財政と財政学の歴史
2. 経済システムにおける公共部門
3. 財政の意思決定機構
4. 財政支出
5. 租税
6. 公債と財政政策
7. 社会保険
8. 公企業と財政投融资

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

数回実施するレポート（3割）、理解度確認セッション（7割）、授業時間を用いて行われる講演会への出席（エクストラ）

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

財政学—制度と組織を学ぶ	佐々木伯朗（編 有斐閣 著）	2019 年	978-4-641-16554-0	教科書
			978-4-641-16554-0	

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

授業前にテキストの該当章を予め読んでおくこと。また、財政の現状や問題については、日々の新聞、放送、インターネット等における情報を活用すること。

10. その他/In addition：

授業に関する各種の連絡は、Google Classroom を用いて行う。
クラスコード：zbvr7qv

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

金融論/Money and Banking

担当教員/Instructor: 浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period: 火曜3限、木曜2限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0313J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義では、金融に関する様々な現象について、経済理論を応用して分析・解説する。具体的には、金融市場の役割と資産価格の決定メカニズム、企業金融、金融仲介機関の機能、金融危機と金融規制、中央銀行と金融政策といったテーマを取り扱う。

The objective of this course is to introduce the economics of money, banking and financial markets.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

金融論の基礎知識を習得し、現実の金融問題に関して自分なりに分析ができる力を身につける。

By the end of the course, students should be able to understand how to analyze issues on money, financial markets and institutions.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

連絡や資料の配布は Google Classroom 上で行う。クラスコードは、2p3dqp5。

All materials for the course will be provided via Google Classroom: the class code is 2p3dqp5.

講義スケジュールは以下の通り。ただし、進捗状況によっては計画を変更することもありうる。

This is an outline of the topics I will cover in this course. I may revise the schedule depending on the progress.

- 第1回 インTRODクシヨN
- 第2回 金融の基礎
- 第3回 債券市場と金利
- 第4回 金利の期間構造
- 第5回 株式市場と効率的市場仮説
- 第6-7回 デリバティブと証券化
- 第8-9回 リスクとリターン
- 第10回 企業の投資と資金調達
- 第11-12回 資本構成
- 第13回 金融取引の障害: 不確実性と情報の非対称性
- 第14回 金融仲介機関の情報生産機能
- 第15回 中間試験
- 第16-17回 金融仲介機関の満期変換機能と取り付け
- 第18-19回 金融危機と金融規制
- 第20-21回 決済システムと貨幣
- 第22-24回 中央銀行と伝統的金融政策
- 第25-27回 インフレーションとフィリップス曲線
- 第28-29回 非伝統的金融政策と今後の課題
- 第30回 理解度確認セッション

- 1. Course Introduction
- 2. Basic Concepts in Finance
- 3. The Bond Market and Interest Rates
- 4. The Risk and Term Structure of Interest Rates
- 5. The Stock Market and the Efficient Market Hypothesis
- 6-7. Derivatives and Securitization
- 8-9. Risk and Return
- 10. Investment and Financing
- 11-12. Capital Structure
- 13. Investment with Financial Frictions
- 14. Financial Institutions and Information Production
- 15. Midterm Exam
- 16-17. Maturity Transformation and Bank Runs
- 18-19. Financial Crises and Regulation
- 20-21. Payment Systems and Money
- 22-24. Central banks and Monetary Policy
- 25-27. Inflation and the Phillips Curve
- 28-29. Unconventional Monetary Policy
- 30. Final Exam

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

次の2通りの方法で採点を行い、点数の高い方を最終的な成績とする :

1. 中間試験 (30%) と理解度確認セッション (70%)
2. 理解度確認セッション (100%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

現代の金融入門 [新版]	池尾和人	筑摩書房	2010	4480065296	参考書
金融〔新版〕	内田浩史	有斐閣	2024	4641164932	参考書
日本銀行の機能 と業務	日本銀行金融研 究所	有斐閣	2011	46410538474480065296	参考書
ブランシャール マクロ経済学 上 (第2版): 基礎 編	オリヴィエ ブラ ンシャール	東洋経済新報社	2020	20204492315284	参考書
ブランシャール マクロ経済学 下 (第2版): 拡張 編	オリヴィエ ブラ ンシャール	東洋経済新報社	2020	4492315292	参考書
The Economics of Money, Banking and Financial Markets (13e)	Frederic Mishkin	Pearson	2021	1292409487	参考書

8. 関連URL/URL :

上記参考書の『日本銀行の機能と業務』は、以下の日本銀行のウェブサイトで閲覧できる。
https://www.imes.boj.or.jp/jp/historical/pf/pf_index.html

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義中に紹介する参考文献を活用し、講義内容の理解を深めること。

10. その他/In addition :

初級レベルのミクロ経済学・マクロ経済学・統計の知識を前提とする。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

国際経済/International Economics

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：火曜2限、木曜2限

対象学年/Eligible Participants：3・4

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0314J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際経済学は国際貿易論と国際金融論から成り立っています。これらの基礎的な経済理論を学ぶことにより国際経済をバランスよく理解することが授業の目的です。例えば、戦後世界の多くの国々では財サービスだけでなく、人や金の移動の自由化が促進されてきました。なぜでしょう？経済理論が分かれば、近年脚光を浴びた TPP、移民、欧州経済（EU やユーロ圏）などの問題をより深く理解できるはずです。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

メディアで取り上げられている国際経済に関する内容を、経済理論をもとに理解できるようになることが学習の目標。入門レベルの経済理論の知識を開放経済に発展させ、日本を取り巻く世界経済や今後の展望を自分で考えることができるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

開放経済を理解するために必要な基礎理論を講義形式で学ぶ。下記のような授業内容を予定しているが、理解度に応じ随時変更する。

1. イントロ（国際貿易）
2. 貿易と効用
3. 絶対優位
4. 比較優位
5. リカードモデル
6. メリッツモデル
7. 貿易政策の理論
8. 経済統合 I
9. 経済統合 II
10. まとめ（国際貿易）
11. 移民の経済学
12. イントロ（国際金融）
13. 購買力平価 PPP
14. マネタリーモデル
15. 金利平価モデル
16. リスクプレミアム
17. 期待（情報）と為替レート
18. ポートフォリオバランスモデル
19. マンデル・フレミングモデル
20. 外国為替市場への介入
21. 固定相場制の経済理論
22. 通貨危機 I
23. 通貨危機 II
24. 金融統合
25. まとめ（国際金融）

授業方法：対面

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語（理解度確認セッション含）

6. 成績評価方法/Evaluation method：

中間テスト、理解度確認セッションにより決定する予定。（これらの一つでも受験した学生は成績評価の対象となります。）

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

はじめて学ぶ国	永易 淳 他	有斐閣	2015
際金融論			
国際経済学をつ	石川城太 他	有斐閣	2013
かむ			
国際経済学	若杉隆平	岩波書店	2018

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :
予習復習および宿題

10. その他/In addition :

- 1) 履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。
- 2) 初回の講義で講義内容や成績の決定方法について説明するので必ず出席すること。
- 2) 変更事項や講義ノートは ISTU を参考にしてください。
- 3) 経済学入門 B、ミクロ経済分析、マクロ経済分析の履修者を対象としています。

日本経済/Japanese Economy

担当教員/Instructor: 結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period: 火曜 2 限、木曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0315J, 単位数/Credit(s): 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

現代日本社会を生きるための、また社会各分野で専門的知識に基づき日本経済のありかたを論じるリーダーとなるための基本的教養としての日本経済論を学ぶ。

長期的な視点にたち現代日本経済の諸問題を検討するため、江戸時代から現代までの経済の流れを、マクロ経済、産業システム、金融システムの三つの角度から解説する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・日本経済の置かれている状況を、世界経済の文脈、および戦前・戦後経済史の文脈において把握できるようにする。
- ・日本経済をマクロ的に把握する方法を学ぶとともに、マクロ経済政策を評価できる経済学的視点を身に着ける。
- ・日本のマクロ経済、産業システムおよび金融システムの特徴と変化を学ぶことで、日本経済の低成長構造を社会科学的に理解する。
- ・日本経済の将来を展望し、そこにある選択肢について経済学的に判断する能力を身に着ける。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

- ・履修希望者は、Google クラウドルームでクラスコード「nhul4br」に必ず登録すること。

講義の構成

- 1-2 ガイダンス、日本経済を分析するための視点
- 3-7 戦前の日本経済：産業革命と工業化の軌跡
- 8-9 戦時期の日本経済
- 10-11 20 世紀の資本市場
- 12-16 戦後復興と高度成長
- 17-18 石油危機と安定成長への転換
- 19-21 日本の企業システム
- 22-25 バブルの発生・崩壊、そして長期停滞
- 26-29 日本経済の諸問題
- 30 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

*理解度確認セッションで評価する。さらに質問・意見記入により加点する。

*配点

・理解度確認セッション: 100 点

*アンケートでの質問・意見記入: 100 点満点の枠外で加点する。

評価の詳細はガイダンスにて説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

現代日本経済 第4版	橋本 寿朗 (著), 長谷川 信 (著), 宮島 英昭 (著)	有斐閣	2019	978-4641221215	参考書
岩波講座日本経済の歴史 5 現代1	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	9784000114059	参考書
岩波講座日本経済の歴史 6 現代2	深尾京司・中村尚史・中林真幸編集	岩波書店	2018	9784000114066978-4641221215	参考書
私たちの日本経済	宮本 弘暁	有斐閣	2024	20240	参考書
21 世紀の長期停滞論	福田慎一	平凡社	2018	9784582858631	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・授業はわかりやすく話すつもりであるが、受講者は東北大学に合格し、入門科目を履修してきた学生として、基本的な経済学の概念、用語、日本社会での出来事の概要についてある程度知っていることは前提とする。
- ・基本的な用語や出来事などが分からないと感じた場合、参考書や参考文献をできるだけ読むこと。

10. その他/In addition :

教科書は用いない。

「教科書・参考書」欄に記したのは、日本経済全体についての参考書である。
より立ち入った論点に関わる文献は、講義資料で提示する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合がある。

経営政策/Business Policy

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：火曜2限、金曜3限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN313J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義では、経営政策における主要な理論や概念について、ドキュメンタリーの鑑賞、ディスカッション、教員の説明などを通じて、体系的に学習していく。抽象的な理論や概念と具体的な組織の事例とのあいだの往復運動のなかで、経営政策の理解を深めていく。学生の皆さんには、教員の説明を受けるだけでなく、授業内容の中で関心のある課題を選び、さらに調査・探究することを通じて、学びを深めることが求められる。このような動態的な学習を通じて、経営政策の分析に必要な実践的なスキル、知識、そして社会に即応できる能力を備えた人材を育成することを目指す。

In this course, students systematically learn the main theories and concepts of business strategy through documentaries, discussions, and explanations by the lecturer. Students deepen their understanding of business policy by moving back and forth between abstract theories, concepts, and concrete organizational examples. Students are expected to listen to the instructor's explanations and deepen their learning by selecting a topic that interests them the most from the class topics and conducting a case study. Through this type of active learning, this class aims to educate human resources equipped with the practical skills and knowledge necessary for analyzing business strategies and the ability to meet societal requirements.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

学生は、経営政策に関連する基礎的な知識を修得し、それを用いて、様々な経営政策現象を自ら分析できるようになることを目標とする。The goal is to enable students to acquire basic business policy knowledge and use it to analyze various business policy phenomena.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

- 第1回：オリエンテーション/Orientation
- 第2回：経営政策の概念と内容①/Key concepts in business policy 1
- 第3回：経営政策の概念と内容②/Key concepts in business policy 2
- 第4回：経営資源①/Management resources 1
- 第5回：経営資源②/Management resources 2
- 第6回：競争の基本戦略①/Competitive strategies 1
- 第7回：競争の基本戦略②/Competitive strategies 2
- 第8回：競争の基本戦略③/Competitive strategies 3
- 第9回：国際戦略①/International strategy 1
- 第10回：国際戦略②/International strategy 2
- 第11回：国際戦略③/International strategy 3
- 第12回：社会戦略①/Social strategy 1
- 第13回：社会戦略②/Social strategy 2
- 第14回：社会戦略③/Social strategy 3
- 第15回：制約と制約対応①/Constraint and Response 1
- 第16回：制約と制約対応②/Constraint and Response 2
- 第17回：ウェルビーイング経営①/Well-being Management 1
- 第18回：ウェルビーイング経営②/Well-being Management 2
- 第19回：人的資本①/Human Capital 1
- 第20回：人的資本②/Human Capital 2
- 第21回：人的資本③/Human Capital 3
- 第22回：様々な組織の経営政策①/Business policy of various organizations 1
- 第23回：様々な組織の経営政策②/Business policy of various organizations 2
- 第24回：経営政策の応用可能性①/Applicability of business policy 1
- 第25回：経営政策の応用可能性②/Applicability of business policy 2
- 第26回：経営戦略の事例研究①/Case study of business policy 1
- 第27回：経営戦略の事例研究②/Case study of business policy 2
- 第28回：経営戦略の事例研究③/Case study of business policy 3
- 第29回：経営戦略の事例研究④/Case study of business policy 4
- 第30回：総括と補足/Summary and supplementary notes

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

講義は日本語で行う（必要に応じて英語も可）。受講者のレポートとプレゼンテーションは日本語か英語とする。Lectures are given in Japanese (English is also possible if necessary). Students' reports and presentations can be in either Japanese or English.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

期末レポート 70%、ディスカッションへの参加度 30%

Final report 70%, participation to class discussion 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

#1 予習: 関心のある組織の概要について調べておくこと。復習: 本講義の内容に基づけば関心のある組織をどのように分析できるのかについて整理すること。Preparation: Collect information on the overview of your favorite organization.
Review: Organize how you can analyze your favorite organization based on the coming contents of this le

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済経営数学 I / Mathematics for Economics and Business Management I

担当教員/Instructor: 室井 芳史 / YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 水曜 1 限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM220J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済学、統計学、ファイナンスで用いる確率論の基礎。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

確率論のより厳密なとりあつかい方法について学ぶ。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

第 1 回: 確率の基礎とシグマ加法族

第 2 回: 確率変数

第 3 回: 確率測度

第 4 回: 条件付き期待値

第 5 回: 確率分布

第 6 回: 様々な確率分布 (1)

第 7 回: 様々な確率分布 (2)

第 8 回: 期待値

第 9 回: ルベーグ積分

第 10 回: ラドンニコディム微分

第 11 回: フビニの定理

第 12 回: モーメント・母関数 (1)

第 13 回: モーメント・母関数 (2)

第 14 回: 確率論でよく用いられる不等式

第 15 回: 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

6. 成績評価方法/Evaluation method:

日本語

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

統計学への確率	清水泰隆	内田老鶴圃	2019	978-4753601257	教科書
論、その先へ					

978-4753601257

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

教科書の精読

10. その他/In addition:

データサイエンス/DataScience

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：月曜 2 限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM230J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済データを扱う際には、分散不均一性や内生性といった経済データ特有の性質を考慮に入れたデータ分析を行うことが重要である。この授業では、経済データの分析に用いられる統計手法を紹介し、それらの分析手法に必要な仮定や分析結果の解釈について解説する。また、統計分析ソフトを用いて、シミュレーションや実データ分析を行う。

Google classroom code: wfxuk6p

This course covers statistical methods for analyzing economic data.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

以下の三点を到達目標とする：

1. 代表的な経済データ分析手法を理解する。
2. それらの分析手法に必要な仮定を理解する。
3. 統計分析ソフト R を用いて、シミュレーションと実データ分析を行う。

The aim of this course is that students learn typical economic data analysis methods and apply these methods to real data analysis using R.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

この講義では、以下の内容を扱う。/ The contents are as follows.

1. 確率の基礎 / Probability theory
2. 統計の基礎 / Statistics
3. 単回帰分析 / Simple linear regression
4. 重回帰分析 / Multiple linear regression
5. ダミー変数 / Dummy variable
6. 操作変数法 / Instrumental variable method
7. パネルデータ分析 / Panel data analysis
8. 反実仮想分析/ Counterfactual framework

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語 / Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method：

課題と理解度確認セッションで評価する。具体的には第1回の講義で指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

計量経済学	西山慶彦、新谷元 有斐閣	2019	4641053855	参考書
	嗣、川口大司、奥井亮			
経済経営のデータサイエンス	石垣 司、植松良 共立出版	2022	4320125193	参考書
	公、千木良弘朗、照井伸彦、松田安昌、李銀星		4641053855	

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

授業の予習と復習。

10. その他/In addition：

「統計学入門」と「経済経営数学入門 A・B」で扱うレベルの知識を前提とする。

トピックス経済学 経済政策／産業組織論 I /Topics of Economics: Economic Policy/Industrial Organization

担当教員/Instructor: 泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0212J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して現実の企業行動や産業組織を分析する学問分野です。標準的なミクロ経済学では完全競争市場から分析を始めますが、現実の市場の多くは不完全競争市場であるため、不完全競争の経済理論を勉強した後でそれを実証的・政策的に応用していく必要があります。今学期の講義では、不完全競争市場のなかでも独占市場を取り上げ、独占によってどのような問題が発生するのか、政府は独占の問題についてどのように対処する必要があるのかについて講義したいと思います。経済理論とともに、その現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

競争と経済厚生との関係を理解できるようになる。
 独占市場の理論を理解できるようになる。
 独占禁止政策の基礎的な概念を理解できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態: オンライン授業 (オンデマンド方式) で行う。講義動画は Google Classroom の講義ページより配信する。

Google Classroom のクラスコード「hi3miqm」(講義コード EB311)、「iabpuvu」(講義コード EB311X)。

現在のところ、次の内容で授業を進めていこうと考えています。

第1回 イントロダクション

第2回 アダム・スミスと自由主義の経済政策

第3回 幼稚産業保護論と厚生経済学の基本定理

第4回～第6回 19世紀末から20世紀前半の経済危機と1930年代の経済学の革新:

トラスットの発生、シャーマン法の成立、合併による巨大独占企業の誕生、バブルと世界大恐慌、不完全競争の経済学 (独占の理論、独占的競争の理論) の誕生、(ケインズ経済学の誕生)、産業組織論の誕生

第7回 独占企業の価格設定と非効率性

第8回 市場支配力と企業結合規制

第9回 産業組織論の誕生

第10回 費用逓減産業と自然独占

第11回 公正報酬率規制とアバーチ・ジョンソン効果

第12回 政府の失敗と民営化・規制緩和

第13回 参入の経済効果とコンテスト市場理論

第14回 参入規制の経済効果と規制緩和

第15回 理解度確認セッション

説明の都合や教員の健康状態等の影響によっては講義の順番や内容が変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションの成績に基づいて評価します。

担当教員の健康状態によっては変更になる可能性があります。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

ブラクティカル 泉田成美・柳川隆 有斐閣 2008年 978-4-641-12372-4 教科書
 産業組織論

978-4-641-12372-4

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

「経済学入門 B」を履修していることが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00 面談を希望する学生は、前もって E-mail で申し込むこと

担当教員は現在重い病気に罹患しており、対面授業での講義が実施できない状況にあります。そのため、今年度はオンライン授業（オンデマンド方式）で授業を実施することとしました。オフィス・アワーについても、対応できないかもしれません。ご理解の上、ご容赦いただきたいと思います。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 経済政策／産業組織論 I /Topics of Economics: Economic Policy/Industrial Organization

担当教員/Instructor: 泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0212J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して現実の企業行動や産業組織を分析する学問分野です。標準的なミクロ経済学では完全競争市場から分析を始めますが、現実の市場の多くは不完全競争市場であるため、不完全競争の経済理論を勉強した後でそれを実証的・政策的に応用していく必要があります。今学期の講義では、不完全競争市場のなかでも独占市場を取り上げ、独占によってどのような問題が発生するのか、政府は独占の問題についてどのように対処する必要があるのかについて講義したいと思います。経済理論とともに、その現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

競争と経済厚生との関係を理解できるようになる。
 独占市場の理論を理解できるようになる。
 独占禁止政策の基礎的な概念を理解できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態: オンライン授業 (オンデマンド方式) で行う。講義動画は Google Classroom の講義ページより配信する。

Google Classroom のクラスコード「hi3miqm」(講義コード EB311)、「iabpuvu」(講義コード EB311X)。

現在のところ、次の内容で授業を進めていこうと考えています。

第1回 イントロダクション

第2回 アダム・スミスと自由主義の経済政策

第3回 幼稚産業保護論と厚生経済学の基本定理

第4回～第6回 19世紀末から20世紀前半の経済危機と1930年代の経済学の革新:

トラスットの発生、シャーマン法の成立、合併による巨大独占企業の誕生、バブルと世界大恐慌、不完全競争の経済学 (独占の理論、独占的競争の理論) の誕生、(ケインズ経済学の誕生)、産業組織論の誕生

第7回 独占企業の価格設定と非効率性

第8回 市場支配力と企業結合規制

第9回 産業組織論の誕生

第10回 費用逓減産業と自然独占

第11回 公正報酬率規制とアバーチ・ジョンソン効果

第12回 政府の失敗と民営化・規制緩和

第13回 参入の経済効果とコンテスト市場理論

第14回 参入規制の経済効果と規制緩和

第15回 理解度確認セッション

説明の都合や教員の健康状態等の影響によっては講義の順番や内容が変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションの成績に基づいて評価します。

担当教員の健康状態によっては変更になる可能性があります。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

ブラクティカル 泉田成美・柳川隆 有斐閣 2008年 978-4-641-12372-4 教科書
 産業組織論

978-4-641-12372-4

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

「経済学入門 B」を履修していることが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00 面談を希望する学生は、前もって E-mail で申し込むこと

担当教員は現在重い病気に罹患しており、対面授業での講義が実施できない状況にあります。そのため、今年度はオンライン授業（オンデマンド方式）で授業を実施することとしました。オフィス・アワーについても、対応できないかもしれません。ご理解の上、ご容赦いただきたいと思います。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 経済政策／産業組織論Ⅱ/Topics of Economics: Economic Policy/Industrial Organization

担当教員/Instructor: 泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0215J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して現実の企業行動や産業組織を分析する学問分野です。標準的なミクロ経済学では完全競争市場から分析を始めますが、現実の市場の多くは不完全競争市場であるため、不完全競争の経済理論を勉強した後でそれを実証的・政策的に応用していく必要があります。今学期の講義では、ゲーム理論の基礎と寡占市場理論およびその経済政策・競争政策的な問題を講義したいと思います。経済理論とともに、その現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ゲーム理論の基礎概念を理解できるようになる。
寡占市場の理論を理解できるようになる。
独占禁止政策の基礎的な概念を理解できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態: オンライン授業 (オンデマンド方式) で行う。講義動画は Google Classroom に配信する。

Google Classroom のクラスコード「m6x7r5a」(講義コード EB312)、「3djge66」(講義コード EB312X)。

現在のところ、次の内容で授業を進めていこうと考えています。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回-第3回 ゲーム理論の基礎
- 第4回 クールノー寡占市場
- 第5回 シュタッケルベルク寡占市場
- 第6回 ベルトラン寡占市場
- 第7回 クレップス・シャインクマン・モデル
- 第8回-第9回 カルテル
- 第10回 集中度
- 第11回 市場範囲の確定
- 第12回 合併
- 第13回 企業結合規制
- 第14回 寡占企業の戦略的行動
- 第15回 理解度確認セッション

説明の都合や教員の健康状態等の影響によっては説明の順番や内容が変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションの成績に基づいて評価します。

担当教員の健康状態によっては変更になる可能性があります。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

ブラクティカル 泉田成美・柳川隆 有斐閣 2008年 978-4-641-12372-4 教科書

産業組織論

978-4-641-12372-4

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

「ミクロ経済分析」または「【トピックス経済学】経済政策／産業組織論Ⅰ」を履修していることが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00 面談を希望する学生は、前もって E-mail で申し込むこと

担当教員は現在重い病気に罹患しており、対面授業での講義が実施できない状況にあります。そのため、今年度はオンライン授業（オンデマンド方式）で授業を実施することとしました。オフィス・アワーについても、対応できないかもしれません。ご理解の上、ご容赦いただきたいと思います。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 経済政策／産業組織論Ⅱ/Topics of Economics: Economic Policy/Industrial Organization

担当教員/Instructor: 泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0215J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して現実の企業行動や産業組織を分析する学問分野です。標準的なミクロ経済学では完全競争市場から分析を始めますが、現実の市場の多くは不完全競争市場であるため、不完全競争の経済理論を勉強した後でそれを実証的・政策的に応用していく必要があります。今学期の講義では、ゲーム理論の基礎と寡占市場理論およびその経済政策・競争政策的な問題を講義したいと思います。経済理論とともに、その現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ゲーム理論の基礎概念を理解できるようになる。
寡占市場の理論を理解できるようになる。
独占禁止政策の基礎的な概念を理解できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業開講形態: オンライン授業 (オンデマンド方式) で行う。講義動画は Google Classroom に配信する。

Google Classroom のクラスコード「m6x7r5a」(講義コード EB312)、「3djge66」(講義コード EB312X)。

現在のところ、次の内容で授業を進めていこうと考えています。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回-第3回 ゲーム理論の基礎
- 第4回 クールノー寡占市場
- 第5回 シュタッケルベルク寡占市場
- 第6回 ベルトラン寡占市場
- 第7回 クレップス・シャインクマン・モデル
- 第8回-第9回 カルテル
- 第10回 集中度
- 第11回 市場範囲の確定
- 第12回 合併
- 第13回 企業結合規制
- 第14回 寡占企業の戦略的行動
- 第15回 理解度確認セッション

説明の都合や教員の健康状態等の影響によっては説明の順番や内容が変更される可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションの成績に基づいて評価します。

担当教員の健康状態によっては変更になる可能性があります。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

ブラクティカル 泉田成美・柳川隆 有斐閣 2008年 978-4-641-12372-4 教科書
産業組織論

978-4-641-12372-4

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

「ミクロ経済分析」または「【トピックス経済学】経済政策／産業組織論Ⅰ」を履修していることが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00 面談を希望する学生は、前もって E-mail で申し込むこと

担当教員は現在重い病気に罹患しており、対面授業での講義が実施できない状況にあります。そのため、今年度はオンライン授業（オンデマンド方式）で授業を実施することとしました。オフィス・アワーについても、対応できないかもしれません。ご理解の上、ご容赦いただきたいと思います。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 経済発展／経済発展 I /Topics of Economics: Development economics/ Development economics I

担当教員/Instructor：目置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 月曜2限

对象学年/Eligible Participants: 3-4.

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

本書は、経済発展Ⅰ・Ⅱは、諸国とりわけアジア諸国の経済発展についての理解を、事例研究や関連する理論や分析手法を学ぶことを通じて、深めることを目的としている。

となす。このように、第二次世界大戦後の東/東南アジア諸国の経済発展を南米やアフリカ諸国との対比において眺めると、全体としては、高い経済成長を達成してきたといえる。しかしアジア諸国の中でも、例えば、フィリピンの一人あたり実質 GDP は、1960 年から 2018 年までに約 2.9 倍（年平均成長率は約 1.8%）なのに対して、韓国のそれは約 28.3 倍（同じく約 5.9%）と大きな差がついた。1960 年には、統計のうえではほぼ同じであった両国の生活水準には、半世紀余りの時間の経過を経て、約 9 倍もの差が生じることとなった。各国の経済成長にこれほど大きな差が生まれるのは何故であろうか？ これは誰もが抱く

[illegible]

2. 学修の到達目標/Goal of study :

経済発展Ⅰの学習到達目標は、1) 各国の経済成長の相違を説明する基本的な経済成長モデルを理解すること、2) 物的資本・労働力・人的資本の投入や生産性・効率性によって、各国の経済成長の相違がどの程度説明出来るかを理解すること、3) 事例研究を通じて、アジア諸国の経済発展の経験の一端を知ること、である。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 授業の内容

1) 経済成長を測る指標、2) 基本的な経済成長理論(新古典派経済成長モデル)、3) 物的資本と経済成長、4) 人口(労働力)と経済成長、5) 人的資本と経済成長、6) 生産性の計測手法、7) 成長における技術役割、8) 効率性と経済成長という単元に分けて授業を進める。

2. 授業の方法

学生はテキストの指定された章をあらかじめ読んだうえで、講義に参加する。教員は、パワーポイントと補助資料や板書などを用いて、内容を解説する。ときどき簡単な例題をといってもらったり、小レポートを提出してもらい、学生の理解を確認する。

3. 授業の進度予定

 以下のとおり。

- (1) オリエンテーション
- (2) 経済発展の指標
- (3) 物的資本Ⅰ
- (4) 物的資本Ⅱ
- (5) 人口Ⅰ
- (6) 人口Ⅱ
- (7) 人的資本Ⅰ
- (8) 人的資本Ⅱ
- (9) 生産性の計測Ⅰ
- (10) 生産性の計測Ⅱ
- (11) 経済成長における技術の役割
- (12) 効率性と経済成長Ⅰ
- (13) 効率性と経済成長Ⅱ
- (14) 進行調整回
- (15) 理解度確認セッション

なお授業内容・方法・進度予定は若干変更される可能性がある。その場合、初回のオリエンテーションで変更点を説明する。

4. 実務・実践の授業/Practical business

※○は、実務・実践の授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
該当なし。

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評估方法/Evaluation method:

初回オリエンテーションで説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Economic Growth (4th edition)	Quamrul H. Ashraf & David N. Weil.	Routledge	2024	ISBN978-1-138-50438-7	教科書

経済成長（第2版）	ディヴィッド・N・ピアソン ワイル（早見弘・早見均訳）	2010	0	参考書
Development Economics	DeJanvry and Routledge	2021	0ISBN978-1-138-50438-7	参考書
アジア開発史	アジア開発銀行 勁草書房	2020	20200	参考書

8. 関連URL/URL：

1) Asia's Journey to Prosperity: Policy, Market, and Technology Over 50 Years のウェブサイト（無料DLが可能）：
<https://www.adb.org/publications/asias-journey-to-prosperity>
 これ以外は、オリエンテーション時に示唆する。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

予習：教科書などに目をとおしておく。

復習：授業時に出された課題を完成させる。復習のための問題を解く。

10. その他/In addition：

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 経済発展／経済発展 I /Topics of Economics: Development economics/ Development economics I

担当教員/Instructor: 日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 月曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス経済学 経済発展／経済発展Ⅱ/Topics of Economics: Development economics/ Development economics II

担当教員/Instructor: 日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 水曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0316J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済発展Ⅰ・Ⅱは、諸国とりわけアジア諸国の経済発展についての理解を、事例研究や関連する理論や分析手法を学ぶことを通じて、深めることを目的としている。

経済発展Ⅱでは、経済発展Ⅰにおける議論を踏まえたうえで、各国の経済成長に影響を与える根源的要因、つまり経済の開放性、政府と制度のあり方、所得不平等、文化、地理・気候・天然資源について考察を進めていく。次いで開発援助が途上国の経済成長や人々の暮らしにどのような影響を与えるか、援助の効果を検証する手法などを紹介する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経済発展Ⅰの学修到達目標は、1) 経済の開放性、政府と政治制度、文化と地理といった根源的要因が各国とりわけアジア諸国の経済成長にどのように影響したのかを理解し、2) 開発援助の効果とその分析手法についての基礎事項を学ぶことである。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 授業の内容

1) 経済の開放性と経済成長、2) 政府と経済成長、3) 政治制度と経済成長、4) 所得分配と経済成長、5) 文化と経済成長、6) 地理・気候・天然資源と経済成長、7) 開発援助とその効果について解説する。

2. 授業の方法

学生はテキストの指定された章をあらかじめ読んだうえで、講義に参加する。教員は、パワーポイントと補助資料や板書などを用いて、内容を解説する。ときどき簡単な例題をといってもらったり、小レポートを提出してもらい、学生の理解を確認する。

3. 授業の進捗予定

以下のとおり。

- (1) オリエンテーション
- (2) 経済の開放性と経済成長Ⅰ
- (3) 経済の開放性と経済成長Ⅱ
- (4) 政府と経済成長Ⅰ
- (5) 政府と経済成長Ⅱ
- (6) 政治制度と経済成長Ⅰ
- (7) 政治制度と経済成長Ⅱ
- (8) 所得分配と経済成長Ⅰ
- (9) 所得分配と経済成長Ⅱ
- (10) 文化と経済成長
- (11) 地理・気候・天然資源と経済成長
- (12) 開発援助Ⅰ
- (13) 開発援助Ⅱ
- (14) 進行調整回
- (15) 理解度確認セッション

なお授業内容・方法・進捗予定は若干変更される可能性がある。その場合、初回のオリエンテーションで変更点を説明する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

該当なし

6. 成績評価方法/Evaluation method:

初回オリエンテーションで説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Economic Growth (4th edition).	Quamrul H. Ashraf & David N. Weil.	Routledge.	2024	ISBN978-1-138-50438-7	教科書
Development Economics:	Alain DeJanvry and Elissabeth	Routledge	2021	0	参考書

Theory and Sadoulet
Practice.

アジア開発史：政策・市場・技術発展の50年を振り返る
アジア開発銀行 勁草書房
(澤田康幸監訳)

2020

0ISBN978-1-138-
50438-7

参考書

8. 関連URL/URL：

- 1) Asia's Journey to Prosperity: Policy, Market, and Technology Over 50 Years のウェブサイト (無料DLが可能) :
<https://www.adb.org/publications/asias-journey-to-prosperity>
これ以外は、オリエンテーション時に示唆する。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

特に決まったやり方はない。

10. その他/In addition：

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 経済発展／経済発展Ⅱ/Topics of Economics: Development economics/ Development economics II

担当教員/Instructor: 日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 水曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0316J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス経済学 医療福祉経済／医療福祉経済 I /Topics of Economics: Economics on Health and Welfare/ Econom

担当教員/Instructor: 湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 火曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0317J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義では、主に医療制度と介護制度を含む保健制度全般とそれと関連のある健康について、それぞれの制度の概要や統計を紹介するとともに、それぞれの制度が現在抱えている問題を近代経済学のアプローチによって検討する方法を講義する。これらを含む社会保障は、政府の一般歳出において最大シェアを長らく占めている部門であるが、今後のさらなる少子高齢化の進展によって費用膨張の抑制や財源の手当てなど解決すべき課題が山積している。資源の最適配分を考える近代経済学（特にミクロ経済学）をベースに、今後の制度や社会の在り方を考えるための基礎理論を紹介する。

This lecture provides the overviews of the Japanese health and long-term care systems and related economic theories.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本講義の学修の到達目標は以下の通りである。

- (1) ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎理論を、保健制度や健康の経済分析に応用できるようになること。
- (2) 保健制度に関する統計を、統計学の手法を用いて保健制度や健康の経済分析に活用できるようになること。
- (3) 高齢社会における制度の担い手として、保健制度を含む社会保障や健康に関する諸問題について論理的に考察できるようになること。

The objectives of this course are to.

- (1) Apply the basic theories of microeconomics and macroeconomics to the economic analysis of health system.
- (2) Apply the statistics on health systems for the economic analysis on health policies.
- (3) Logically consider various issues related to health policies as a bearer of the system in an aging society.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

以下の内容を講義する予定である。

- 第1回 ガイダンス
- 第2～3回 医療保険制度と介護保険制度
- 第4～5回 健康資本
- 第6～9回 保険理論とモラルハザード
- 第10回 医療技術と医療費
- 第11～12回 医療・介護供給体制
- 第13～15回 嗜癖（喫煙の経済学・行動経済学）

The following contents will be lectured.

- 1 Guidance
- 2-3 Public health and long-term care insurance systems
- 4-5 Health capital
- 6-9 Insurance theory and moral hazard
- 10 Medical technology and medical expenses
- 11-12 Medical and long-term care supply system
- 13-15 Addiction (Economics and Behavioral Economics of Smoking)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

原則として、オンライン小テスト（20%）・課題（40%）・理解度確認セッション（40%）で評価する。詳細は初回講義で説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

社会保障の経済学	小塩隆士	日本評論社	2013	9.7845355574e+12	参考書
医療経済学講義 補訂版	橋本英樹・泉田信行	東京大学出版会	2016	9784130421423	参考書
健康経済学：市場と規制のあいだで	後藤励・井深陽子	有斐閣	2020	97846411655649.7845355574e+12	参考書

8. 関連URL/URL :

制度の概要を視覚的に理解するためには、『厚生労働白書』が有用である。Web 版の URL は、
https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/ である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義前に、事前配布予定の講義資料と補足資料に目を通しておくこと。講義後は経済モデルを中心に復習することが望ましい。

10. その他/In addition :

以下の点に留意すること。

- (1) 講義資料と補足資料および講義に関する情報は、Google Classroom (コードは"i4yz57k") を通して配信する予定である。
- (2) ミクロ経済分析・マクロ経済分析・数理統計・経済学入門 B・統計学入門を履修済みまたは並行履修していることが望ましい。
- (3) 本講義は、東北大学経済学部・大学院経済学研究科の 5 年一貫プログラム「高齢社会の地域公共経済政策」および「データ科学」の指定科目である。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 医療福祉経済／医療福祉経済Ⅰ/Topics of Economics: Economics on Health and Welfare/ Econom

担当教員/Instructor: 湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 火曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0317J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス経済学 医療福祉経済／医療福祉経済Ⅱ/Topics of Economics: Economics on Health and Welfare/ Econom

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 2 限

对象学年/Eligible Participants: 3-4.

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0318J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

本講義では、公的年金・子育て支援・公的扶助などの社会保障制度について、それぞれの制度の概要や統計を紹介するとともに、それぞれの制度が現在抱えている問題を近代経済学のアプローチによって検討する方法を講義する。

社会保障は、政府の一般歳出において最大シェアを長らく占めている部門であるが、今後のさらなる少子高齢化の進展によって費用膨張の抑制や財源の手当てなど解決すべき課題が山積している。資源の最適配分を考える近代経済学（特にミクロ経済学）をベースに、今後の制度や社会の在り方を考えるための基礎理論を紹介する。

This lecture provides the overviews of the Japanese social security system and related economic theories.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

本講義の学修の到達目標は以下の通りである。

- (1) ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎理論を、社会保障の経済分析に応用できるようになること。
- (2) 社会保障に関する統計を、統計学の手法を用いて社会保障の経済分析に活用できるようになること。
- (3) 高齢社会における制度の担い手として、社会保障に関する諸問題について論理的に考察できるようになること。

The objectives of this course are to.

- (1) Apply the basic theories of microeconomics and macroeconomics to the economic analysis of social security.
- (2) Apply social security statistics to the economic analysis of social security using statistical methods.
- (3) Logically consider various issues related to social security as a bearer of the system in an aging society.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

以下の内容を講義する予定である。。

- [illegible]

The following contents will be lectured.

- 1 Guidance
- 2-3 Social security: An overview
- 4-5 Social security from a macroeconomic perspective
- 6-7 Poverty and support for low-income populations
- 8 Public pension system
- 9-10 Universal pension system
- 11 Fiscal method of pension system and intergenerational disparity
- 12 Public pensions and employment behavior
- 13-15 Childcare support

4. 実務・実践の授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

原則として、オンライン小テスト（20%）・課題（40%）・理解度確認セッション（40%）で評価する。

詳細は初回講義で説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

社会保障の経済学	小塩隆士	日本評論社	2013	9.7845355574e+12	参考書

9. 7845355574e+12

8. 関連URL/URL :

制度の概要を視覚的に理解するためには、『厚生労働白書』が有用である。Web 版の URL は、
https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/ である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義前に、事前配布予定の講義資料と補足資料に目を通しておくこと。講義後は経済モデルを中心に復習することが望ましい。

10. その他/In addition :

以下の点に留意すること。

- (1) 講義資料と補足資料および講義に関する情報は、Google Classroom（コードは"vkohj6u"）を通して配信する予定である。
- (2) ミクロ経済分析・マクロ経済分析・数理統計・経済学入門 B・統計学入門を履修済みまたは並行履修していることが望ましい。
- (3) 本講義は、東北大学経済学部・大学院経済学研究科の 5 年一貫プログラム「高齢社会の地域公共経済政策」および「データ科学」の指定科目である。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 医療福祉経済／医療福祉経済Ⅱ/Topics of Economics: Economics on Health and Welfare/ Econom

担当教員/Instructor: 湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0318J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス経済学 行動経済学 I /Topics of Economics: Behavioral Economics I

担当教員/Instructor : 矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period : 水曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0325J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

行動経済学とは「心理学と経済学」ともいわれ、経済現象の分析に心理学的な知見を取り入れた経済学の一分野です。この講義では、行動経済学の入門的講義を行います。行動経済学の基礎的事柄を学ぶとともに、教育・労働・金融などの各論も扱う予定です。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

標準的な行動経済学のトピックの内容を理解し、自ら現実問題へ応用できるようになること。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1: ガイダンス
- 2-5: 現在バイアス
- 5-7: リスク下での意思決定
- 8-11: プロスペクト理論
- 12-14: 社会的選好
- 15-17: 社会的イメージ
- 18-20: 信念形成、記憶
- 21-22: 幸福度
- 24-26: ジェンダー、差別、アイデンティティの経済学
- 27-28: 学生によるプレゼンテーション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点（小テスト、授業内レポート、宿題等）と定期テストの成績によって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

トピックス経済学 行動経済学Ⅱ/Topics of Economics: Behavioral Economics II

担当教員/Instructor: 矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period: 水曜3限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0326J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

行動経済学とは「心理学と経済学」ともいわれ、経済現象の分析に心理学的な知見を取り入れた経済学の一分野です。この講義では、行動経済学の入門的講義を行います。行動経済学の基礎的事柄を学ぶとともに、教育・労働・金融などの各論も扱う予定です。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

標準的な行動経済学のトピックの内容を理解し、自ら現実問題へ応用できるようになること。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 1: ガイダンス
- 2-5: 現在バイアス
- 5-7: リスク下での意思決定
- 8-11: プロスペクト理論
- 12-14: 社会的選好
- 15-17: 社会的イメージ
- 18-20: 信念形成、記憶
- 21-22: 幸福度
- 24-26: ジェンダー、差別、アイデンティティの経済学
- 27-28: 学生によるプレゼンテーション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

平常点（小テスト、授業内レポート、宿題等）と定期テストの成績によって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

10. その他/In addition:

トピックス経済学 地域経済／地域経済Ⅰ/Topics of Economics: Regional Economy/ Regional Economy I

担当教員/Instructor: 学務テスト 教員1 /MAKI SHOJI

曜日・講時/Day/Period: 金曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0321J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義では、経済活動のグローバル化が進む中で、地域が持つ経済的な役割や特性を多様な視点から考察する。地域経済の基本構造や産業構造の分析を通じて、地域間の経済循環や人口移動、企業立地のメカニズムを理解し、都市化や集積の経済が地域に与える影響を検討する。さらに、地方創生や地域マーケティング、観光、環境、防災など、持続可能な地域づくりに関する課題についても取り上げる。

This course examines the economic roles and characteristics of regions from a multifaceted perspective in the context of the increasing globalization of economic activities. Understand the mechanisms of regional economic cycles, population movements, and the location of enterprises through the analysis of the basic structure and industrial structure of the regional economy, and examine the impact of urbanization and agglomeration on the region.

In addition, major issues related to sustainable regional development will be discussed, including regional revitalization, regional marketing, tourism, environmental issues and disaster risk reduction.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の内容の理解と、その応用力を身につける。

- ・ 地域の基本構造
- ・ 地域経済を分析するためのデータと諸理論
- ・ 地域(経済)問題の発生要因と推移
- ・ 地域政策や開発計画の意義と課題

In this course, students will acquire an understanding of the following topics and the ability to apply them.

- ・ Basic structure of the region
- ・ Data and theories for analyzing the regional economy
- ・ Factors that cause regional (economic) problems and their trends
- ・ Significance and issues of regional policy and development planning

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義では、地域経済の基本理論と実践的な課題を扱う。(古典的)立地論、地域科学、空間経済学などの理論的アプローチを概観し、地域経済の基本構造を理解する。さらに、地方財政学、経済地理学、地域経営論、地域開発論の視点を取り入れ、地域経済の変化や政策的課題について考察する。

以下の9つのテーマで講義を行う。1つのテーマにつき2、3回の講義に相当する。

- 1) 国土システムの長期的変遷 (Long-term Changes in the National Land System)
- 2) 地域経済構造分析 (Analysis of Regional Economic Structures)
- 3) 人口移動と都市化 (Population Migration and Urbanization)
- 4) 都市内土地利用の分析 (Analysis of Land Use)
- 5) 企業立地 (Corporate Location Theory)
- 6) 空間経済学 (Spatial Economics)
- 7) 地域インフラと経済活動 (Regional Infrastructure and Economic Activities)
- 8) 地方創生: 地域政策と地域活性化 (Regional Policy and Regional Revitalization)
- 9) 持続可能な地域づくり (Sustainable Regional Development)

本講義は対面授業を基本とするが、Google クラウドルームを通じて授業資料の配布、提出課題を受け付ける。地域経済Ⅰでは、テーマに関する理論を紹介し、地域経済Ⅱでは、理論に基づいた分析や事例の紹介、グループワークを行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

- ・ 講義は日本語で行う
- ・ 受講者が提出するレポートは日本語か英語とする

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- ・ 講義中に提示する課題 (50%)
- ・ 理解度確認セッション (50%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

都市・地域経済学 への招待状	佐藤泰裕	有斐閣	2014	978-4-641-15119-2	参考
復興の空間経済 学	藤田昌久・浜田伸 明・亀山嘉大	日本経済新聞社	0	0	参考
まちづくり構造 改革	中村良平	日本加除出版	0	0978-4-641-15119-2	参考
まちづくり構造 改革Ⅱ	中村良平	日本加除出版	0	00	参考
地域経済循環分 析の手法と実践	日本政策投資銀行・株式会社価値 総合研究所	ダイヤモンド社	0	0	参考
地元経済を創り なおす	枝廣淳子	岩波新書	0	0	参考
まちづくりの統 計学	宇都宮浄人・多田 実	学芸出版社	0	0	参考

8. 関連URL/URL :

RESAS(地域経済分析システム):<https://resas.go.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義の論点に関する新聞記事、ニュース、専門誌に目を通しておくこと。

10. その他/In addition :

【トピックス】地域経済／地域経済Ⅱ の受講も前提に講義を展開するため、【トピックス】地域経済／地域経済Ⅱ を受講すること。

質問等には、講義終了後、またはメール(mmakishoji77@isenshu-u.ac.jp)で受け付ける。

★履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経済学 地域経済／地域経済Ⅱ/Topics of Economics: Regional Economy/ Regional Economy II

担当教員/Instructor: 学務テスト 教員1 /MAKI SHOJI

曜日・講時/Day/Period: 金曜3限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0324J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義では、経済活動のグローバル化が進む中で、地域が持つ経済的な役割や特性を多様な視点から考察する。地域経済の基本構造や産業構造の分析を通じて、地域間の経済循環や人口移動、企業立地のメカニズムを理解し、都市化や集積の経済が地域に与える影響を検討する。さらに、地方創生や地域マーケティング、観光、環境、防災など、持続可能な地域づくりに関する課題についても取り上げる。

This course examines the economic roles and characteristics of regions from a multifaceted perspective in the context of the increasing globalization of economic activities. Understand the mechanisms of regional economic cycles, population movements, and the location of enterprises through the analysis of the basic structure and industrial structure of the regional economy, and examine the impact of urbanization and agglomeration on the region.

In addition, major issues related to sustainable regional development will be discussed, including regional revitalization, regional marketing, tourism, environmental issues and disaster risk reduction.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の内容の理解と、その応用力を身につける。

- ・地域の基本構造
- ・地域経済を分析するためのデータと諸理論
- ・地域(経済)問題の発生要因と推移
- ・地域政策や開発計画の意義と課題

In this course, students will acquire an understanding of the following topics and the ability to apply them.

- ・Basic structure of the region
- ・Data and theories for analyzing the regional economy
- ・Factors that cause regional (economic) problems and their trends
- ・Significance and issues of regional policy and development planning

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義では、地域経済の基本理論と実践的な課題を扱う。(古典的)立地論、地域科学、空間経済学などの理論的アプローチを概観し、地域経済の基本構造を理解する。さらに、地方財政学、経済地理学、地域経営論、地域開発論の視点を取り入れ、地域経済の変化や政策的課題について考察する。

以下の9つのテーマで講義を行う。1つのテーマにつき2、3回の講義に相当する。

- 1) 国土システムの長期的変遷 (Long-term Changes in the National Land System)
- 2) 地域経済構造分析 (Analysis of Regional Economic Structures)
- 3) 人口移動と都市化 (Population Migration and Urbanization)
- 4) 都市内土地利用の分析 (Analysis of Land Use)
- 5) 企業立地 (Corporate Location Theory)
- 6) 空間経済学 (Spatial Economics)
- 7) 地域インフラと経済活動 (Regional Infrastructure and Economic Activities)
- 8) 地方創生: 地域政策と地域活性化 (Regional Policy and Regional Revitalization)
- 9) 持続可能な地域づくり (Sustainable Regional Development)

本講義は対面授業を基本とするが、Google クラウドルームを通じて授業資料の配布、提出課題を受け付ける。地域経済Ⅰでは、テーマに関する理論を紹介し、地域経済Ⅱでは、理論に基づいた分析や事例の紹介、グループワークを行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

- ・講義は日本語で行う
- ・受講者が提出するレポートは日本語か英語とする

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- ・講義中に提示する課題 (50%)
- ・理解度確認セッション (50%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

都市・地域経済学 への招待状	佐藤泰裕	有斐閣	2014	978-4-641-15119-2	参考
復興の空間経済 学	藤田昌久・浜田伸 明・亀山嘉大	日本経済新聞社	0	0	参考
まちづくり構造 改革	中村良平	日本加除出版	0	0978-4-641-15119-2	参考
まちづくり構造 改革Ⅱ	中村良平	日本加除出版	0	00	参考
地域経済循環分 析の手法と実践	日本政策投資銀行・株式会社価値 総合研究所	ダイヤモンド社	0	0	参考
地元経済を創り なおす	枝廣淳子	岩波新書	0	0	参考
まちづくりの統 計学	宇都宮浄人・多田 実	学芸出版社	0	0	参考

8. 関連URL/URL :

RESAS(地域経済分析システム):<https://resas.go.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義の論点に関する新聞記事、ニュース、専門誌に目を通しておくこと。

10. その他/In addition :

【トピックス】地域経済／地域経済Ⅱ の受講も前提に講義を展開するため、【トピックス】地域経済／地域経済Ⅱ を受講すること。

質問等には、講義終了後、またはメール(mmakishoji77@isenshu-u.a.c.jp)で受け付ける。

★履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経営学 企業論／企業論 I /Topics of Economics: Corporate Theory/ Corporate Theory I

担当教員/Instructor：学務テスト 教員 1 /YOSHIHARU SHIRATA

曜日・講時/Day/Period：火曜 1 限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN312J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義は、企業活動をベンチャー企業（以下 VB）経営の事例を通じて、実践的に VB と経営学を学んでいく授業です。

それでは VB とはどのような企業なのでしょう？ GAFAM といわれる Google, Apple, Facebook, Amazon, Microsoft は、新規の事業を起こし急速に規模を拡大し急成長したもっとも身近な VB です。これらの VB 企業の急成長にともなう企業活動の拡大は、経済活動の活性化を促したため、その結果 VB は経済活動活性化の担い手として期待されています。世界中が羨む素晴らしい実績を残しているこれらの企業をケーススタディとして、経営学を学んでいきます。

企業論 I、15 回では、これらの VB は「どのようにして生まれたのか、どのようなイノベーションを行ったのか、莫大な利益を上げている要因は何だろう、どのようなシステムなのだろう。」といった内容について多視点から学びます。

企業論 II では、具体的な会社経営について学びます。I と II はつながりのある授業になります。前半 15 回で企業のケーススタディを行い、後半 15 回で会社経営の実践を学び、経済人・企業人として経営に必要な知識を得るのが本講義の特長です。

本講義のポイントは、経営理論と実務の融合です。担当教員は、博士号（経営学）で、かつ企業経営歴 30 年超えます。また、会社整理、会社立上げ、大臣賞受賞、ベンチャーキャピタル導入、M&A による EXIT など、良い実績も失敗した悪い実績も幅広くあります。このような実務経験から、経営学が実務でどのように活用されているのかが、具体的に学ぶことが出来ます。授業進行モットーは、「おもしろく、タメになる、役に立つ」です。

さらに、ゲスト講師に現役経営者を迎え、経営理念や市場状況、イノベーションについて学ぶ機会も複数回予定しています。まさしく、おもしろくてタメになりますね。

This course is a practical class that teaches about venture businesses (VB) and business management through examples of their business activities.

So what kind of companies are VB? GAFAM, aka Google, Apple, Facebook, Amazon, and Microsoft, are the most familiar VB that started new businesses and expanded rapidly. The expansion of business activities that accompanied the rapid growth of these VB has promoted the revitalization of economic activity, and as a result, VB are expected to play a key role in revitalizing economic activity. We will learn about business management using these companies, which have an excellent track record that is the envy of the world, as case studies.

In the 15th lesson of Corporate Theory I, we will learn about these VB from multiple perspectives, such as "how were they born, what kind of innovations did they make, what are the factors that make them huge profits, and what kind of system do they have?"

In Corporate Theory II, we will learn about specific company management. I and II are related lessons. The feature of this course is that the first 15 lessons are corporate case studies, and the last 15 lessons are learning about the practice of company management, and you can gain the knowledge you need to manage as an economist or businessperson.

The key point of this course is the fusion of management theory and practice. The instructor has a PhD (business administration) and over 30 years of experience in corporate management. He also has a wide range of good and bad achievements, including company reorganization, company start-up, winning the Minister's Award, introducing venture capital, and exiting through M&A. From this practical experience, you can learn specifically how business administration is used in practice. The motto of the class is "interesting, useful, and helpful."

In addition, we will have several opportunities to learn about management philosophy, market conditions, and innovation from active managers as guest lecturers. It is truly interesting and useful.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

企業経営とベンチャー企業（以下 VB）に関することを中心に幅広く行います。ビジネスの理論と経営実践の大切なところを抽出して行います。これを知っていれば、経済人として世の中に出たときに、VBMEs(中小企業)経営実務のおよそ 8 割が理解できるといえます。（もちろん基本は大企業経営も同じです）残り 2 割は、必要に応じて学ぶべきこと、経験値から学べることになります。

①VB の環境・経営の把握と課題の理解、および日米間 VB 企業背景の相違を理解できる。

②中小企業環境、中小企業経営の把握と課題を分析できる。

③VBMEs 企業における企業経営のコア知識を習得できる。

④会社を起こして経営する基本知識が習得できる。

⑤企業の市場退出方法を理論的に習得できる。

Understanding the management of venture business companies. Acquisition of basic knowledge to run and manage a company.

① Understand VB environment and management, understand issues, and understand the differences in VB corporate background between Japan and the United States.

② Understand the SMEs environment and SMEs management and analyze issues.

③ Acquire the core knowledge of corporate management in a company of VBMEs

④ Acquire the basic knowledge of starting a company and running it.

⑤ Acquire theoretically learn how to exit the market of a company.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

講義は、基本的にパワーポイントを用いたプレゼンテーション方式にて行います。

I : 15回 ケーススタディ編

1. ガイダンス及びベンチャービジネス論概論
 2. VB とはどのような企業か? GAFA+M に学ぶ
 3. VB のバックグラウンドを理解する-1 GAFAM の純利益推移の示すもの
 4. VB のバックグラウンドを理解する-2 GAFAM の突出した利益率を支えるイノベーション (革新) とは
 5. VB のバックグラウンドを理解する-3 日本企業と事例企業の利益率を比較すると...
 6. なぜVB が期待されるのか? 経済活性化とVB について
 7. VB が目指す上場 (IPO) について。上場のメリットとはなにか
 8. 日米におけるVB 定義の相違。しっかりと違いを知ろう
 9. VB の成長を支えるファンドとベンチャーキャピタルの理解
 10. VB の種類
 11. シュンペーターの定義する企業家とイノベーション
 12. 主なイノベーションとクリステンセンの破壊的イノベーション
 13. ケーススタディ: イノベーションの企業事例
 14. VB の創業期における資金調達。明日が分からない企業に誰が「お金」を提供するのか?
 15. 企業論 I 総括および理解度確認セッション
- ★企業経営や経済環境の変化によって、内容が変更される可能性もあります。

Venture Business Theory I. Basic theory edition.

・Lectures will be given using a PowerPoint presentation and progress is based on the contents of the textbook.

1. Guidance and introduction to venture business theory.
 2. What kind of the company is VB? Learn from GAFA + M.
 3. Understanding the background of VB works 1. Shows the change in net income of GAFA + M.
 4. Understanding the background of VB works 2. What is the innovation that supports the outstanding profit margin of GAFA + M?
 5. Understanding the background of VB-3. Comparing the profit margins of Japanese companies and case companies.
 6. Why is VB expected? Economic revitalization and VB.
 7. About the Initial Public Offering (IPO) that VB is aiming for. What are the benefits of IPO?
 8. Differences in VB definition between Japan and the United States.
 9. Understanding funds and venture capital to support VB growth.
 10. Type of VB.
 11. Schumpeter's definition of entrepreneurship and innovation.
 12. Major Innovations and Christensen's disruptive innovations.
 13. Case Study: Innovation company case study.
 14. Financing during VB's founding period. Who will provide "money" to companies that do not know tomorrow?
 15. Corporate theory summary and comprehension confirmation session.
- ★ The contents may change due to changes in corporate management and economic environment.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行い、理解度確認セッションや受講者が提出するレポート提出も日本語とします。

Lectures will be conducted in Japanese, and comprehension check sessions and reports submitted by participants will also be in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

基本的に理解度確認セッション 20%、レポート 80% (各セメスター5 回程度) の配分で評価を行います。学生の登録人数、授業規模や内容によって変更になることがあります。

Generally, the assessment will be 20% based on the understanding check session and 80% on reports (approximately 5 times per semester). This may change depending on t

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

日本ベンチャー学会

<https://www.venture-ac.ne.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経営学 企業論／企業論 I /Topics of Economics: Corporate Theory/ Corporate Theory I

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員 1 /YOSHIHARU SHIRATA

曜日・講時/Day/Period : 火曜 1 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN312J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :
2. 学修の到達目標/Goal of study :
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course :
6. 成績評価方法/Evaluation method :
7. 教科書および参考書/Textbook and references :
8. 関連URL/URL :
9. 授業時間外学修/Preparation and Review :
10. その他/In addition :

トピックス経営学 企業論／企業論Ⅱ/Topics of Economics: Corporate Theory/ Corporate Theory II

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YOSHIHARU SHIRATA

曜日・講時/Day/Period：火曜1限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN316J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義は、企業活動をベンチャー企業（以下 VB）経営の事例を通じて、実践的に VB と経営学を学んでいく授業です。

企業論Ⅰ、15 回では、GAFAM といわれる Google, Apple, Facebook, Amazon, Microsoft などの VB をケーススタディとして多視角的に学びました。

これに引き続き 企業論Ⅱ、15 回では、具体的な会社経営について学びます。会社の起こし方、ビジネスプラン作成、資金調達、経営戦略、コスト管理、TQM、営業、回収、企業の市場退出など、経営に必須の理論に事例を交えて実践的に学びます。ⅠとⅡはつながりのある授業になります。前半 15 回で企業のケーススタディを行い、後半 15 回で会社経営の実践を学び、経済人・企業人として経営に必要な知識を得るのが本講義の特長です。

本講義のポイントは、経営理論と実務の融合です。担当教員は、博士号（経営学）で、かつ企業経営歴 30 年超えます。また、会社整理、会社立上げ、大臣賞受賞、ベンチャーキャピタル導入、M&A による EXIT など、良い実績も失敗した悪い実績も幅広くあります。このような実務経験から、経営学が実務でどのように活用されているのかが、具体的に学ぶことが出来ます。授業進行モットーは、「おもしろく、タメになる、役に立つ」です。

さらに、ゲスト講師に現役経営者を迎え、経営理念や市場状況、イノベーションについて学ぶ機会も複数回予定しています。まさしく、おもしろくてタメになりますね。

This course is a practical class that teaches about venture businesses (VB) and business management through the case studies of venture business management.

In the 15 lessons of Business Theory I, we learned about GAFAM (Google, Apple, Facebook, Amazon, Microsoft, and other VB) from various perspectives as case studies.

Following this, in the 15 lessons of Business Theory II, we will learn about specific company management. We will learn practically about theories essential to management, such as how to start a company, creating a business plan, fundraising, business strategy, cost management, TQM, sales, collection, and market exit, with examples. I and II are connected classes. The first 15 lessons are corporate case studies, and the second 15 lessons are learning about the practice of company management, which is the feature of this course.

The key point of this course is the fusion of business theory and practice. The instructor has a PhD in business management and has over 30 years of experience in business management. In addition, there is a wide range of good and bad achievements, including company restructuring, company start-ups, winning ministerial awards, introducing venture capital, and exiting through M&A. From these practical experiences, you can learn concretely how business management is used in practice. The motto of the class is "interesting, informative, and useful."

We also plan to have multiple opportunities to invite active business managers as guest lecturers and learn about business philosophies, market conditions, and innovation. It will truly be interesting and informative.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

企業経営とベンチャー企業（以下 VB）に関することを中心に幅広く行います。ビジネスの理論と経営実践の大切なところを抽出して行います。これを知っていれば、経済人として世の中に出たときに、VBMEs(中小企業)経営実務のおよそ 8 割が理解できるといえます。（もちろん基本は大企業経営も同じです）残り 2 割は、必要に応じて学ぶべきこと、経験値から学ぶことになります。

①VB の環境・経営の把握と課題の理解、および日米間 VB 企業背景の相違を理解できる。

②中小企業環境、中小企業経営の把握と課題を分析できる。

③VBMEs 企業における企業経営のコア知識を習得できる。

④会社を起こして経営する基本知識が習得できる。

⑤企業の市場退出方法を理論的に習得できる。

Understanding the management of venture business companies. Acquisition of basic knowledge to run and manage a company.

① Understand VB environment and management, understand issues, and understand the differences in VB corporate background between Japan and the United States.

② Understand the SMEs environment and SMEs management and analyze issues.

③ Acquire the core knowledge of corporate management in a company of VBMEs

④ Acquire the basic knowledge of starting a company and running it.

⑤ Acquire theoretically learn how to exit the market of a company.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

講義は、基本的にパワーポイントを用いたプレゼンテーション方式にて行います。

企業論Ⅱ 実践経営編

1. 中小企業政策と基本法にみる中小企業。中小企業政策は大いに利用すべき

2. 企業経営に戦略は必要なのか。戦略と戦術、成り行き経営ではダメなのか

3. 企業経営における 2 大戦略理論。ポジショニングとリソース・ベースト・ビュー

4. ケーススタディ：特長のある実在企業の強さに学ぶ。何が持続的競争優位を齎すのか

5. ケーススタディ：日本一 BMW を売った男に学ぶ営業手法。伝説の営業マンは意外にも朴訥な人であった
 6. 会社の起こし方と仕組み-1 資本金 1 円で起業は可能なのか？商法上は OK だが...
 7. 会社の起こし方と仕組み-2 会社設立にともなう付帯事項。雇用責任は重大だ
 8. 価格、コスト構成と管理。損益分岐点とコストの関係
 9. 損益分岐点と企業経営。あと、どのくらい売れば利益に転換するのか
 10. 経営戦略が損益分岐点に与える影響について実証する
 11. 資金回収の勘所 ～モノを売ったままではダメ、回収して取引終了～
 12. トータルクオリティマネジメント・クールジャパンを創り上げた品質管理とは
 13. ビジネスプラン（事業計画）の作成方法。VCC を通過した事例を通じて
 14. 市場退出の種類と方法。成功ばかりではない経済社会は、失敗による退出方法を知る
 15. 企業論総括および理解度確認セッション
- ★企業経営や経済環境の変化によって、内容が変更される可能性もあります。

Venture Business Theory II. Practical Edition.

- ・Lectures will be given using a PowerPoint presentation and progress is based on the contents of the textbook.
 - 1. SMEs as seen in SME policies and the SMEs basic law. SME policy should be used extensively.
 - 2. Is a strategy necessary for corporate management? Strategy and tactics. Why does it not no good to have no strategy?
 - 3. Two major strategic theories in corporate management. Positioning and Resource based view.
 - 4. Cases study: Learn from the strength of a distinctive real company. What provides a sustainable competitive advantage?
 - 5. Case study: A sales method learned from the man who sold the best BMW in Japan. The legendary salesman was surprisingly naive.
 - 6. How to start a company and how it works-1. Is it possible to start a business with a capital of One yen? It's OK in terms of commercial law, but...
 - 7. How to start a company and how it works-2. Incidental matters associated with the establishment of a company. Incidental matters associated with the establishment of the company. Employment liability is significant!
 - 8. Price, cost composition and management. Relationship between break-even point and cost.
 - 9. Break-even point and corporate management. Also, how much should I sell to make a profit?
 - 10. Demonstrate the impact of business strategy on the break-even point.
 - 11. Tips for collecting funds. Don't sell things as they are, collect the payment them and end the transaction.
 - 12. Total Quality Management. What is mechanism of the quality control that created Cool Japan?
 - 13. How to create a business plan (business plan). Case study of received from the capital from the VCC.
 - 14. Types and methods of exiting the market. In economic societies are not only successful case but also, we necessary how to know the failure case.
 - 15. Corporate theory summary and comprehension confirmation session.
- ★ The contents may change due to changes in corporate management and economic environment.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行い、理解度確認セッションや受講者が提出するレポート提出も日本語とします。

Lectures will be conducted in Japanese, and comprehension check sessions and reports submitted by participants will also be in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

基本的に理解度確認セッション 20%、レポート 80%（各セメスター 5 回程度）の配分で評価を行います。学生の登録人数、授業規模や内容によって変更になることがあります。

Generally, the assessment will be 20% based on the understanding check session and 80% on reports (approximately 5 times per semester). This may change depending on t

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

担当教員の独自のテキスト「ベンチャービジネス論 I・II VOL4」を使用します。入手先は電子データ (PDF) にて各自ダウンロードしてください。ダウンロード先は適宜提示します。データが 24MB 程度あるので、十分なダウンロード環境にて行って下

さい。また、ページ数が A4 で 170 枚程度です。プリントアウトの際も同様に、十分な環境で行って下さい。

Textbooks and reference books
In this lecture, we will use the original text

8. 関連URL/URL :

日本ベンチャー学会

<https://www.venture-ac.ne.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

該当授業回のテキストの熟読と、事例企業がある場合はバックグラウンドや最新の業績を調査して下さい。また、大企業のみならず、自分の周囲にある企業は、どのような営業形態をとっているのか気に掛けて、企業の調査が可能な場合は、企業概要を調べてビジネスモデル（儲ける仕組み）を考えてください。

テキストの最後に、参考・引用文献の記載があります。学習を深めたい人は、これらを参考ください。

- ・ Carefully read the textbook of the relevant lesson, and

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経営学 企業論／企業論Ⅱ/Topics of Economics: Corporate Theory/ Corporate Theory II

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YOSHIHARU SHIRATA

曜日・講時/Day/Period： 火曜1限

対象学年/Eligible Participants： 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering： EAL-MAN316J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：
2. 学修の到達目標/Goal of study：
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course：
6. 成績評価方法/Evaluation method：
7. 教科書および参考書/Textbook and references：
8. 関連URL/URL：
9. 授業時間外学修/Preparation and Review：
10. その他/In addition：

トピックス経営学 市場戦略／市場戦略Ⅰ/Topics of Business and Management: Market Strategy/ Market Strategy

担当教員/Instructor: 福嶋 路 /MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period: 月曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN315J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

今日、企業活動において、マーケティング活動の理解は不可欠なものとなっている。本講義ではマーケティングを構成する諸活動とその実践について学ぶ。具体的には、事例を提示しながら、マーケティング活動に関する概念やその背後にある考え方を紹介していく。市場戦略Ⅰではマーケティングで昨今重要性が高いと思われる分野に絞った内容となっているため、本講義を理解するためには市場戦略Ⅱを合わせて受講することを強く推奨する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

マーケティング活動の実際とそれを説明する概念を理解する。
それらを用いて現実を見て分析することができるようになる。
自らマーケティング思考を実践に生かせるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

この講義は対面で行われます。

EB323 市場戦略Ⅰ

GoogleClassroom のクラスコード: a3kqzcm

授業内容(予定)は以下の通り。

ただし進捗状況に応じて、内容に変更がある。

- 1 オリエンテーション
- 2 マーケティング概論(1)
- 3 マーケティング概論(2)
- 4 経営戦略とマーケティング
- 5 リレーションシップ・マーケティング(1)
- 6 リレーションシップ・マーケティング(2)
- 7 ブランド構築のマネジメント(1)
- 8 ブランド構築のマネジメント(2)
- 9 サービスマーケティング(1)
- 10 サービスマーケティング(2)
- 11 デジタル・マーケティング(1)
- 12 デジタル・マーケティング(2)
- 13 ソーシャル・マーケティング(1)
- 14 ソーシャル・マーケティング(2)
- 15 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- (1) 出席レポート(複数回)
外部講師の登壇日には必ず出席レポートがでる。
- (2) 理解度確認セッション 1 回

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

和田充夫、恩蔵直人、三浦俊彦	2016	978-4-641-70432-9	教科書
1 からのデジタル・マーケティング	西川英彦、澁谷覚 碩学舎	2019	4502289914 参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

- ・講義の資料は GoogleClassroom にアップロードするので、各自入手すること。
- ・他の資料についても GoogleClassroom で配布する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経営学 市場戦略／市場戦略Ⅰ/Topics of Business and Management: Market Strategy/ Market S

担当教員/Instructor: 福嶋 路 /MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period: 月曜2限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN315J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス経営学 市場戦略／市場戦略Ⅱ/Topics of Business and Management: Market Strategy/ Market S

担当教員/Instructor: 福島 路 /MICHİ FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period: 水曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN317J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

今日、企業活動において、マーケティング活動の理解は不可欠なものとなっている。本授業ではマーケティングを構成する諸活動とその実践について学ぶ。本講義では事例を提示しながら、マーケティング活動に関する基礎的な概念やフレームワーク、またその背後にある考え方を紹介していく。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

マーケティングの基礎概念について理解する。
それらを用いて現実を見て分析することができるようになる。
自らマーケティング思考を実践に生かせるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義は対面で提供される。

EB324 市場戦略Ⅱ

GoogleClassroom のクラスコード: hlvffwf

授業内容（予定）は以下の通り。

ただし進捗状況に応じて、内容に変更はあることは留意してほしい。

- 1 オリエンテーション
- 2 マーケティングとは
- 3 顧客志向と顧客価値
- 4 市場の選択・環境分析
- 5 市場細分化・セグメンテーションとターゲティング（1）
- 6 市場細分化・セグメンテーションとターゲティング（2）
- 7 外部講師
- 8 製品のマネジメント
- 9 価格のマネジメント
- 10 プロモーション
- 11 チャネルマネジメント
- 12 顧客の分析（1）
- 13 顧客の分析（2）
- 14 まとめ
- 15 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- (1) 中間レポート
外部講師の講演を聞いた後、レポート課題が出る。
- (2) 理解度確認セッション1回

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

マーケティング戦略（第5版）	和田充夫、恩蔵直人、三浦俊彦	2016	978-4-641-70432-9	教科書
1からのデジタル・マーケティンググラフィック	西川英彦、澁谷覚	2019	4502289914	参考書
	上田隆穂、澁谷	2020	0978-4-641-70432-9	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

- ・講義の資料は GoogleClassroom にアップロードするので、各自入手すること。
- ・他の資料についても GoogleClassroom で配布する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス経営学 市場戦略／市場戦略Ⅱ/Topics of Business and Management: Market Strategy/ Market S

担当教員/Instructor : 福嶋 路 /MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period : 水曜1限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN317J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :
2. 学修の到達目標/Goal of study :
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course :
6. 成績評価方法/Evaluation method :
7. 教科書および参考書/Textbook and references :
8. 関連URL/URL :
9. 授業時間外学修/Preparation and Review :
10. その他/In addition :

トピックス会計学 管理会計／原価計算/Topics of Accounting: Management Accounting/ Cost Accounting

担当教員/Instructor: 荻原 啓佑 /KEISUKE OGIHARA

曜日・講時/Day/Period: 金曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC310J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本授業の目的は、製造業で行なわれている財務諸表作成や原価管理のための原価計算に関する基礎知識を身に着けることです。

The objective of this class is to acquire basic knowledge of cost accounting used in the manufacturing industry for preparing financial statements and cost management.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

(1)授業で取り上げた原価計算手法の特徴を説明できるようになること。

(2)関連する計算問題を解けるようになること。

(1) To be able to explain the roles and characteristics of cost accounting practices covered in class.

(2) To be able to solve the calculation problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は教科書と講義スライドに沿って行う。

複数回の小テストと理解度確認セッションを行う。

必要に応じて計算演習や国内や海外で行われた管理会計研究の紹介も行う。

学生に発言を求める場合もある。

授業で取り上げる内容は以下のとおりである。

- ・原価計算の意義/Significance of management accounting
- ・原価計算の基礎概念/Basic concepts of management accounting
- ・原価計算の流れ/Flow of cost accounting
- ・材料費の計算/Calculation of material costs
- ・労務費の計算/Calculation of labor costs
- ・製造間接費の配賦と単純個別原価計算/Allocation of manufacturing overhead and simple job order costing
- ・部門別原価計算/Departmental cost accounting
- ・単純総合原価計算/Process costing
- ・工程別総合原価計算/Continuous process costing
- ・その他の総合原価計算/Other types of process costing
- ・標準原価計算/Standard costing
- ・直接原価計算/Direct costing

The textbook and lecture slides will be used in class.

There will be quizzes and one examination.

Calculation exercises and introduction of cost accounting research conducted in Japan and abroad will be given as necessary.

Students are expected to express their opinions.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

講義は日本語で行う。理解度確認セッションの問題及び解答は日本語とする。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

小テスト (30%), 理解度確認セッション (70%) で評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

原価計算 (改訂版)	清水孝	税務経理協会	2017	978-4419064556	教科書
原価計算論 15 講	西居 豪, 町田遼太, 上田 巧, 新井康平	新世社	2024	0	参考書
				978-4419064556	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習:

テキストの指定された箇所を読み、疑問点を明確にする。計算例題は事前に解いてくること。

復習:

各回の講義で扱った内容を再確認し、章末問題を解いておく。小テストや理解度確認セッションに備えて、計算問題や理論問題をしっかりと確認すること。

10. その他/In addition :

会計学の基本的な知識を持っていることが望ましい。

トピックス会計学（管理会計／管理会計）はこの授業の内容を前提としたものとなっています。前提知識に不安のある学生は先にこの授業を受講してください。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス会计学 管理会計／原価計算/Topics of Accounting: Management Accounting/ Cost Accounting

担当教員/Instructor: 荻原 啓佑 /KEISUKE OGIHARA

曜日・講時/Day/Period: 金曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC310J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス会计学 管理会計／管理会計/Topics of Accounting: Management Accounting/ Management Accounting

担当教員/Instructor: 荻原 啓佑 /KEISUKE OGIHARA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC312J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本授業の目的は、管理会計の主要なトピックに関する知識を身に着けることです。管理会計に関する知識は、企業の経営管理者にとって必要不可欠なものとなっています。講義では、入門書を用いて、企業における意思決定や業績評価の際に有用な財務・非財務情報の作成方法やその活用方法を学びます。

The objective of this course is to provide students with knowledge of the main topics in management accounting. Knowledge of management accounting is essential for business managers. Using introductory texts, students will learn how to make and use financial and non-financial information that is useful for decision making and performance evaluation in companies.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- (1) 授業で取り上げた管理会計実践の役割や特徴を説明できるようになること。
- (2) 関連する計算問題を解けるようになること。

- (1) To be able to explain the roles and characteristics of management accounting practices covered in class.
- (2) To be able to solve the calculation problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は教科書と講義スライドに沿って行う。
複数回の小テストと理解度確認セッションがある。
必要に応じて計算演習や国内や海外で行われた管理会計研究の紹介も行う。
学生に発言を求める機会を設ける。

授業で取り上げる内容は以下のとおりである。

- ・管理会計の意義/Significance of management accounting
- ・管理会計の基礎概念/Basic concepts of management accounting
- ・意思決定アプローチ/Decision making approach
- ・業績管理アプローチ/Performance management approach
- ・標準原価計算/Standard costing
- ・長期経営計画/Long-term management planning
- ・設備投資意思決定/Capital investment decision
- ・利益計画/Profit planning
- ・CVP 分析/Cost-Volume-Profit analysis
- ・予算管理/Budgetary control
- ・事業部の業績評価/Divisional performance evaluation
- ・活動基準原価計算/Activity based costing
- ・原価企画/Target costing

The textbook and lecture slides will be used in class.

There will be quizzes and an examination.

Calculation exercises and introduction of management accounting research conducted in Japan and abroad will be given as necessary.

Students are expected to express their opinions.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

講義は日本語で行う。小テスト・理解度確認セッションの問題及び解答は日本語とする。

6. 成績評価方法/Evaluation method:

小テスト (30%), 理解度確認セッション (70%) で評価する。
なお、受講者の人数によっては、成績評価方法を変更する可能性がある。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

エッセンシャル 管理会計(第4版)	谷武幸	中央経済社	2022	978-4502439018	教科書
スタンダード管 理会計(第2版)	小林 啓孝, 伊藤 嘉博, 清水 孝, 長谷川 恵一	東洋経済新報社	2017	0	参考書
				978-4502439018	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習:

テキストの指定された箇所を読み、疑問点を明確にする。計算例題は事前に解いてくること。

復習:

各回の講義で扱った内容を再確認する。小テストや理解度確認セッションに備えて、計算問題や用語をしっかりと確認すること。

10. その他/In addition :

この授業は原価計算論に関する知識を前提としたものとなっています。

前提知識に不安のある学生は先にトピックス会计学（管理会計／原価計算）を受講してください。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス会计学 管理会計／管理会計/Topics of Accounting: Management Accounting/ Management Acco

担当教員/Instructor: 荻原 啓佑 /KEISUKE OGIHARA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC312J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

2. 学修の到達目標/Goal of study:

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

6. 成績評価方法/Evaluation method:

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

10. その他/In addition:

トピックス会計学 財務会計／財務報告/Topics of Accounting: Financial Accounting/ Financial Report

担当教員/Instructor: 吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 火曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、財務諸表を用いて企業価値を評価するための知識と技術を身につけることです。

The objective of this course is to provide students with the knowledge and skills to evaluate firm value using financial statements.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本講義の到達目標は、自分で企業価値を一通り評価できるようになることです。

The goal of this course is to enable students to evaluate firm value on their own.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

Google Classroom Classcode:「whgrivy」

第01回	オリエンテーションと財務諸表データの取得方法
第02回	企業価値評価の概論
第03回	マルチプル法
第04回	お金の時間価値
第05回	配当割引モデルと残余利益モデル
第06回	割引キャッシュ・フローモデル (DCF)
第07回	加重平均資本コスト (WACC)
第08回	分散投資の効果と資本資産価格モデル (CAPM)
第09回	ベータの推定
第10回	DCFモデルの実践
第11回	ポートフォリオの資産配分
第12回	マルチファクターモデル
第13回	投資判断基準
第14回	財務会計研究の現在
第15回	理解度確認セッション

※以上は現時点での予定です。授業の進行などに合わせて変更の可能性があります。

※原則対面での実施としますが、過半に満たない回でオンデマンド授業を採用する可能性があります。

Session 01.	Orientation and Methods of Obtaining Financial Statement Data
Session 02.	Introduction to Valuation
Session 03.	Comparable Multiple Valuation Method
Session 04.	Time value of money
Session 05.	Dividend Discount Model and Residual Income Model
Session 06.	Discounted Cash Flow model (DCF)
Session 07.	Weighted Average Cost of Capital (WACC)
Session 08.	Effects of Diversification and Capital Asset Pricing Model (CAPM)
Session 09.	Estimating Beta
Session 10.	Practice of DCF model
Session 11.	Portfolio asset allocation
Session 12.	Multi-factor model
Session 13.	Criteria of Investment Decisions
Session 14.	Current academic research on financial accounting
Session 15.	Examination

The above is the current schedule. It is subject to change according to the progress of the class.

In principle, classes will be held face-to-face, but there is a possibility that on-demand classes will be adopted for less than half of the classes.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション (100点)

その他、講義中の発言や発表など、講義に貢献した学生に加点することがあります。

※資格取得など、講義への貢献と関係ないものは加点の対象にしません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

インターネットおよびMicrosoft Excel 可以使用するノートパソコン (Windows 推奨) を持参できることを履修の条件とします。

授業資料は Classroom を通じて配布します。教科書や参考書は必要に応じて授業資料の中で掲載します。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス会计学 財務会計／財務報告/Topics of Accounting: Financial Accounting/ Financial Report

担当教員/Instructor: 吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 火曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックス会计学 財務会計／財務諸表分析/Topics of Accounting: Financial Accounting/ Financial Statement

担当教員/Instructor: 木村 史彦 /FUMIHIKO KIMURA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC313J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

財務会計は、財務諸表を中心とした会計情報を企業外部の利害関係者に対して提供することを目的とし、現代の企業を支える重要な仕組みである。本講義では、財務会計の機能と構造を概説した上で、会計情報の分析手法について学習する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・会計情報が経済社会においていかなる役割を果たしているのかについて理解する
- ・企業が公表する財務諸表の基礎的な分析手法を理解する

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は、第1部（概ね～5月下旬）、第2部（概ね5月下旬～）の2部構成で進める

第1部は財務会計の重要論点、第2部は財務諸表の分析手法について取り扱う

第1部は、テキストから離れる論点もある。

第2部はテキスト（第2部）に概ね準拠する。

第1部 財務会計の重要論点－開示された財務諸表を読むために

- 1 財務諸表の役割と仕組み
- 2 財務諸表の入手方法
- 3 貸借対照表の見方
- 4 損益計算書の見方
- 5 キャッシュ・フロー計算書の見方

第2部 財務諸表の分析手法

- 6 財務諸表分析の視点と方法
- 7 収益性の分析
- 8 安全性の分析
- 9 不確実性によるリスクの分析
- 10 成長性の分析

This course consists of two parts.

Part 1 Important Issues in Financial Accounting

1. The role and structure of financial statements
2. How to obtain financial statements
3. How to read the balance sheet
4. How to read the income statement
5. How to read the cash flow statement

Part 2 Analysis method of financial statements

6. Perspectives and methods of financial statement analysis
- 7 Analysis of profitability
8. Analysis of safety
- 9 Analysis of risk
- 10 Analysis of Growth

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション（80%）、平常点（20%） * 平常点は講義において提示する課題を含みます

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

財務諸表分析（第9版）	桜井久勝	中央経済社	2024	4502489914	教科書
財務諸表分析（第4版）	乙政正太	同文館出版	2024	0	参考書
新・現代会計入門 第5版	伊藤邦雄	日本経済新聞出版社	2022	45321352574502489914	参考書

8. 関連URL/URL :

Classroom

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMzMzEwMTM1?cjc=4hdkrhv>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：テキストの指定箇所を読んで疑問点を明らかにする

復習：練習問題に取り組む

10. その他/In addition :

履修条件：会計学入門・会計原理の内容を理解していることを前提とする（単位取得の有無は問わない）

連絡先：fkimura@tohoku.ac.jp

資料等の配布について：Google Classroom を通じて実施します。

ゲストレクチャーを設定する可能性もあります。

対面講義を原則としますが、一部動画配信（オンデマンド）形式での講義となる可能性もあります。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス会计学 財務会計／財務諸表分析/Topics of Accounting: Financial Accounting/ Financial Statement

担当教員/Instructor: 木村 史彦 /FUMIHIKO KIMURA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC313J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

財務会計は、財務諸表を中心とした会計情報を企業外部の利害関係者に対して提供することを目的とし、現代の企業を支える重要な仕組みである。本講義では、財務会計の機能と構造を概説した上で、会計情報の分析手法について学習する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・会計情報が経済社会においていかなる役割を果たしているのかについて理解する
- ・企業が公表する財務諸表の基礎的な分析手法を理解する

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は、第1部（概ね～5月下旬）、第2部（概ね5月下旬～）の2部構成で進める

第1部は財務会計の重要論点、第2部は財務諸表の分析手法について取り扱う

第1部は、テキストから離れる論点もある。

第2部はテキスト（第2部）に概ね準拠する。

第1部 財務会計の重要論点－開示された財務諸表を読むために

- 1 財務諸表の役割と仕組み
- 2 財務諸表の入手方法
- 3 貸借対照表の見方
- 4 損益計算書の見方
- 5 キャッシュ・フロー計算書の見方

第2部 財務諸表の分析手法

- 6 財務諸表分析の視点と方法
- 7 収益性の分析
- 8 安全性の分析
- 9 不確実性によるリスクの分析
- 10 成長性の分析

This course consists of two parts.

Part 1 Important Issues in Financial Accounting

1. The role and structure of financial statements
2. How to obtain financial statements
3. How to read the balance sheet
4. How to read the income statement
5. How to read the cash flow statement

Part 2 Analysis method of financial statements

6. Perspectives and methods of financial statement analysis
- 7 Analysis of profitability
8. Analysis of safety
- 9 Analysis of risk
- 10 Analysis of Growth

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション（80%）、平常点（20%） * 平常点は講義において提示する課題を含みます

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

財務諸表分析（第9版）	桜井久勝	中央経済社	2024	4502489914	教科書
財務諸表分析（第4版）	乙政正太	同文館出版	2024	0	参考書
新・現代会計入門 第5版	伊藤邦雄	日本経済新聞出版社	2022	45321352574502489914	参考書

8. 関連URL/URL :

Classroom

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMzMzEwMTM1?cjc=4hdkrhv>
([EB334]のクラスルームを用います)

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：テキストの指定箇所を読んで疑問点を明らかにする

復習：練習問題に取り組む

10. その他/In addition :

履修条件：会計学入門・会計原理の内容を理解していることを前提とする（単位取得の有無は問わない）

連絡先：fkimura@tohoku.ac.jp

資料等の配布について：Google Classroomを通じて実施します。

ゲストレクチャーを設定する可能性もあります。

対面講義を原則としますが、一部動画配信（オンデマンド）形式での講義となる可能性もあります。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

トピックス経済史・経営史 展開 I /Topics of Economic and Business History: Expansion I

担当教員/Instructor: ZHANG TINGTING /ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period: 月曜 3 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM310J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

江戸時代から続く日本の雇用慣行の歴史的制度、および現在の労働制度・労務管理制度について、歴史的視点から検討し、講義を行う。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

日本の雇用の歴史的特性に関する専門的な知見を習得してもらうことを目的とする。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 第1回 オリエンテーション
 第2回 日本の労働市場と長期雇用の賃金決定のメカニズム
 第3回 江戸時代の奉公人制度と日本の雇用慣行 (1)
 第4回 江戸時代の奉公人制度と日本の雇用慣行 (2)
 第5回 賃労働の原始蓄積過程 (1)
 第6回 賃労働の原始蓄積過程 (2)
 第7回 賃労働の原始蓄積過程 (3)
 第8回 戦前の日本企業の労働制度と労務管理 (1)
 第9回 戦前の日本企業の労働制度と労務管理 (2)
 第10回 工場法の設定と労務管理 (1)
 第11回 工場法の設定と労務管理 (2)
 第12回 日本企業の雇用管理の制度と国際比較 (1)
 第13回 日本企業の雇用管理の制度と国際比較 (2)
 第14回 日本企業の賃金・労働時間・福利厚生制度の制度と国際比較
 第15回 日本企業の職務・人事考課・キャリア・教育訓練の制度と国際比較

(シラバスに記載されている授業内容や進捗の予定は、あくまで計画であり、実際の授業の進行状況に応じて変更される可能性があります。)

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業時に課す小レポートおよび学期末に課す最終レポートによって成績を評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

日本的労働制度の歴史と戦略	丹野 勲	泉文堂	2012	9.7847930038e+12	参考書
賃金と労働と生活水準	斎藤 修	岩波書店	1998	4000097229	参考書
労働経済学をつかむ	大森 義明, 永瀬 伸子	有斐閣	2021	97846411773079.7847930038e+12	参考書
日本賃労働史論	隅谷 三喜男	東京大学出版社	1974	19749784130500425	参考書

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMOMDU0NjA4?cjc=xm13avw>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

講義内容は多岐にわたり情報量が多いため、復習が必要不可欠である。

10. その他/In addition :

クラスコード : xml3avw

教員連絡先 :

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email : zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業後約 1 時間 (研究室にて可)

トピックス経済史・経営史 展開Ⅱ/Topics of Economic and Business History: Expansion II

担当教員/Instructor: 菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period: 木曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

国際金融史とグローバル経営史

目的: 国際金融史とグローバル経営史について、基本的な諸事実と、基本的な諸解釈について知る。特に、経済・経営における国際的な側面について、歴史的な観点からの基礎知識を獲得する。

概要: 国際金融史とグローバル経営史について、基本的な諸事実と、基本的な諸解釈の提示を行う。

International Financial History and Global Business History

Aims: To learn about the basic facts and basic interpretations of international financial history and global business history. In particular, to acquire basic knowledge from a historical perspective of the international aspects of economics and business.

Summary: This course will present basic facts and basic interpretations of international financial history and global business history.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

到達目標: 国際金融史とグローバル経営史の、基本的な諸事実と、基本的な諸解釈を知る。経済・経営における国際的な側面について、歴史的な観点からの基礎知識を獲得することで、現代の世界経済の成り立ちの理解をより豊かにする。

Goal: To learn the basic facts and basic interpretations of international financial history and global business history. To enrich understanding of the structure of the modern global economy by acquiring basic knowledge from a historical perspective of the international aspects of economics and business.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

この授業は、グーグル・クラスルームを使用します。

クラスコードは、fgvualk です。

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

以下の順番に沿って、解説を行います。講義の各回と各参考書の対応関係については、第1回の講義および、その後の講義でも適宜、明示します。

講義資料はグーグルクラスルームからダウンロードしていただけるようにします。詳細は、第1回の講義で説明します。

参考書は追加される可能性があります。追加の際は、講義中に速やかにお伝えします。

講義スケジュールは、カレンダーや、講義の進捗度によって変更される場合があります。そのような場合は、速やかにお伝えします。

進捗予定

1 全体のイントロダクション

第1部 国際金融史

2 金本位制

3 国際金本位制、1870-1913 年

4 両大戦間期、1919-1939 年

5 ブレトンウッズ体制期、1944-1971 年

6 変動相場制①、1973-1995

7 変動相場制②、1995-2025 年

第2部 グローバル経営史

8 多国籍企業の諸概念

9 多国籍企業とグローバリゼーション

10 多国籍企業の参入形態 (1)

11 他国先企業の参入形態 (2)

12 多国籍企業の組織 (1)

13 多国籍企業の組織 (2)

14 多国籍企業とサービス業

15 進捗調整

シラバス作成（2025 年 2 月）の後の私の知識の増加にともなって、授業内容と進度に多少の変更が生じる可能性があります。そういった際は、クラスルームと教務掲示板を通してすみやかに受講者にお知らせします。

This class uses Google Classroom.
The class code is fgvualk .

Registration in Google Classroom is not linked to 'Course Registration' in the Academic Affairs Information System, so you must do both.

The lecturer explains the contents under the schedule as follows. The correspondence between each lecture and reference books will be specified in the first and subsequent lectures.

Course materials will be made available from the Google Classroom. Details will be given in the first class. Reference books may be added. Any additions will be communicated promptly in the class and Google Classroom. The class schedule is subject to change according to the calendar and the progress of the class. In such cases, the lecturer will inform you as soon as possible.

Schedule

1. Introduction to the whole course

Part 1: International Financial History

2. Gold Standard
3. International Gold Standard, 1870-1913
4. Interwar Period, 1919-1939
5. Bretton Woods System, 1944-1971
- 6 Floating Exchange Rate System (1), 1973-1995
- 7 Floating Exchange Rate System (2), 1995-2025

Part 2: Global Business History

8. Concepts on Multinational Corporations
9. Multinational Corporations and Globalization
10. Entry Modes of Multinational Corporations (1)
11. Entry Modes of Multinational Corporations (2)
12. Organization of Multinational Corporations (1)
13. Organization of Multinational Corporations (2)
14. Multinational Corporations and the Service Sectors

15. Progress Adjustment

There is a possibility that the content and progress of the class may change slightly due to the increase in my knowledge after the syllabus is created (February 2025). In such cases, I will promptly notify the students through the classroom and the teaching affairs bulletin board.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

3 回のレポートの評価の合計によって成績を評価します。詳細は、講義の進行に合わせて指示します。

レポート 1 : 25 %

レポート 2 : 25 %

レポート 3 : 50 %

ただし、レポート 1、レポート 2 両方の提出をレポート 3 提出の条件とします。

レポートに関して、『日本経済新聞』の閲覧を前提にする場合があります。最低限、レポート作成時だけでもよいので、『日本経済新聞』を閲覧できること。大学の付属図書館で紙版を閲覧することもできます。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

身近に感じる国	飯島寛之ほか	有斐閣	2017 年	978-4641150447	参考書
国際金融					
クルーグマン国	P. R. クルーグマ	丸善出版	0	0	参考書
国際経済学 理論と	ンほか（山形浩				
政策〔原書第 10	生・守岡桜訳）				
版〕下：金融編					
現代アメリカ政	河崎信樹ほか編	ミネルヴァ書房	0	0978-4641150447	参考書
治経済入門					

国際経営講義	ジェフリー・ジョーンズ（安室憲一・梅野巨利訳）	有斐閣	0	00	参考書
新装版 グローバル経営入門	浅川和宏	日本経済新聞出版	0	0	参考書
地球市場時代の企業戦略	C. A. パートレット、S. ゴシヤール（吉原英樹監訳）	日本経済新聞社	0	0	参考書
多国籍企業論：概念・理論・影響	グラツィア・イエットギリエス（井上博訳）	同文館出版	0	0	参考書

8. 関連URL/URL：

この授業は、[グーグル・クラスルーム](#)を使用します。
クラスコードは、[fgvualk](#) です。

[グーグル・クラスルーム](#)への登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

予習：各回の参考書の該当部分を事前に読む。
復習：講義資料と自分のノートの見直し。レポートの作成。

10. その他/In addition：

履修の条件：レポートに関して、『日本経済新聞』の閲覧を前提にする場合があります。最低限、レポート作成時だけでもよいので、『日本経済新聞』を閲覧できること。大学の附属図書館で紙版を閲覧することもできます。

その他：ごく一部の学生に対してとなるとはありますが、念のため、不合格の成績の変更要求に応じることはないことを明記しておきます。単位取得のためには、必要な回数のレポートをそれぞれの期限までに必ず提出して下さい。また、成績公表前の個別の成績の問い合わせにお答えすることはありません。

トピックス統計学 ファイナンス/証券投資/Topics of Statistics: Finance/ Investment and Security Anal

担当教員/Instructor: 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 火曜3限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

コーポレートファイナンスの基礎としての証券投資の基礎を学ぶ。コーポレートファイナンスは企業価値の創造を行うための財務的な意思決定の方法の考え方を学ぶ領域である。その分野を正確に理解するためには資本市場の役割なども的確に理解している必要がある。そこで、株式会社の基本構造、企業の資金調達、資金運用、収益の分配方法などについて考えていく。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

証券投資の基礎を学ぶ。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

- 第1回: イントロダクション
- 第2回: 金利と事業評価
- 第3回: ファイナンスの数学の基礎
- 第4回: リスクと期待効用
- 第5回: ポートフォリオ理論と CAPM(1)
- 第6回: ポートフォリオ理論と CAPM(2)
- 第7回: ポートフォリオ理論と CAPM(3)
- 第8回: 債券評価(1)
- 第9回: 債券評価(2)
- 第10回: デリバティブの基礎
- 第11回: 企業価値評価
- 第12回: 資本構成(1)
- 第13回: 資本構成(2)
- 第14回: 配当政策
- 第15回: 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションによる

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

なるほどファイ	岩壺健太郎	有斐閣	2023	978-4641151185	教科書
ナンス					

978-4641151185

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

教科書や講義ノートを用いて予習復習を行うこと

10. その他/In addition:

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス統計学 ファイナンス／証券投資/Topics of Statistics: Finance/ Investment and Security
Analy

担当教員/Instructor: 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 火曜3限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN311J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

金利の計算やCAPMおよびオプションの価格評価などの数理的側面を解説する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ファイナンスの基礎問題の数学的側面の理解。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回: 金利と微積分・微分方程式

第2回: 確率論の基礎(1)

第3回: 確率論の基礎(2)

第4回: ポートフォリオ選択理論とCAPMの導出(1)

第5回: ポートフォリオ選択理論とCAPMの導出(2)

第6回: デリバティブ

第7回: 無裁定

第8回: オプションの性質

第9回: ランダムウォーク

第10回: 離散モデル

第11回: ブラックショールズの偏微分方程式・偏微分方程式

第12回: 確率微分方程式と伊藤公式(1)

第13回: 確率微分方程式と伊藤公式(2)

第14回: ブラックショールズの公式

第15回: 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションによる

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

道具としての金 融工学	藤田岳彦	日本実業出版社	2005	978-4534039217	教科書
確率微分方程式 入門 数理ファイナンスへの応用	石村直之	共立出版	2014	0	参考書
				978-4534039217	

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

教科書、参考書、講義ノートを用いた予習・復習

10. その他/In addition:

トピックス統計学 ファイナンス/金融工学/Topics of Statistics: Finance/

担当教員/Instructor: 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 木曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN319J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

金利の計算や CAPM およびオプションの価格評価などの数理的側面を解説する。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ファイナンスの基礎問題の数学的側面の理解。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

第 1 回: 金利と微積分・微分方程式

第 2 回: 確率論の基礎(1)

第 3 回: 確率論の基礎(2)

第 4 回: ポートフォリオ選択理論と CAPM の導出(1)

第 5 回: ポートフォリオ選択理論と CAPM の導出(2)

第 6 回: デリバティブ

第 7 回: 無裁定

第 8 回: オプションの性質

第 9 回: ランダムウォーク

第 10 回: 離散モデル

第 11 回: ブラックショールズの偏微分方程式・偏微分方程式

第 12 回: 確率微分方程式と伊藤公式(1)

第 13 回: 確率微分方程式と伊藤公式(2)

第 14 回: ブラックショールズの公式

第 15 回: 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションによる

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

道具としての金	藤田岳彦	日本実業出版社	2005	978-4534039217	教科書
融工学					
確率微分方程式	石村直之	共立出版	2014	0	参考書
入門 数理ファイナンスへの応用					
				978-4534039217	

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

教科書、参考書、講義ノートを用いた予習・復習

10. その他/In addition:

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

トピックス統計学 ファイナンス／金融工学/Topics of Statistics: Finance/

担当教員/Instructor: 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 木曜2限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN319J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:
2. 学修の到達目標/Goal of study:
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:
4. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
5. 使用言語/Language Used in Course:
6. 成績評価方法/Evaluation method:
7. 教科書および参考書/Textbook and references:
8. 関連URL/URL:
9. 授業時間外学修/Preparation and Review:
10. その他/In addition:

トピックスリテラシー 外国書講読 (英) /Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /WANG YANGYUZI

曜日・講時/Day/Period : 水曜1限

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM223E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course introduces students to evolutionary economics through reading and discussing the book Evolutionary Economics: A Navigational Guide. Students will explore fundamental concepts, major theories, and historical development of evolutionary economics. The course emphasizes building reading comprehension skills in academic English while understanding basic economic concepts from an evolutionary perspective.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

By the end of this course, students will be able to:

- Understand key concepts and terminology in Evolutionary Economics
- Read and comprehend advanced economic texts in English
- Identify main arguments and supporting evidence in modern Evolutionary Economics
- Develop critical thinking skills and discuss economic ideas using appropriate English vocabulary

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

This course includes 15 sessions:

Part I Introduction to Evolutionary Economics

Session 1 Course overview and reading the book Evolutionary Economics: A Navigational Guide

Session 2 Historical Foundations I: Schumpeter's Contributions

Session 3 Historical Foundations II: Understanding Veblen's Perspective

Session 4 Historical Foundations III: Two pioneers, Nelson and Winter

Session 5 Historical Foundations IV: Austrian Economics' Contributions

Part II Key Concepts and Terminologies in Evolutionary Economics

Session 6 Darwin's idea and their mixed reception in Evolutionary Economics

Session 7 Evolutionary economics and psychology

Session 8 Evolutionary economics, routines, and dynamic capabilities

Session 9 Bounded rationality

Session 10 The path dependence of knowledge and innovation

Session 11 Decision-making processes

Part III Methodology in Evolutionary Economics

Session 12 Computational evolutionary economics: Minimal principle and minimum intelligence

Session 13 Evolutionary modeling and the rule-based approach

Session 14 Evolutionary consumer theory and price theory

Part IV Current Applications of Evolutionary Economics

Session 15 Final Q&A

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

The total score is 100 points:

- Class participation (30%).
- Final report (70%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Evolutionary economics: A navigational guide 1	Dopfer, K., Nelson, R. R., Potts, J., & Pyka, A.	Routledge	2024

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are encouraged to read the book Evolutionary economics: A navigational guide 1.

10. その他/In addition :

トピックスリテラシー 外国書講読 (英) /Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor: 学務テスト 教員1 /WANG YANGYUZI

曜日・講時/Day/Period: 水曜1限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM223E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course focuses on reading and understanding Nelson and Winter's seminal work An Evolutionary Theory of Economic Change. Students will explore fundamental concepts of evolutionary economics through guided readings of chapters. The course emphasizes building academic English reading skills while understanding core ideas of evolutionary economic theory.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

By the end of this course, students will be able to:

- Understand the basic framework of evolutionary economic theory
- Read and comprehend advanced economic texts in English
- Identify main arguments and supporting evidence in modern Evolutionary Economics
- Develop critical thinking skills and discuss economic ideas using appropriate English vocabulary

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

This course includes 15 sessions:

Part I Introduction to Evolutionary Economics

Session 1 Course overview and reading An evolutionary theory of economic change

Session 2 Understanding Economic Evolution

Session 3 Orthodox Economics Review

Part II Organizational Foundations

Session 4 Understanding skills in organizations

Session 5 Organizational behavior

Session 6 Economic equilibrium

Part III Market Dynamics

Session 7 Market changes and firm responses

Session 8 Growth theory I

Session 9 Growth theory II

Part IV Economic Selection

Session 10 Selection Processes

Session 11 Search and Selection

Session 12 Competition and Progress

Part V Advanced Topics

Session 13 Industry structure

Session 14 Schumpeterian economics

Session 15 Final Q&A

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

The total score is 100 points:

- Class participation (30%).
- Final report (70%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

An evolutionary Nelson, R. R., Harvard 1985
theory of & Winter, S. University
economic change G. press

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are encouraged to read the book An evolutionary theory of economic change.

10. その他/In addition :

トピックスリテラシー 外国書講読 (中) /Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(Chinese)

担当教員/Instructor: 日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 木曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM225, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

目的: 日本人学生が中国語経済文献を独力で読みこなす読解力を養成すること。

概要: 中国語で書かれた経済書を各人が日本語に訳し、内容解釈をつける練習を繰り返す。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本授業を履修した学生は学部の演習論文執筆時に中国語論文を参照できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1) 授業内容: 今年度は、中国の所得分配に関する論文を中心に読んでいく予定。具体的な論文や書籍のリストは第1回授業時に提供する。

2) 授業方法: 履修者はあらかじめ指定された箇所の日本語訳と内容解釈を報告し、担当教員は訳と解釈について補足的説明を行う。

3) 進捗予定: 初回オリエンテーションで具体的にどの論文を読むか、どれぐらいのペースで進めるかについて、履修者と相談して決める。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

該当なし。

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

第1回オリエンテーションにおいて説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

『中国收入分配 李実、頼徳勝、羅 社会科学文献出 2013
研究報告』 楚亮ほか 版社

ISBN978-7-5097-
4437-6

テキスト

ISBN978-7-5097-
4437-6

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

特に決まったやり方はない。

10. その他/In addition:

トピックスリテラシー 外国書講読 (仏) /Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(French)

担当教員/Instructor : 小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period : 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM226, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Classroom code irmyjvj

ヨーロッパ経済統合が進むなかで、ヨーロッパ経済システムは大きく変貌しつつあります。この講義では、以下の到達目標を踏まえ、ヨーロッパ経済システムの現在にかかわるフランス語文献を購読します。具体的には、フランスのクオリティ・ペーパーであり、中道左派に位置する『ル・モンド』電子版 (<http://www.lemonde.fr/>) の経済関連記事のハードコピーを利用します。

Economic system of Europe is in transformation, influenced by the economic integration at the European scale. In this class we read french literature concerning the present European economic system: concretely, we read articles concerning economy of Le Monde, french quality paper and regarded as the representative voice of Center-Left (<http://www.lemonde.fr/>) .

2. 学修の到達目標/Goal of study :

この講義の基本的な到達目標は以下の3点です。

- ・経済および時事にかかわり、フランス語で書かれた文章を理解できるようになること。
- ・現在のヨーロッパ経済システムについて、その特徴を把握すること。
- ・外国語で書かれた文章について、大意をなるべくすみやかに理解できるようになること。

1. To understand the literature in French concerning economy.
2. To grasp the characteristics of today's European economic system.
3. To get accustomed with reading french literature rapidly.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- ・検討する文章は、前回の授業の最後に相談して選びます。履修する皆さんは当該記事を読み、大意を理解したうえで、内容に関連する情報を含め、各自が個々に A4 版で 1 枚程度のサマリーを作成し、授業に持参します。授業で利用する記事は 500 から 1000 ワード程度のものを予定しています。履修を予定している皆さんは、事前に『ル・モンド』ウェブサイト (<http://www.lemonde.fr/>) でチェックしておくことをおすすめします。
- ・授業では、履修者の皆さんが作成したサマリーを配布し、その内容に関する説明、質疑応答、および当方による補足説明をおこないます。

01. ガイダンス
02. 読解と検討(1)
03. 読解と検討(2)
04. 読解と検討(3)
05. 読解と検討(4)
06. 読解と検討(5)
07. 読解と検討(6)
08. 読解と検討(7)
09. 読解と検討(8)
10. 読解と検討(9)
11. 読解と検討(10)
12. 読解と検討(11)
13. 読解と検討(12)
14. 読解と検討(13)
15. まとめ

The article to be discussed will be selected by consultation at the end of the previous class. After reading the article in question and understanding its main point, each student is expected to prepare a one-page A4 summary of the article, including information relevant to the content, and bring it to class. The articles to be used in class are expected to be between 500 and 1000 words. Prospective students are advised to check the Le Monde website (<http://www.lemonde.fr/>) in advance.

In class, we will distribute the summaries prepared by the students, explain their contents, answer questions and provide supplementary explanations.

01. Guidance
02. Reading and review (1)
03. Reading and review (2)
04. reading comprehension and review (3)
05. Reading comprehension and examination (4)
06. reading comprehension and examination (5)
07. reading comprehension and examination (6)

08. reading comprehension and examination (7)
09. reading comprehension and examination (8)
10. reading comprehension and examination (9)
11. reading comprehension and examination (10)
12. reading comprehension and examination (11)
13. reading comprehension and examination (12)
14. reading comprehension and examination (13)
15. summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業に対する参加を評価します。

Assesses participation in the class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

指定された記事を読み、大意を理解し、サマリーを作り、説明できるようにしておくことが予習になります。

Preparation involves reading the assigned article, understanding the main idea, making a summary and being able to explain it.

10. その他/In addition :

・フランス語の文章を読解する能力を持っていることが授業参加の前提条件となります。

・臨時休講その他の連絡は「講義掲示板」

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

でおこないます。学務情報システムや経済学務教務掲示板などは基本的に使用しませんので、こちらを適宜チェックしてください。

The course is designed for students who are capable of reading French.

For information on temporary class cancellations and other matters, see the 'Lecture Bulletin Board' at

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

The Academic Affairs Information System and the Economics Teaching Bulletin Board are generally not used, so please check here as appropriate.

トピックスリテラシー 外国書講読 (仏) /Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(French)

担当教員/Instructor: 小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM226, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Classroom code 4w7f3oi

ヨーロッパ経済統合が進むなかで、ヨーロッパ経済システムは大きく変貌しつつあります。この講義では、以下の到達目標を踏まえ、ヨーロッパ経済システムの現在にかかわるフランス語文献を購読します。具体的には、フランスのクオリティ・ペーパーであり、中道右派に位置する『ル・フィガロ』電子版 (<http://www.lefigaro.fr/>) の経済関連記事のハードコピーを利用します。

Economic system of Europe is in transformation, influenced by the economic integration at the European scale. In this class we read french literature concerning the present European economic system: concretely, we read articles concerning economy of Le Figaro, french quality paper and regarded as the representative voice of Center-right (<http://www.lefigaro.fr/>) .

2. 学修の到達目標/Goal of study:

この講義の基本的な到達目標は以下の 3 点です。

- ・経済および時事にかかわり、フランス語で書かれた文章を理解できるようになること。
- ・現在のヨーロッパ経済システムについて、その特徴を把握すること。
- ・外国語で書かれた文章について、大意をなるべくすみやかに理解できるようになること。

1. To understand the literature in French concerning economy.
- 2.To grasp the characteristics of today's European economic system.
- 3.To get accustomed with reading french literature rapidly.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

- ・検討する文章は、前回の授業の最後に相談して選びます。履修する皆さんは当該記事を読み、大意を理解したうえで、内容に関連する情報を含め、各自が個々に A4 版で 1 枚程度のサマリーを作成し、授業に持参します。授業で利用する記事は 500 から 1000 ワード程度のものを予定しています。履修を予定している皆さんは、事前に『ル・フィガロ』ウェブサイト (<http://www.lefigaro.fr/>) でチェックしておくことをおすすめします。
- ・授業では、履修者の皆さんが作成したサマリーを配布し、その内容に関する説明、質疑応答、および当方による補足説明をおこないます。

01. ガイダンス
02. 読解と検討(1)
03. 読解と検討(2)
04. 読解と検討(3)
05. 読解と検討(4)
06. 読解と検討(5)
07. 読解と検討(6)
08. 読解と検討(7)
09. 読解と検討(8)
10. 読解と検討(9)
11. 読解と検討(10)
12. 読解と検討(11)
13. 読解と検討(12)
14. 読解と検討(13)
15. まとめ

The article to be discussed will be selected by consultation at the end of the previous class. After reading the article in question and understanding its main point, each student is expected to prepare a one-page A4 summary of the article, including information relevant to the content, and bring it to class. The articles to be used in class are expected to be between 500 and 1000 words. Prospective students are advised to check the Le Figaro website (<http://www.lefigaro.fr/>) in advance.

In class, we will distribute the summaries prepared by the students, explain their contents, answer questions and provide supplementary explanations.

01. Guidance
02. Reading and review (1)
03. Reading and review (2)
04. reading comprehension and review (3)
05. Reading comprehension and examination (4)
06. reading comprehension and examination (5)

07. reading comprehension and examination (6)
08. reading comprehension and examination (7)
09. reading comprehension and examination (8)
10. reading comprehension and examination (9)
11. reading comprehension and examination (10)
12. reading comprehension and examination (11)
13. reading comprehension and examination (12)
14. reading comprehension and examination (13)
15. summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業に対する参加を評価します。

Assesses participation in the class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

指定された記事を読み、大意を理解し、サマリーを作り、説明できるようにしておくことが予習になります。

Preparation involves reading the assigned article, understanding the main idea, making a summary and being able to explain it.

10. その他/In addition :

・フランス語の文章を読解する能力を持っていることが授業参加の前提条件となります。

・臨時休講その他の連絡は「講義掲示板」

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

でおこないます。学務情報システムや経済学務教務掲示板などは基本的に使用しませんので、こちらを適宜チェックしてください。

The course is designed for students who are capable of reading French.

For information on temporary class cancellations and other matters, see the 'Lecture Bulletin Board' at

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

The Academic Affairs Information System and the Economics Teaching Bulletin Board are generally not used, so please check here as appropriate.

トピックスリテラシー ビジネス・コミュニケーションA/Topics of Literacy: Business Communication A

担当教員/Instructor : NGUYEN KIM NGAN /NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period: 月曜2限

对象学年/Eligible Participants : 3-4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM320E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

The purpose of this course is to enhance students' communication skills within a business context. Through a combination of assigned readings, presentations, and interactive discussions, students will explore essential topics such as assertiveness, public speaking, team communication, and negotiation strategies. Participants will engage in small group discussions to deepen their understanding of the material, refine their skills, and receive constructive feedback from peers.

We will use Google Classroom (accw2r2) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

By the end of this course, students are expected to achieve the following goals:

1. Understand the essential principles of assertiveness and communication planning that are necessary for effective business interactions.
2. Grasp rhetorical techniques and conduct effective business presentations.
3. Grasp communication techniques that are useful in meetings, team communication, business negotiations, and networking.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Students will be assigned readings to answer a series of questions and present the main lessons each week. Following this, small group discussions will occur during class to deepen understanding and practice the skills learned in the lectures. Presentations should be conducted in English, while discussions can be held in Japanese.

Week 1: Introduction

Week 2: Assertiveness and Communication Planning

Week 3: Rhetoric and Public Speaking

Week 4: Business Presentations

Week 5: Business Meetings

Week 6: Giving Constructive Feedback

Week 7: Mid-Term Presentations

Week 8: Team Communication I - Planning

Week 9: Team Communication II - Conflict and Problem Solving

Week 10: Business Negotiation I - Strategies

Week 11: Business Negotiation II - Preparation and Performance

Week 12: Business Networking I - Planning

Week 13: Business Networking II - Preparation and Performance

Week 14: Presentation Preparation

Week 15: Final Presentation and Wrap-Up

4. 実務・実践の授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

O

5. 使用言語/Language Used in Course :

English (Instruction and classroom discussion). (日本語での質問、相談も可能。)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Attendance: 15% Presentations for group discussions & Q/A: 15%
Homework: 30%

Mid-term & final presentations: 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Essentials of Mary Ellen Cengage 2018 ISBN: 978-1-337- Textbook
Business Guffey & 38649-4
Communication- Dana Loewy
E-Book, 011
Edition, Kindle
Edition

ISBN: 978-1-337-38649-4

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students should

- ・ Be prepared for each class
- ・ Complete all assignments completely and on time
- ・ Participate effectively and energetically in class exercises
- ・ Give best effort in all activities

10. その他/In addition :

Materials will be distributed by Google Classroom / email.

Email: nguyen.kim.ngan.c2@tohoku.ac.jp

トピックスリテラシー ビジネス・コミュニケーションB/Topics of Literacy: Business Communication B

担当教員/Instructor: NGUYEN KIM NGAN /NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period: 月曜2限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM321E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to equip students with essential skills in business communication tailored for the modern workplace. Through a combination of textbook readings, presentations, and interactive discussions, students will explore various aspects of effective communication in professional settings. The course will cover topics ranging from the writing process to workplace communication strategies and employment communication techniques. By engaging in small group discussions, students will deepen their understanding of the material while practicing their skills.

We will use Google Classroom (vcgyqyt) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

By the end of this course, students are expected to achieve the following goals:

1. Understand the Essentials of Business Communication: Grasp key concepts and principles of effective business communication.
2. Develop Skills Required for Business Communication in the Digital Age: Enhance writing skills, workplace communication, teamwork, and the ability to deliver effective business presentations.
3. Navigate Employment Communication: Understand and apply best practices for creating resumes, cover letters, and conducting interviews, effectively preparing students for successful job placements.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

Students will be assigned textbook readings to answer a set of questions and present the main lessons each week. Following this, small group discussions will take place during class to deepen understanding and practice the skills learned in the lectures. Presentations should be conducted in English, while discussions can be held in Japanese.

Week 1: Introduction

Week 2: Business Communication in the Digital Age

Week 3: The Writing Process in the Information Age I - Planning & Organizing

Week 4: The Writing Process in the Information Age II - Drafting & Revising

Week 5: Workplace Communication I - Digital Media, Positive and Neutral Messages

Week 6: Workplace Communication II - Negative and Persuasive Messages

Week 7: Business Reports & Proposals I - Informal Reports

Week 8: Business Reports & Proposals II - Proposals and Formal Reports

Week 9: Mid-Term Presentation

Week 10: Professionalism at Work

Week 11: Business Presentations

Week 12: Preparation for Final Presentation

Week 13: Employment Communication I - Resumes and Cover Letters

Week 14: Employment Communication II - Interviewing and Follow-Up

Week 15: Final Presentation and Wrap-Up

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

English (Instruction and classroom discussion). (日本語での質問、相談も可能。)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Attendance: 15% Presentations for group discussions & Q/A: 15% Homework: 30% Mid-term & final presentations: 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Essentials of Mary Ellen Cengage	2018	ISBN: 978-1-337-	Textbook
Business Guffey &		38649-4	
Communication- Dana Loewy			
E-Book, 011			
Edition, Kindle			
Edition			

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students should

- ・ Be prepared for each class
- ・ Complete all assignments completely and on time
- ・ Participate effectively and energetically in class exercises
- ・ Give best effort in all activities

10. その他/In addition :

Materials will be distributed by Google Classroom / email.

Email: nguyen.kim.ngan.c2@tohoku.ac.jp

中級ミクロ経済学特殊講義/Intermediate Microeconomics(Special Lecture)

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /MITSUNOBU MIYAKE

曜日・講時/Day/Period：月曜1限、木曜1限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0360J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

産業組織、財政金融、医療福祉、国際経済、および環境経済などの応用分野を研究する学生にミクロ経済学の基礎的事項を習得してもらいます。授業は、講義と演習セッションからなり、演習セッションでは主として講義の理解を深めるための問題演習などを行います。

It is an aim that the students will understand a microeconomics theory described in the standard textbook of the graduate school and acquire a skill for reading the scientific papers in each applied field, such as the industrial organization, public finance and international economics. In addition, it is an aim that the students will obtain the technical knowledge by solving some problems in the textbooks.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

大学院での研究に必要なミクロ経済学の基礎的な知識と分析能力を身につけること、とくに将来 修士論文作成にあたって、独力で受講生が専攻する分野の文献サーベイができる程度の学力をつけることが到達目標です。

It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers in each field by an own effort, when the student writes master thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

講義と並行して問題演習を行います。

第1回 序章 授業で使用する記号、数学的定理について

第2回 選好、効用関数、および効用最大化と需要

第3回 宿題解説と問題演習(その1)

第4回 需要の変化と財の分類および交換の理論

第5回 宿題解説と問題演習(その2)

第6回 双対性アプローチとスルツキー方程式

第7回 宿題解説と問題演習(その3)

第8回 消費理論のまとめ

第9回 費用と供給および生産技術と費用

第10回 宿題解説と問題演習(その4)

第11回 生産要素の需要

第12回 宿題解説と問題演習(その5)

第13回 短期費用と長期費用

第14回 宿題解説と問題演習(その6)

第15回 費用関数の性質

第16回 宿題解説と問題演習(その7)

第17回 企業理論のまとめ

第18回 市場均衡と市場調整

第19回 宿題解説と問題演習(その8)

第20回 交換経済および生産経済における競争均衡

第21回 宿題解説と問題演習(その9)

第22回 資源配分の効率性と厚生経済学の基本定理

第23回 宿題解説と問題演習(その10)

第24回 余剰分析および数量指数と物価指数

第25回 宿題解説と問題演習(その11)

第26回 不完全競争 独占

第27回 宿題解説と問題演習(その12)

第28回 不完全競争 寡占

第29回 宿題解説と問題演習(その13)

第30回 市場の理論のまとめ

1. Preference and Consumer Choice;

2. Demand Functions;

3. Production and Cost;

4. Competitive Markets and Monopoly;

5. General Equilibrium and its Basic Welfare Properties.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業のなかでの小テストの成績(50%)と宿題レポートの成績(50%)により決定します。小テスト受験時と宿題レポート作成時において、教科書、参考書および自筆ノートを参照して良いが、宿題の問題自体に関する他の人との相談、他人のレポート等を参考にすることは厳禁します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

新版 ミクロ経済学	武隈慎一	新生社	2016	978-4-88384-239-1	教科書
演習ミクロ経済学 第2版	武隈慎一	新生社	0	0	教科書
Models in microeconomic theory	Martin J. Osborne, Ariel Rubinstein	Open Book	0	0978-4-88384-239-1	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習が必要です。復習は宿題レポート作成で行なってください。

10. その他/In addition :

学部レベルのミクロ経済学（ミクロ経済分析）や経済経営数学の学力を前提にするので、受講生は事前に準備して下さい。また、問題演習のプレゼンを重視する授業形式の必要性から、参加者は 30 名以内に制限します。そのため、受講希望者は第 1 回目の講義に必ず出席してください。

授業は対面で実施する。連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。

Google classroom のコードは

〇〇〇

である。

上級ミクロ経済学特殊講義/Advanced Microeconomics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period : 金曜 3 限、金曜 4 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0361J, 単位数/Credit(s) : 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学の諸分野において、ゲーム理論は経済のモデル化や分析のために必要不可欠な分析ツールとなっている。本講義では、非協力ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を解説する。

[In many fields of economics, game theory has become an important analytical tool for modeling and analyzing the economy. In this course, the basic framework of non-cooperative game theory and its application to economics will be explained.]

2. 学修の到達目標/Goal of study :

非協力ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。

[The students should understand the basic framework of non-cooperative game theory and its application to economics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom のクラスコードは、cjk64g5 です。この授業についての情報は、Google Classroom を通じてお知らせします。不明な点がある場合は、遠慮なく私宛に電子メール (ohseto@tohoku.ac.jp) をお送りください。

The class code of Google Classroom is cjk64g5. More information on this course will be provided via Google Classroom. Please feel free to contact me via e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp.

- 1-2 ゲーム理論のイントロダクション
- 3-4 戦略形ゲーム
- 5-6 支配戦略、ナッシュ均衡
- 7-8 経済学への応用：複占モデル
- 9-10 経済学への応用：共有地の悲劇
- 11-12 混合戦略
- 13-14 展開形ゲーム
- 15-16 バックワード・インダクション
- 17-18 経済学への応用：交渉モデル
- 19-20 サブゲーム完全均衡
- 21-22 繰り返しゲーム
- 23-24 オークション
- 25-26 シグナリングゲーム
- 27-28 ゲーム理論のトピックス 1
- 29-30 ゲーム理論のトピックス 2

- [1-2 Introduction
- 3-4 Strategic form games
- 5-6 Dominant strategies, Nash equilibria
- 7-8 Duopoly model
- 9-10 Tragedy of commons
- 11-12 Mixed strategies
- 13-14 Extensive form games
- 15-16 Backward induction
- 17-18 Bargaining model
- 19-20 Subgame perfect equilibria
- 21-22 Repeated games
- 23-24 Auction
- 25-26 Signaling games
- 27-28 Topics on game theory 1
- 29-30 Topics on game theory 2]

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点（小テスト、宿題、報告等）と理解度確認セッションの成績によって評価する。状況により、平常点（小テスト、宿題、報告等）のみによって評価する場合がある。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前に資料が配布された場合は読んでおくこと。授業中に行った練習問題の復習をすること。

10. その他/In addition :

この授業の Google Classroom の授業コードは、cjk64g5 である。

連絡先 : ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業終了後から 30 分間。それ以外は、授業終了時またはメールで日時を約束すること。

中級マクロ経済学特殊講義/Intermediate Macroeconomics(Special Lecture)

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /TATSUYOSHI MATSUMAE

曜日・講時/Day/Period : 金曜1限、金曜2限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0362J, 単位数/Credit(s) : 4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

動学マクロ経済モデルの解法を習得し、標準的な経済成長理論と景気循環理論を学習する。経済成長と景気循環の背後にある経済学的メカニズムとそれに対する適切な経済政策について理解することを目的とする。

In this course, students will learn how to solve dynamic macroeconomic models and study standard economic growth and business cycle theories. The objective is to understand the mechanisms behind economic growth and business cycles and appropriate economic policies.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

このコースを通して、以下の習得を目指す。

1. 経済全体のメカニズム、および、総生産、雇用、賃金、利子率がどのように決まるかが説明できる。
2. 基本的なモデル（経済成長、消費と貯蓄、景気循環など）を根底にある要因を描写できる。
3. 経済政策や、外的ショックの経済への効果を厳密に評価できる。

The aims of this course are to

1. Students will be able to describe the overall economic mechanism and how GDP, employment, wages, and interest rates are determined.
2. Students will be able to describe the factors underlying the basic models (economic growth, consumption and savings, business cycles, etc.).
3. Students will be able to rigorously evaluate economic policies and the effects of shocks on the economy.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

以下の内容を取り扱う予定である。

- (1) マクロ経済学の潮流
- (2) 一般均衡モデルの解法
- (3) ソローモデル
- (4) 最適成長（ラムゼイ）モデル
- (5) 内生的経済成長モデル
- (6) 消費-貯蓄モデル
- (7) 動学的一般均衡モデル
- (8) 景気循環(RBC) モデル
- (9) 貨幣経済(New Keynesian) モデル
- (10) 世代重複(OLG) モデル

※時間があれば、その他の重要なトピックを扱う予定である。

The following topics will be covered

- (1) Current trends in macroeconomics
- (2) General equilibrium model solutions
- (3) Solow model
- (4) Optimal growth (Ramsey) model
- (5) Endogenous growth model
- (6) Consumption-Savings model
- (7) Dynamic general equilibrium model
- (8) Business cycle (RBC) model
- (9) New Keynesian model
- (10) Overlapping generations (OLG) model

Other important topics will be covered if time permits.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。受講者が提出する課題は日本語か英語とする。試験は日本語で出題し、解答は日本語か英語とする。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

中間テストおよび理解度確認セッション（60％）と課題（40％）。課題は、ほぼ全てのトピックの最後に問題を課し、提出を求める。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hill	2012	9.7800735114e+12	参考書
The ABCs of RBCs: an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Monetary Theory and Policy	Carl Walsh	MIT Press	2017	97802620358119.7800735114e+12	参考書

8. 関連URL/URL :

Google Classroom にスライドを事前にアップする予定である。

【Google classroom コード: 】

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

課題を通して、各トピックの本質を理解してもらう。

10. その他/In addition :

上級マクロ経済学特殊講義/Advanced Macroeconomics(Special Lectures)

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：月曜3限、木曜2限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0363J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

今日、大学院レベルのマクロ経済学において標準的な理論モデルと見做されている動学的確率的一般均衡モデル (Dynamic Stochastic General Equilibrium Models, 以下、DSGE モデル) について解説するとともに、実習を通じてその手法を習得する。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

1. 動学最適化の考え方・方法を習得する。
2. DSGE に分類されるマクロモデルから得られる主要結果を理解する。
3. 数値解析の分析手法を習得する。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は対面方式で実施する。授業に関するより詳細な情報や教材は Google Classroom を通じて提供するので、履修を考えている人は Google Classroom の上級マクロ経済学特論のページを授業開始前にチェックしておくこと (クラスコード：vydf7d6)。

授業では、以下の内容を講義する。

1. DSGE モデルとは？
2. 動学最適化
(ア) 不確実性のない場合
(イ) 不確実性のある場合
3. 非貨幣的な DSGE モデル
4. 貨幣的な DSGE モデル

また、講義とは別に、MATLAB を用いたコンピューター実習を実施する予定である。

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッションとほぼ毎回課される宿題の提出状況によって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

The ABCs of George RBCs: An Introduction to Dynamic Macroeconomic Models	Harvard University Press	2008	978-0-674-02814-2	参考書
Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle: An Introduction to the New Keynesian Framework and Its Applications, 2nd ed.	Jordi Gali Princeton University Press	2015	0	参考書
動学マクロ経済学へのいざない	蓮見亮 日本評論社	2020	0978-0-674-02814-2	参考書
定量的マクロ経済学と数値計算	北尾早霧、砂川武貴、山田知明 日本評論社	2024	20240	参考書

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NzUwMTg50TE0Nzgw>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

理解を確実にするためにほぼ毎回宿題を課する予定である。

10. その他/In addition :

授業には数値計算ソフト Matlab とそのアドインである Dynare をインストールしたノートパソコンを持参すること。

中級計量経済学特殊講義 I /Intermediate Econometrics (Special Lectures)I

担当教員/Instructor : D A I RUNYU /DAI RUNYU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0364E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義は基礎計量経済学を中心に学び、上級計量経済学の準備を目的としています。前半では、基礎的な計量経済学モデルを理解するために必要な確率論や統計学の基礎を学びます。後半では、横断面データの分析に焦点を当て、基本的な回帰モデルの推定や推論について扱います。時間があれば、R や Python を使った簡単なプログラミングも取り入れる予定です。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

受講生には、確率、統計、そして初歩的な横断面回帰モデルに関する深い理解が求められます。このコースで学んだ知識をしっかりと身につけることは、他の経済学科目の学習や、実証研究の論文を読み解く際にも大いに役立ちます。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

このコースの内容は、以下の 2 冊の教科書に基づいています :

- 1.Introductory Econometrics: A Modern Approach (7TH) by Wooldridge Jeffrey.
- 2.Probability & Statistics for Economists by Bruce E. Hansen.

コンテンツ :

1. 基礎確率論と確率変数
2. パラメトリック分布
3. サンプリングと推定
4. 仮説検定
5. 単純線形回帰モデル
6. 複数線形回帰モデル

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
なし

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

課題 3~5 回分 (全体の 40%)、理解度確認セッション (全体の 60%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Introductory Wooldridge
Econometrics: A Jeffrey
Modern Approach
(7TH)

Probability Bruce E. Hansen
&
Statistics for
Economists

8. 関連URL/URL :

Google Classroom Code: wutrtls

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義の後にコース内容を復習してください。

10. その他/In addition :

一部の授業はオンデマンド配信またはオンライン形式で実施される場合があります。

コース内容は進度に応じて調整される場合があります。

中級計量経済学特殊講義Ⅱ/Intermediate Econometrics (Special Lectures)Ⅱ

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 火曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0365E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook

Wooldridge, J. M. (2020). Introductory econometrics: A modern approach, 7th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

2. 学修の到達目標/Goal of study:

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)

Basic probability & statistics for econometrics

Conditional expectation (conditional mean)

Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)

Simple & multiple regression

Gauss-Markov Assumptions

Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)

Classical linear model (CLM) Assumptions

t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)

Asymptotic normality

Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)

Robust standard error & inference

Diagnostic tests for Heteroskedasticity

Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)

Instrumental variable & 2SLS

Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)

Beta Coefficients

Functional forms

Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)

Dummy regressors

Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (30%)

Mid-term exam (30%)

Final exam (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Introductory	Wooldridge	Cengage	2020
Econometrics: A		Learning	
modern approach			
7e			

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: 5766pj3

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are expected to have a basic understanding of introductory statistics, including probability, distributions, and hypothesis testing. Familiarity with elementary calculus and linear algebra is helpful but not required.

10. その他/In addition :

上級計量経済学特殊講義 I /Advanced Econometrics (Special Lectures) I

担当教員/Instructor : KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0366E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I and II. This course should be regarded as the entry level econometrics course for PhD program. Students are required to complete the two courses before enrolling in this one. In this course, we will study econometrics in greater depth with both old topics (such as linear regression) and new topics (such as panel data model). Mathematical tools, for example, vector and matrix, are extensively used in deriving estimations and inferences. Random sample (independence) is assumed in most of the topics. Dependent sample will be covered in Advanced Econometrics II.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Conditional Expectation and Projection (Hansen Chapter 2 & 3; Hong Chapter 2; Wooldridge Chapter 2)

- Conditional Expectation
- Best predictor under MSE criteria
- Linear projection and Least Squares Estimator
- Correct model specification

Single-Equation Linear Model (Hansen Chapter 4-7, 9; Hong Chapter 3-4; Wooldridge Chapter 3-4)

- Classical linear regression models: OLS and MLE
- Large sample linear regression models: OLS and Method of Moment
- Hypothesis testing

Single-Equation Linear Model with Instrumental Variables Estimation (Hansen Chapter 12 & 13; Wooldridge Chapter 5)

- Generalized method of moment under i.i.d.
- Two-stage least squares estimation

Multiple-Equation Model (Hansen Chapter 11; Wooldridge Chapter 7)

- Seemingly Unrelated Regressions: OLS and GLS

Linear Unobserved Effects Panel Data Models (Hansen Section 17.1-17.27; Wooldridge Chapter 10)

- FD, FE, RE methods

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Econometrics	Hansen, Bruce E.	2022
Foundations of	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub
Modern		2020
Econometrics: A		Co.
Unified		
Approach		
Econometric	Wooldridge,	MIT Press.
Analysis of	Jeffrey M.	2002
Cross Section		
and Panel Data		

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: hoa3fmo

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

It is recommended that students have completed Econometrics I and II and have a basic understanding of linear algebra, probability theory, and statistical inference. Reviewing key concepts in regression analysis and matrix operations before the course will

10. その他/In addition :

Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

上級計量経済学特殊講義Ⅱ/Advanced Econometrics(Special Lectures)Ⅱ

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0391E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I. This course should be regarded as the second PhD level econometrics course and will cover various asymptotic theories, with an emphasis in dependent samples. Time series econometric models will be covered.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

Asymptotic Theory with Dependent Sample (Hayashi Chapter 2; Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)

- Stationary and Ergodicity
- Martingale and Martingale Difference
- WLLN and CLT for ergodic time series

Linear Time Series Regression Models (Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)

- Static, (Autoregressive) Distributed Lag
- Granger Causality

ARMA Linear Processes & GARCH (Hamilton Chapter 3-5, 21; Hansen Chapter 14; Hayashi Chapter 6; Hong Chapter 9)

- Wold decomposition
- GARCH
- MLE & QMLE

Dynamic Panel Data Model (Hayashi Chapter 3; Hansen Section 17.36-17.42)

- Generalized method of moment
- Anderson-Hsiao, Arellano-Bond
- Blundell-Bond

VAR Model (Hamilton Chapter 11; Hansen Chapter 15)

Unit-Root Econometrics (Hamilton Chapter 17; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 9)

- Unit root test

Cointegration (Hamilton Chapter 19; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 10)

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Time Series Analysis	Hamilton, James D.	Princeton University Press	1994	
Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022	
Econometrics	Hayashi, Fumio	Princeton University Press	2000	
Foundations of Modern Econometrics: A Unified	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co	2020	2020

Approach

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: wdtexa2

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Completion of Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I is recommended. Reviewing key concepts in regression analysis, asymptotic theory, and time series models will help students follow the course more smoothly.

10. その他/In addition :

Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

政治経済学特殊講義/Political Economy (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period: 火曜 3 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0367E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to analyze an economic system from the multi-sectoral perspective.

The multi-sectoral perspective has faded in recent macroeconomic models. The multi-sectoral analysis pays attention to the structures of the economic system, such as those of prices, output, expenditure, consumption, and employment. The economic growth/development has the common patterns in changing the structures, one of which is often called the "Petty's law". Another is the "Baumol disease", which conjectures that the rate of economic growth is declining as service industries become dominant in the economic system.

We learn the economic modelling emphasizing the importance of interlinkage of sectors and implications from the multi-sectoral perspective, which are not obtained by the recent macroeconomic models.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

This course has an ambitious goal of acquiring such knowledge and skills as follows:

- 1) basic properties of multi-sectoral models
- 2) economic growth based on a simple two-class economy
- 3) common patterns in changing the structures and income distribution in the capitalist economic system.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

All information of this course will be announced through Google classroom. Thus, don't fail to register for Google classroom if you wish to take this course.

The structure of this course will be given as follows:

- 1) History of the multi-sectoral analysis (1)
- 2) History of the multi-sectoral analysis (2)
- 3) Balanced growth in the multi-sectoral model and Kaldor's stylized facts (1)
- 4) Balanced growth in the multi-sectoral model and Kaldor's stylized facts (2)
- 5) Balanced growth in the multi-sectoral model and Kaldor's stylized facts (3)
- 6) Stability of the multi-sectoral model (1)
- 7) Stability of the multi-sectoral model (2)
- 8) Stability of the multi-sectoral model (3)
- 9) Petty's law (1)
- 10) Petty's law (2)
- 11) Baumol disease (1)
- 12) Baumol disease (2)
- 13) Empirical facts (1)
- 14) Empirical facts (2)
- 15) Exam.

Note that intermediate level of linear algebra and differential is prerequisite. We learn the mathematical techniques required to understand the multi-sectoral model, such as the Hawkins-Simon condition, Perron-Frobenius theorem, and the stability of differential (difference) equations.

The lecture-notes and other material are uploaded to Google classroom, the code of which is given as follow:

jhhv3ey

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Homework (20%) + Examination. (80%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Ricardo's	Michio	Cambridge	1989	0521366305
Economics	Morishima	University		

Equilibrium, Stability and Growth	Michio Morishima	Press	Clarendon Press	1964	0
Marx's Economics	Michio Morishima	Cambridge University Press		1973	00521366305
Theory of Production	H. Kurz and N. Salvadori	Cambridge University Press		1995	19959780511625770
Microeconomics for the Critical Mind (Vol. 1 and 2)	Fabio Petri	Springer		2021	9783030620691
Lectures on the Theory of Production	Luigi Pasinetti	L. Columbia University Press		1977	0
Theory of Economic Growth	Michio Morishima	Clarendon Press		1969	0
Capital Theory and Dynamics	Edwin Burmeister	Cambridge University Press		1980	0

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Sufficient preparation and review are necessary.

10. その他/In addition :

Intermediate level of linear algebra and differential is prerequisite.

戦略と組織特殊講義/Strategy and Organization(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period: 月曜 6 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN360J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本授業は、経営学の教員で担当する講義であり、それぞれの教員の研究分野に関する講義をオムニバス形式で提供する。今日、経営学の分野でどのような研究が行われているかを幅広く紹介するので、この講義を通じて受講者は、自らの研究の視野を広げてほしい。対象は修士学生であるが、学部生、博士課程、他分野の学生に対しても開かれている。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経営学関連の研究について、広く知識を得ること。

レポート作成を通じて、それぞれの分野についての理解を深めつつ、研究論文の書き方を学ぶこと。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業内容、日程については下記の通りであり、原則として対面講義で行う（一部オンライン講義も併用する）。

ただし予定については変更の可能性もある。授業内および Google Classroom のアナウンスに注意を払うこと。クラスコード:d7ksbjg

*その他、外部講師、講演会への参加を随時アナウンスをする。

10月6日	秋池	オリエンテーション
10月13日	秋池	イノベーションマネジメント
10月20日	秋池	イノベーションマネジメント
10月27日	福嶋	地域企業・ベンチャー
11月10日	福嶋	地域企業・ベンチャー
11月17日	ギア	経営戦略
11月26日	ギア	経営戦略
12月1日	高浦	企業倫理入門
12月8日	高浦	CSR 入門
12月15日	一小路	マーケティング
12月22日	一小路	マーケティング
1月5日	西出	非営利組織論
1月19日	藤原	国際経営
1月26日	藤原	国際経営

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- ・各教員が課題を出し、成績評定をしたものを、単純平均し、得点とする。
- ・出席は必須。ただしどうしても出席できない場合は、その回の担当教員に事情を説明し、代替措置の有無について問い合わせをすること。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NzQ5MjMzMjM5NDMz>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

- ・授業の資料は各担当教員から指示および提供され、事前課題が出されることがあるので、Google Classroom でのアナウンスの内容に従うこと。
- ・授業で紹介されたり、興味をもった分野の論文・書籍を読むこと。

- ・授業で課されたレポートや宿題は必ず提出すること。

10. その他/In addition:

第1回オリエンテーションには必ず参加すること。やむを得ず欠席をする場合には秋池 (atsushi.akiike.d3@tohoku.ac.jp) まで連絡をすること。

イノベーション・マネジメント特殊講義/Innovation Management (Special Lectures)

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period: 月曜2限

对象学年/Eligible Participants : 3-4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN361J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

この授業では、イノベーション・マネジメントに関してベースとなる内容を理解することを目的とします。授業は、イノベーションに関する代表的な論文を取り上げ、当該テーマの講義と履修者による報告をベースに進めていきます。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. イノベーション・マネジメント論の理論を説明できる。
2. イノベーション・マネジメント論に関する論文の内容を理解する。
3. イノベーション・マネジメントに関する理論を事例に応用できる。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

この授業は、イノベーション・マネジメント理論を、同分野の代表的論文をもとに、学習します。

学生は、事前に各回で取り上げる論文をよみ、内容のまとめとコメントを準備し、講義の3日前までに提出します。授業は論文に関するテーマをレクチャーしたのち、担当の学生が論文に登場する概念の概要を説明したのちに、関連した事例を報告します。

なお、講義の連絡などは google classroom を用います。クラスコード：s4vvc7t

授業の計画は以下の通りです。

- Introduction
- The process of innovation.
- Consumer and Innovation
 - Why firms can not react to innovation well? The perspective of technological aspects.
Product architecture and innovation
- Why firms can not react to innovation well? The perspective of market aspects.
 - 1st mini-exam and explanation
- The Role of Legitimacy in Innovation
 - Product category and innovation
 - User innovation
 - Open innovation
 - Design innovation
- Innovation implementation
 - 2nd mini exam explanation

*履修人数次第で計画が若干変化する可能性があります。論文については授業時に紹介します。

4. 実務・実践の授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

1. 論文の内容への事前のコメント・質問・・・30%
2. 担当箇所への報告・・・10%
3. 小テスト・・・40%
4. 最終レポート・・・20%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/u/1/c/NzQ5MjM0MTk3NzQz>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習・・・論文について要約、コメントを考え提出してください。

復習・・・小テスト及び最終レポートのために論文の内容、概念を復習してください。

10. その他/In addition :

・オフィスアワー、教員の連絡先は講義開始時に指示します。

経済史特殊講義/Economic History(Special Lectures)

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：水曜3限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0370J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

歴史学（外国史）の方法論

経済史研究においては、経済学を理解と歴史学の理解の両方が必要となる。本講義では、その2つのうちの歴史学の方法論に特に焦点を当てる。

Methodology of Historical Research (for Foreign History)

The study of economic history requires both an understanding on economics and an understanding on historical research. This course will focus specifically on the methodology of historical part of the two.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

外国史および国際関係史に関して、大学院の専門レベルでの論文作成のための実証的な歴史研究の方法を知る。歴史研究としては基礎的な文献史学を想定する。

そのため、その方法を学ぶ際には、特に、歴史研究における、①主題の設定、②対象の設定、③諸概念、④研究手法（一次史料の利用）、を重視する。

The goal is to know how to conduct empirical historical research for dissertations at the graduate level on foreign history and the history of international relations. The basic historical research methods are assumed. Therefore, learning the methods, particular emphasis is placed on (1) the setting of the subject, (2) the setting of the object, (3) various concepts, and (4) using primary historical materials, in historical research.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業内容・方法：

講義の進め方

授業は、教科書の該当部分に関するディスカッションと必要に応じた講師による解説によって進める。

したがって、受講者には、講義の冒頭または事前のクラスルームの該当箇所教科書の該当部分に関する質問を提示してもらう。

本講義では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、cpkeai4

（経済史特殊講義についても、上記の経済史特論のクラスルームを利用する。）

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も行うこと。）

進度予定：

第1回：講義のイントロダクションと受講者選抜テスト

第2回：教科書1 第3章「主題と対象」(1)

第3回：教科書1 第3章「主題と対象」(2)

第4回：教科書2 第2章「外交史と国際関係理論」

第5回：教科書2 第3章「歴史研究の批判的分析」(1)

第6回：教科書2 第3章「歴史研究の批判的分析」(2)

第7回：教科書2 第5章「文書を使いこなす」

第8回：教科書3 第1章「社会学とは何か」

第9回：教科書3 個別の対象(1)

第10回：教科書3 個別の対象(2)

第13回：教科書3 個別の対象(3)

第14回：実例 経済史・経営史研究における修士論文

第15回：理解度確認セッション（論述式）

・講義の進展速度、受講者数、受講者の研究テーマなどによって、内容・進度・順番などに多少の変更を加える場合がある。

・教科書の入手については、第1回でより詳細に説明する。

・教科書3で社会学の文献を使用する理由：基本的な理由は、近年の経済史・経営史研究で選択されている対象が社会学のそれと同様の場合が増加しているため。

・個別の対象では、教科書3（ギデンズ『社会学』）の個別の章を選んで読みます。章の選択については受講者と相談の上、決定します。

・教科書3（ギデンズ『社会学』）は2025年4月に第9版の翻訳が出版されるという情報があるため、入手可能状況に応じて、教科書3は当シラバス内の第5版から第9版に変更される可能性がある。

Class contents:.

How the lectures will be conducted

The class will progress through discussion of the relevant parts of the textbook and commentary by the lecturer as necessary.

Therefore, students are asked to present questions about the relevant parts of the textbook at the beginning of the lecture or in the relevant part of the classroom beforehand.

Google Classroom will also be used for this lecture. The class code is cpkeai4

(*Please note that logging in to Google Classroom and registering for classes on the Student Affairs Information System are separate processes, so students must also register for classes on the Student Affairs Information System within the registration period.

Schedule:

1st lesson: Introduction to the course and test to select participants

2nd lesson: Textbook 1, Chapter 3 'Subject and Object' (1)

3rd lesson: Textbook 1, Chapter 3 'Subject and Object' (2)

4th lesson: Textbook 2, Chapter 2 'History of Diplomacy and International Relations Theory'

5th lesson: Textbook 2, Chapter 3 "Critical Analysis of Historical Research" (1)

Session 6: Textbook 2, Chapter 3 'Critical Analysis of Historical Research' (2)

Session 7: Textbook 2, Chapter 5 'Using Documents'

Session 8: Textbook 3, Chapter 1 'What is Sociology?'

Session 9: Textbook 3, Individual Subjects (1)

Session 10: Textbook 3, Individual Subjects (2)

Lesson 13: Textbook 3 - Individual Objects (3)

Lesson 14: Examples - Master's theses in economic and business history research

Lesson 15: Comprehension check session (essay-style)

・The content, progress and order of the course may be subject to change depending on the speed of the lectures, the number of students, the research themes of the students, etc.

・The acquisition of the textbooks will be explained in more detail in the first lesson.

・The reason for using sociological literature in Textbook 3: The basic reason is that the subjects chosen in recent economic and business history research are increasingly similar to those of sociology.

・For individual topics, we will read selected chapters from Textbook 3 (Giddens 'Sociology'). The chapters to be read will be decided after consulting with the students.

・There is information that the 9th edition of Textbook 3 (Giddens' Sociology) will be published in April 2025, so depending on availability, Textbook 3 may be changed from the 5th edition to the 9th edition.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション: 40%

各回の質問の水準の合計: 20%

各回の討論への貢献の合計: 20%

中間レポート(1回): 20%

※各回の討論への貢献が十分であることと中間レポートが提出済みであることを理解度確認セッション受験の条件とする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

基礎からわかる 論文の書き方	小熊英二	講談社現代新書	2022 年	978-4065280867	教科書
国際関係史の技 法: 歴史研究の組 み立て方	マーク・トラクテ ンバーグ(村田晃 嗣ほか訳)	ミネルヴァ書房	0	0	教科書
社会学 第五版	アンソニー・ギデ ンズ(松尾精文ほ か訳)	而立書房	0	0978-4065280867	教科書

8. 関連URL/URL :

Google Classroom のクラスコードは、cpkeai4
(経済史特殊講義についても、上記の経済史特論のクラスルームを利用する。)

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習 : 各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくる。講義の際に質問をあらかじめよく考えておくこと。グーグルクラスルームに事前に質問を記入してもらう場合もあります。

復習 : 討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。中間レポート作成の準備。理解度確認セッションの準備。

10. その他/In addition :

履修の条件 :

- (1) 第1回の講義までにこのシラバスを読んでいること。(第1回の講義の際に確認します。)
- (2) 講義の水準に適切な「読書能力」があること。「読書能力」は、より詳しくは「日本語で書かれた学術的専門書に対する読書能力」です。本講義における「読書能力」は、数学を主要な手法として使用する分野における数学の知識と等しい能力です。したがって、非常に狭い意味での読解力だけではなく(それも必要)、ここまでで蓄積された学術的知識も含まれます(特に、歴史に関する知識と認識論的哲学に関する知識)。そのため、第1回の講義の際に、受講資格者選抜テストを行わせていただきます。数学と違って「読書能力」は標準化・明文化されていないためです。
- (3) 少なくとも、教科書2の『国際関係史の技法』は購入したうえで講義に臨むこと。

オフィスアワー : 講義中に指示します。

メールアドレス : 学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※経済史特殊講義の受講者も、必ず経済史「特論」の方のGoogle Classroom、cpkeai4 にログインして下さい。)

経営史特殊講義/Business History(Special Lectures)

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜 4 限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN362J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経営史とは、企業がその時代に直面した経営上の問題をどのように解決したのか、また企業行動にどのような背景があり、それはいかなる成果に帰結したのかを解明する学問である。本講義では、日本の金融業を事例として議論する。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- (1) 歴史の中で企業の果たす意義と可能性を考える。
- (2) 経営環境や歴史的条件などの制約の中で、経営者の意思や主体的な選択が、歴史にどのような影響を与えたのかを学ぶ。
- (3) 企業の経営戦略や組織構造が決定される要因や因果関係について理解する。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

第1回：イントロダクション
第2-9回：戦前・戦後日本の資本市場
第10-12回：戦前・戦後日本の金融業
第13-14回：戦前・戦後日本の保険業
第15回：まとめと理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：40%、平常点：60%

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

予習：理解度を深めるためにも事前学習が望まれる。
復習：前回までの知識を前提として授業をすすめるため、復習は必須である。

10. その他/In addition：

使用言語：講義は日本語で行い、レポートは日本語か英語とする。
履修の条件：特になし
教科書は用いません。参考書等は授業中に適宜提示します。レジュメを配布します。
連絡先：takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
BCP レベル1の場合は、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル2以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。
参加者はGoogle クラウドを必ず参加登録すること。
クラスコードは「vyhgaay」

金融政策論特殊講義/Monetary Policy(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 久保田 荘 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 水曜1限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0372E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

We'll study the basic New Monetarist models.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

To understand the fundamental properties of monetary economy.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Presentation and discussion about the textbook in each class.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Presentation

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Money,	Guillaume	MIT Press	2017	9.7802623385e+12
Payments,	and Rocheteau and Ed			
Liquidity,	Nosal			
second edition				

9.7802623385e+12

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

Take a look at the following short survey before the first class. Come to this class only if it appeals to you very much.

Lagos, Ricardo, Guillaume Rocheteau, and Randall Wright. "Liquidity: A new monetarist perspective." Journal of Economic Literature 55.2 (2017): 371-440.

加齢経済特殊講義/Aging Economy(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period : 火曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0376E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

- ① 人口の高齢化が財政・福祉・年金・介護等に及ぼす影響と政策、
- ② 少子化、労働供給、人的資本形成、
これらのことについて、新古典派を中心とした近代経済学の理論にもとづき、経済の基礎理論を応用する方法を学習することがこの授業のねらいです
For English Course, see EM0413 Aging Economy.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

少子高齢化問題が経済に及ぼす影響をマクロ経済学、ミクロ経済学の基礎理論を応用して説明、分析できるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

主な内容は、

1. 財政政策の理論
2. 経済成長と財政政策、人口成長率
3. 公債と世代間負担
4. 公的年金の経済効果

です。

人口高齢化と社会保障、経済成長、家族問題に近代経済学的な観点から検討します。 歴史的、制度的、社会的なアプローチとは異なった分析を求める人向けです。

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語、英語併用

6. 成績評価方法/Evaluation method :

学期末に理解度確認セッション（100点法、持ち込み不可）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

講義中に資料提示

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業中に課題を出しますので、よく復習してください。

10. その他/In addition :

福祉経済特殊講義/Welfare Economy(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0377E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course focuses on the social security system and public finance. Current policy issues in Japan (especially, social security system) are also discussed.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

We study the role of the government in the economy and why government intervention is needed. Also, you can understand Japanese social security system and discuss not only system itself but also argue the pros and cons of the system. Also, I introduce general topics of welfare economics (for example, the reasons for government intervention in the economy and social insurance). Next, I talk about special topics of social security, especially in Japan. would also like to talk about family economics and education economics. This class also study applied microeconometrics

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1-2 Introduction to Welfare Economics and Social Security (Chapter 1②)

3-5 Data Analysis (Chapter 3③)

6-8 Social Insurance and Social Security (Chapter 12③)

9 Social Security (Chapter 13③)

10-12 Income Inequality and Government Transfer Programs (Chapter 17③)

13-15 Long term care in Japan

The order and contents might be changed depending on procedures.

Students need to present each subsection first. Students need to prepare power point presentation slide.

※Gruber Public Finance and Public Policy

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Presentation 50%Minitest and Exam 50%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Public Finance and Public Policy	Jonathan Gruber	出版社 : Worth Publishers Inc., U.S.; Seventh	2022/06/01	ISBN-10 : 1319466923	ISBN-13 : 978-1319466923
				ISBN-10 : 1319466923	ISBN-13 : 978-1319466923

8. 関連URL/URL :

Google classroom code: ije6xh4

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

財政特殊講義/Public Finance(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 木曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0381E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Using basic economic theories, this course will deal with roles of the public sector in the economy, fiscal differences between Japan and other countries, and how these differences emerged. In addition, fiscal conditions as welfare states and recent situations in some main countries will be discussed.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

To understand normative economic roles of the public sector and allocation of the roles among each part of the public sector.

To know the fiscal character of Japan's public sector and its difference from other countries.

To understand various fiscal forms of public expenditures and taxations in each country.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. Economic role of public sectors based on modern economic theory

2. Fiscal federalism

3. Critiques of Musgrave's fiscal theory

4. Definitions of welfare states and fiscal conditions

5. Fiscal characters of the welfare states

6. Public expenditure of the welfare states

7. Taxations of the welfare states

8. Japan's Fiscal Character

9. Economic role of public sector in institutional economics

10. Comparative institutional analysis

11. Japan's fiscal character

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

average of top scores of small tests in each class: 60%

Final Essay: 40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Information and materials of the course are provided in the Google Classroom that is the same as the graduate course.

class code: mxr5aq4

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

There is no specific textbook for this course; a reading list will be handed out at the beginning of the course.

10. その他/In addition :

開発経済学特殊講義/Development Economics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : L I Y A N J U N /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 月曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0374E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Development Economics is an introductory course that explores the economic challenges and opportunities facing developing countries. It examines the theories, policies, and practices aimed at promoting economic growth, poverty reduction, and human development in these nations. Students will gain a comprehensive understanding of the key issues, theories, and empirical evidence in the field of development economics.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. Understand Development Concepts: Gain knowledge of key development concepts, such as poverty, inequality, population growth, economic growth theory, urbanization and migration, human capital, environment and development, state and market, and international trade.
2. Examine Policy Interventions: Study the role of government policies, international aid, trade, and institutions in promoting economic development.
3. Evaluate Empirical Evidence: Analyze real-world case studies and empirical evidence to assess the effectiveness of development policies and strategies. Develop critical thinking skills to evaluate the ethical, social, and economic implications of development policies.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

Part One Principles and Concepts

1 Introducing Economic Development:

Inquiry about the meaning of "development," orientation to this course

2 Comparative Economic Development:

The definition of basic economic indicators (GDP, HDI), defining developing countries and the frameworks to measure how they are, long-run causes

3 Classic Theories of Economic Growth and Development:

Explain the logic of the classic economic growth theories, such as Rostow's Stages of Growth, the Harrod-Domar Growth Model

Part Two Problems and Policies: Domestic

4 Poverty, Inequality, and Development:

Definition, model, high-poverty groups, policy interventions

5 Population Growth and Economic Development:

The relation between population growth and economic development: history, demographic transition, cause of high fertility, policy approaches

6 Urbanization and Rural-Urban Migration:

Theory and Policy: the role of cities and urban giantism problem, the theory of urbanization, migration from rural area to urban area (both model and implications)

7 Human Capital: Education and Health in Economic Development:

The roles of education and health for economic development, child labor, gender gap, educational reforms, measures of health

8 Agricultural Transformation and Rural Development:

The relation between agricultural transformation and rural development, policy for rural & agriculture development

9 The Environment and Development:

Sustainable development, various environment issues, global warming, models, air pollution, policies, and the environment in developing countries.

10 Institutions and Governance:

The importance of institutions, governance, markets, and corruption in development.

Part Three Problems and Policies: International and Macro

12 International Trade Theory and Development Strategy:

Basic theory of international trade, such as comparative advantages, the impact of international trade, and trade policies on development.

13 Foreign Finance, Investment, Aid, and Conflict: Controversies and Opportunities:
Private foreign investment, foreign aids, conflicts,

14 Finance and Fiscal Policy for Development
The role of debt management, financial crises, finance, and fiscal policies in development and economic stability.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

The language of instruction for this course is English.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

1. Class Participation: Active participation in class discussions and debates on various development topics (20%).
2. Assignments: Essays, and problem sets on development topics (30%).
3. Presentations: Individual or group presentations on assigned

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Development Economics	Todaro, Michael P., Smith, Stephen C.	Addison Wesley	2014
Development Economics: Theory and practice	de Janvry, Alain, Sadoulet, Elisabeth	London: Routledge, Taylor & Francis Group	2016

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Office hours:
Thursday, 2-4 pm
Graduate School of Economics and Management Building (C16)-Room 506

10. その他/In addition :

N/A

労働経済学特殊講義/Labor Economics (Special Lectures)

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜1限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0394E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

The course's primary objective is to familiarize students with the fundamental concepts of Labor Economics, encompassing theoretical principles and empirical methods. Kindly note that this course is primarily intended for master's students. If undergraduate students wish to enroll, they are required to have a solid understanding of econometrics, as well as proficiency in listening, speaking, reading, and writing in English.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

Students will develop the necessary skills to analyze and comprehend labor market policies and engage effectively in labor economics.

Students are primarily selected based on their academic background and goals. If you are interested, please kindly send me your brief resume and transcript via email, and I will promptly respond and proceed with further communication.

Email address: bai.yu.c2@tohoku.ac.jp

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Methods: Fundamental causal inference methods: IV, DID, RDD

Labor Market Dynamics: Labor supply, demand, and market equilibrium

Human Capital Accumulation

Labor Mobility

Female Labor Participation

Research Development: Conceive, refine, and present your research plan

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

The final grade is based on three components: homework assignments, paper and research plan presentations, and the final report.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Specific
references will
be provided
during the
class.

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Please kindly email me to confirm the time at bai.yu.c2@tohoku.ac.jp.

10. その他/In addition :

経済統計学特殊講義/Econmic Statistics(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0392E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google classroom code: sdnqojju

最新情報はこちらをチェックしてください。

Title: データサイエンスのための数学的基礎

Abstract:

本講義は、データサイエンスそのものではなく、応用するために必要な統計理論を学ぶ。

大数の法則(Law of Large Numbers, LLN)と中心極限定理(Central Limit Theorem, CLT)が基礎となる理論である。

前半は、測度論の入門、確率収束と分布収束の違いと意味を学ぶところから始まり、LLN と CLT を証明する。

後半は、最尤法(Maximum Likelihood Estimation, MLE)を導入し、最尤推定量の漸近有効性(asymptotic efficiency of MLE)を証明する。

最後に、Bayes 統計学への入門を行う。

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本講義のゴールは

1. MLE の定義
 2. MLE の一貫性(Consistency)
 3. MLE の漸近有効性(Asymptotic Efficiency)
 4. 推定問題への応用
- を学ぶことである。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 統計的決定理論
2. 十分統計量
3. 最尤推定法 (MLE)
 - 3.1. 大数の法則
 - 3.2. 一貫性
 - 3.3. 中心極限定理
- 3.4. 漸近有効性
4. ベイズ統計学
 - 4.1 事前分布と事後分布
 - 4.2 事前分布の選択

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

英語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

宿題を3回程度課し、その点数で評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Theory of point estimation	Lehman, E. L.	Springer	2000	B000YHB89Q
現代数理統計学	竹村 彰通	学術図書出版		4780608600 B000YHB89Q

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

10. その他/In addition:

産業発展論特殊講義/Industrial Development(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 水曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0385J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

産業の国際分業と企業の競争優位を規定する要因に関する基礎的な理論を学ぶ

In this course, students will learn the fundamental theories regarding the factors that determine international division of labor in industries and the competitive advantage of firms.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

国際分業と競争優位を規定する要因に関して、理論的に考察できるようになること。現代の先端的な研究の出発点になった基礎的な著作・論文を理解して、それぞれの個別的研究の基礎をつくること。

Students develop the ability to theoretically analyze the factors that determine international division of labor and competitive advantage.

Students understand foundational books and papers that have served as starting points for cutting-edge research and establish a theoretical foundation for their own research.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

以下の内容で進める。

- ・経済開発と産業：工業の自立と発展
- ・動態的比較優位の理論：雁行形態論。貿易と直接投資論。プロダクト・サイクル論
- ・多国籍企業の理論：寡占と階層的分業論。内部化論。折衷パラダイム
- ・多国籍企業のグローバル立地戦略
- ・国際生産ネットワークとグローバル・バリュー・チェーン
- ・BOP からの破壊的イノベーション
- ・発展途上国を本国とする多国籍企業

各回において、テキストの理解と、あらかじめ指定された課題について受講者が報告し、全員で討論する。テキストの読解の重要部分について教員が解説する。

+Economic development and industrial development

+Dynamics of comparative advantage: Flying-geese pattern, trade, foreign direct investment, and product cycle

+Theory of multi-national corporation: Oligopoly, hierarchical division of labor, internalization, eclectic paradigm

+Global location strategy of multi-national corporation

+International production network and global value chain

+Disruptive innovation from the base of pyramid

+MNEs from developing countries

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・出席と報告・発言 : 40%
- ・理解度確認セッション (筆答式) : 60%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

新版 開発経済学 (第3-5章)	速水佑次郎	創文社	2000	9.7844238955e+12	教科書
A Historical Pattern of Economic Growth in Developing Countries	Kaname Akamatsu	The Developing Economies, Preliminary Issue No.1	1962		教科書
雁行形態型経済発展論 (第1巻) (第1, 7章)	小島清	文真堂	2003	48309444989.7844238955e+12	教科書
グローバリゼーションをマルクスの目で読み解く	村岡俊三	新日本出版社	2010	20109784406053853	教科書

International Investment and International Trade in the Product Cycle	Raymond Vernon	Quarterly Journal of Economics, Vol. 80	1966			教科書
The International Operations of National Firms (邦訳『多国籍企業論』, Chap. 1-3)	Stephen Herbert Hymer	The Massachusetts Institute of Technology	1976			教科書
Multinational Enterprises and the Global Economy, Chap. 4	John H. Dunning	Addison-Wesley Publishing Company	1993	0		教科書
On Competition (邦訳『競争戦略論 I』), Chap. 9	Michael E. Porter	A Harvard Business Review Book	1998	0		教科書
How Have Production Networks Changed Development Strategies in East Asia? in Global Value Chains in a Changing World	Fukunari Kimura	Fung Global Institute, Nanyang Technological University, and World Trade Organization	2013	9789287038821		教科書
The Great Leap: Driving Innovation From the Base of the Pyramid	Stuart L. Hart and Clayton M. Christensen	MIT Sloan Management Review, Vol. 44, No. 1	2002			教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・予習中心。各回の課題論文を読みこなし、事前に提示された課題について考えをまとめておくこと。課題を割り当てられた場合は報告を作成すること。

10. その他/In addition :

マーケティング管理論特殊講義/Marketing Management (Special Lectures)

担当教員/Instructor : 一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 火曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN365J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

学生は最新のマーケティング論の代表的な手法である QCA のうち、fsQCA を用いた研究について焦点を当てて、その手法並びに使用法について理解する。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

学生は fsQCA を用いた研究論文の書き方とその使用法について理解する。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業の前半は fsQCA を用いた論文について学ぶ。

発表者は各論文について発表資料を作成し、発表をする。

その他の受講生は、各論文の概要をまとめて word1 枚にまとめたうえで、担当教員に提出する。

発表後、参加者の間で質疑応答や議論を行う。

授業の後半は実際に fsQCA を用いた分析に挑戦する。

ただし、こちらについては授業進度に応じて変更になるのでその点をご理解いただきたい。

必要な連絡は Google Classroom を通じて行い、講義自体も Google Meet を用いて開催される。

Google Classroom については、大学院のマーケティング管理論特論のものを使用するので、注意してほしい。

マーケティング管理論特論のクラスコードは ikv7jxt である。

常に確認することを怠らないようにしてほしい。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常成績による。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前学習 : 各論文に関する事前理解並びに疑問点・議論点の考察

事後学習 : 議論を踏まえたうえでのトピックの整理

10. その他/In addition :

国際経営特殊講義/International Business(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period: 水曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN369E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

- ・本演習では、国際経営分野における国内・海外の論文を輪読・議論を進めていきます。
- ・参加者には自分自身の関心のあるテーマを選定してもらい、それについて発表をしていただきます。
- ・国内外の優れた論文を読み、自分自身の関心テーマについて発表の準備を進める中で、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

This course is designed to help students find a research topic of their own interest and acquire the basic knowledge and skills to be able to write a paper or give an oral presentation on it.

To this end, students will begin by closely reading excellent domestic and international previous research and setting their own goals for their own achievement.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・自分自身の研究テーマを設定し、それに相応しい研究方法を見出し、論理的に説明できる能力養うことが最終目標です。

The goal is that by the end of this course, each student will have identified a topic of interest and an understanding of some of the important previous research in the field.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

- ・一回当たり1～2本の論文を輪読していく予定です。
- ・報告担当者は該当論文について、PowerPointまたはWord等で発表の準備をし、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
- ・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり1枚(A4)のレジュメを用意した上で授業に参加してください。(※レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。)
- ・中間報告と最終報告の2回にわたり、自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

Each session, several students are asked to present their work using PowerPoint or Word. During the class hours, active participation to discussions are expected.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語/英語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

- ・担当論文の報告及び議論への参加 (70%)
- ・課題レジュメの提出 (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

10. その他/In addition:

日本経済史特殊講義/History of Japanese Economy (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period: 火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0388J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

日本における近代経済成長の始動と展開を体系的に把握する。もって、日本経済史を専門的に研究していくために必要な知見と方法を獲得する。

In this course, students will systematically learn to understand the start and development of modern economic growth in Japan. In this way, students will acquire the knowledge and methods necessary for the academic research of Japanese economic history.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

労働、人口、金融、農業、工業、商業などの側面から江戸～明治・大正期の日本経済史を深く理解すること。
日本経済史分野の専門的議論を正確に理解し、研究上の論点を整理し、新たな課題を抽出すること。

Students are expected to achieve the following:

- 1.To understand the Japanese economic history from the Edo to Meiji/Taisho periods from the perspectives of labor, population, finance, agriculture, industry, and commerce.
- 2.To accurately understand academic discussions in the study of Japanese economic history, organize academic issues, and extract new academic themes.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

各回の授業は輪読形式で実施する。

1. 授業時間の前半では、教科書の該当箇所について、担当者（受講生のなかから担当者を事前に決定する）が内容要約等を発表する。
2. 授業時間の後半では、講師による解説と参加者によるディスカッションを行う。

進度の予定は次の通りを予定している。

1. ガイダンス
2. マクロ経済と政府の役割 (1) 16 世紀末～19 世紀前半
3. 労働と人口 (1) 人口と都市化、移動と就業
4. 金融 (1) 農業金融の矛盾と公債市場の安定
5. 農業と土地利益 (1) 経済性成長と社会的安定の相克
6. 鉱工業 (1) 農村工業の拡大と鉱業の自立
7. 商業とサービス (1) 近世日本の市場と商業
8. マクロ経済と政府の役割 (2) 19 世紀後半から第一次世界大戦前 (1913)
9. 労働と人口 (2) 移動の自由と技能の形成
10. 金融 (2) 近代的金融システムの形成と企業金融
11. 農業と土地利益 (2) 明治の農業と都市不動産業
12. 鉱工業 (2) 産業革命期の鉱工業
13. 商業とサービス (2) 交通革命と明治の商業
14. 総合討論
15. まとめ (小テストを含む)

This class will be conducted in a reading the textbooks by turns.

In the first half of the class time, one student, pre-selected from among the students, will present a summary of a chapter in the textbook.

In the second half of the class time, the instructor will provide explanations and participants will discuss.

Class schedule:

1. Introduction
2. Macroeconomics and the Role of Government (1) Late 16th century to mid-19th century
3. Labor and Population (1) Population and Urbanization, Migration and Nature
4. Finance (1) Contradictions in Agricultural Finance and Stability of the Bond Market
5. Agriculture and land use (1) Conflict between economic growth and social stability
6. Mining and manufacturing (1) Expansion of rural industry and independence of mining
7. Commerce and Services (1) Markets and Commerce in Early Modern Japan
8. Macroeconomics and the Role of Government (2) Late 19th Century to Before World War I (1913)
9. Labor and Population (2) Freedom of Movement and Formation of Ability
10. Finance (2) Formation of Modern Financial System and Corporate Finance
11. Agriculture and Land Utilities (2) Agriculture and the Urban Real Estate Industry in the Meiji Period
12. Mining and manufacturing (2) Mining and manufacturing during the industrial revolution
13. Commerce and Services (2) Transportation Revolution and Meiji Commerce
14. General discussion
15. Examination

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

発表の内容 (40%)、ディスカッションへの貢献 (10%)、小テストの得点 (50%) により評価します。
Presentation (40%), Discussion (10%), Examination (50%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済の歴史 第2巻	深尾京二・中村尚 史・中林真幸編	岩波書店	2017	978-4-00-011402-8	教科書
日本経済の歴史 第3巻	深尾京二・中村尚 史・中林真幸編	岩波書店	2017	0	教科書
				978-4-00-011402-8	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくる。要約担当者は要約を作成する。
復習：次回授業の準備。

10. その他/In addition :

1. 受講者には次のことが義務付けられるので、その点をよく理解したうえで履修してください。
 - (1) 最低限1回以上、発表すること。
 - (2) 毎回の授業では、該当箇所を事前に読んだうえで臨むこと。
 - (3) 必ず教科書を入手すること。
2. 履修希望者は必ず初回授業に出席してください。
3. 大学院開講の「日本経済史特論」と合同の授業です。

行動経済学特殊講義/Behavioral Economics (Special Lectures)

担当教員/Instructor : 矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period : 火曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0393E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Behavioral economics is also called “psychology and economics”, and is a field of economics that incorporates psychological findings into the analysis of economic phenomena. This lecture will provide an introductory course in behavioral economics. In addition to learning the basics of behavioral economics, we will also cover specific topics such as education, labor, and finance.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

To understand the content of standard behavioral economics topics and be able to apply them to real-world problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1: Guidance
- 2-3: Present Bias
- 4-5: Decision-making under risk
- 6-7: Social Preferences
- 8-9: Social Image
- 10-11: Belief Formation, Memory
- 12-14: Economics of Gender, Discrimination, and Identity

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Grades will be based on regular points (quizzes, in-class reports, homework, etc.) and an exam.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

応用データ科学特殊講義/Applied Data Science(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period : 金曜 2 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN370E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google Classroom: zfrdrpr

目的: 本講義では、プログラミング言語 python の基礎、及び python を用いたデータ分析のスキルを習得する。

本講義は主に PBL(Problem-based learning) の形で、実データ分析に基づいた学習を行う。 概要: 近年ではデータ科学およびデータ分析に基づいた現実問題への解決が注目されつつある。本講義では実データ分析を例とする学習を通じて、受講生にデータ分析の知識、および分析スキルを身に着けることを目的とする。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. プログラミング言語 python の基本知識を理解する。
2. 回帰分析などの基本的機械学習の手法を理解する。
3. 実データを用いて、データ処理、分析、結果の解釈を含めたデータに基づいた応用分析ができるようになる。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

【授業の内容・方法】 Colab におけるオンライン教材を中心とする。

【進捗予定】

1. イントロダクション
2. python の基礎およびデータ処理
3. データ分析の基本
4. 予測問題の分析
5. 分類問題の分析
6. クラスタリング分析
7. テキスト解析と正規表現
8. テキストを用いたデータ分析
9. 大規模言語モデル(LLM) の応用
10. 深層学習の基本
11. ニューラルネットワークの応用
12. 画像処理基礎
13. CNN を用いた画像識別
14. 強化学習(i)
15. 強化学習(ii)

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語、日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

毎週の課題の完成状況、最終レポートの完成度、および出席率に基づいて総合的に評価する。
出席率 30%, 毎週の課題 30%, 最終課題 40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

プログラミング初心者、授業外でのプログラミング練習も望まれる。

10. その他/In addition :

経済実証分析特殊講義/Empirical Economic Analysis (Special Lecture)

担当教員/Instructor: 学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period: 火曜3限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0396J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、近年の経済学の実証分析において用いられる典型的な手法について、基本的な知識を理解し、統計ソフトを用いた実装方法を習得することである。

The objective of this course is to understand the fundamental knowledge of typical empirical methods used in recent economic research and to acquire the skills necessary to implement these methods using statistical software.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

近年の経済学の実証分析において利用される計量経済学の手法について、その理論的な基礎および統計ソフトを用いた実装方法を理解する。
経済学において統計データを扱う際の注意点や限界を理解し、現実利用可能な実践的なデータ処理の手法を習得する。

Students will gain an understanding of both the theoretical foundations and practical implementation of econometric methods commonly used in recent empirical research. They will also learn the limitations and considerations when handling statistical data and acquire practical data processing skills applicable to real-world scenarios.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

以下の内容に関する理論および実装について取り扱う。

- ・実証分析の基礎
- ・バイアスへの対処とランダム化比較試験
- ・回帰分析
- ・傾向スコア
- ・パネルデータ分析・TWFE
- ・回帰不連続デザイン
- ・操作変数法
- ・Webスクレイピングによるデータ収集
- ・データクリーニング
- ・テキストデータ解析

This course will cover both the theoretical aspects and implementation of the following topics:

Introduction to empirical analysis
Bias and randomized controlled trials
Regression analysis
Propensity score
Panel data analysis and Two-Way Fixed Effects (TWFE)
Regression discontinuity design
Instrumental variable
Web scraping
Data cleaning
Text data analysis

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

講義への参加状況 (50%)
最終レポート (50%)

Class participation (50%)
Final report (50%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL :

初回講義時に指示する。

To be provided during the first lecture.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義時間以外にも必要に応じて調査・学習を行い、統計的理論に対する理解を深め、プログラミング技能を習得することが望まれる。

Students are expected to conduct independent research and study outside of class to deepen their understanding of statistical theory and enhance their programming skills.

10. その他/In addition :

教科書は特に指定しない。参考書や資料は必要に応じて講義内で紹介する。

ミクロ経済学、計量経済学、プログラミングの基本的な知識があることが望ましいが、熱意があれば歓迎する。

教員の連絡先やオフィスアワーは初回講義時に説明する。

受講者の興味関心・習熟度に応じて講義内容が変更される場合がある。

There is no designated textbook for this course. Reference materials will be introduced as necessary during lectures.

A basic knowledge of microeconomics, econometrics, and programming is desirable but not required. Enthusiastic students are welcome.

Details on the instructor's contact information and office hours will be provided in the first lecture.

Course content may be adjusted based on students' interests and proficiency levels.

資本市場の役割と証券投資/Role of the Capital Markets and the Securities Investment

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /

曜日・講時/Day/Period：木曜4限

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0322J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

現代の経済では、金融・資本市場の果たす役割は極めて大きく、経済活動を行う人々が金融・資本市場の果たす役割を十分に理解しておくことが重要となっている。金融リテラシーをはじめ、現実的な金融・資本市場の潮流を知り、新しい金融市場の課題や役割を体系的に学び、実践的な力を身につけることが本講義の目標である。本講義は野村證券株式会社の寄付講義です。

"In modern economy, the roles of financial and capital markets are remarkably important. It is important for agents conducting economic activities to acquire knowledge about those roles. The goals of this lecture are as follows:

- ・ To understand the financial literacy
- ・ To understand the trends of real financial and capital markets
- ・ To acquire practical skills regarding financial literacy

This lecture is donated by NOMURA SECURITIES CO., LTD."

2. 学修の到達目標/Goal of study：

金融リテラシーをはじめ、現実的な金融・資本市場の潮流を知り、新しい金融市場の課題や役割を体系的に学び、実践的な力を身につける。

Learn about real financial and capital market trends, including financial literacy, systematically learn the challenges and roles of new financial markets, and acquire practical skills.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

- ①「金融リテラシーとは」
- ②「経済成長と金融資本市場」
- ③「金融、金融機関、資本市場の役割と社会的意義」
- ④「証券投資の期待リターンを考える」
- ⑤「投資信託について考える」
- ⑥「グローバルマーケットと今後の成長テーマ」
- ⑦「M&A と投資銀行ビジネスの役割」
- ⑧「ベンチャーファイナンスの潮流」
- ⑨「プライベートマーケットにおけるエクイティ投資」
- ⑩「コーポレートガバナンスの潮流」
- ⑪「サステナブル・ファイナンスと ESG 投資」
- ⑫「長寿化と投資／超高齢化時代の到来と金融サービス業」
- ⑬「金融のデジタル化とフィンテック」
- ⑭「人口 2/3 激減時代の到来と「新」成長戦略」
- ⑮理解度確認セッション

- ① "What is financial literacy"
- ② "Economic growth and financial capital markets"
- ③ "The role and social significance of finance, financial institutions, and capital markets"
- ④ "Thinking about the expected return of securities investment"
- ⑤ "Thinking about investment trusts"
- ⑥ "Global market and future growth themes"
- ⑦ "M&A and the role of investment banking business"
- ⑧ "Trends in venture finance"
- ⑨ "Equity investment in the private market"
- ⑩ "Trends in corporate governance"
- ⑪ "Sustainable Finance and ESG Investment"
- ⑫ "Longevity and Investment/The Arrival of the Super-Aging Era and the Financial Services Industry"
- ⑬ "Financial digitalization and FinTech"
- ⑭ "The arrival of an era of sharp population decline by 2/3 and a "new" growth strategy"
- ⑮ Understanding level confirmation session

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course：

講義、理解度確認セッションは日本語で行います。

Lectures and comprehension check sessions will be conducted in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席 50 点、理解度確認セッション 50 点で成績評価します。

Grading will be based on 50 points for attendance and 50 points for the comprehension check session.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

金融資本市場・経済に関するトピックを取り上げる機会が多いので、日経新聞等の経済情報に目頃から目を通しておくことが望ましい。

Since there are many opportunities to take up topics related to the financial and capital markets and the economy, the Nikkei newspaper and other economic information sources
It i

10. その他/In addition :

基本的には対面講義で行います。また資料は ISTU に掲示します。

It is basically a face-to-face class. Materials will also be posted on ISTU.

連絡先

野村證券株式会社 仙台支店 法人課 桐澤 済

直通 : 022-225-4403

FAX : 022-223-2225

e-mail:wataru.kirisawa@nomura.com

キャリアワークショップ/Career Workshop

担当教員/Instructor：宇野 健司 /KENJI UNO

曜日・講時/Day/Period：木曜3限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN228J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroom クラスコード：

キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」（通称「宇野ゼミ」）

実務経験豊富な社会人教員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義（インプット）よりも、ディスカッション（アウトプット）形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、毎回異なる事例（ケース①～⑩）を題材に、学生がディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第1回および第2回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第6回および第10回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方（就職活動を含む）、海外大学への留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&Aを含めたセッションを行う予定です。

< As for information about this class, we use "Classroom." We also utilize "ZOOM" as a tool of real-time online class session. If you have any question, please contact the following e-mail address. kenji.uno@dir.co.jp >

Known as "Uno seminar." This class offers a case method type of lessons by a business professional.

Covering practical themes such as personal career formation, corporate organization theory, and business strategy, this class will utilize discussion rather than lecture.

Students are required to lead discussions actively, and the lecturer provides relevant knowledge, broadens perspective, deepens understanding, and motivates positive behavior.

A maximum of 30 students participate discussions (Case1 to 10) each time, and the lecturer summarizes later in each class.

In the 1st and 2nd classes, we will have "Orientation and introductory discussion." In the 6th and 10th classes, sessions about how to form your career will be held.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談（就職活動、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など）をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身に付けること
- (2) 自分のキャリアについて考えること
- (3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

Course Goals

Through discussion, "Express opinion confidently" "Respect other people's opinion and listen in good faith" "Exchange problem-oriented ideas rather than critiques" and "Foster communication appropriately." Those skills are necessary even after graduation.

Also, based on the experiences of the lecturer (job hunting, studying abroad in overseas graduate schools,

acquiring specialized skills, business practices and working methods, etc.), students learn “how to build up future career.”

The goals of the class are summarized as follows:

- (1) Acquire discussion skills
- (2) Think about your career
- (3) Motivate each other and act voluntarily for the future

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (1)
- 第2回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (2)
- 第3回 ケース① (導入事例①)
- 第4回 ケース② (導入事例②)
- 第5回 ケース③ (導入事例③)
- 第6回 人生設計の話
- 第7回 ケース④ (個人のキャリア形成①)
- 第8回 ケース⑤ (個人のキャリア形成②)
- 第9回 ケース⑥ (個人のキャリア形成③)
- 第10回 将来のキャリア形成の話
- 第11回 ケース⑦ (企業の組織論①)
- 第12回 ケース⑧ (企業の組織論②)
- 第13回 ケース⑨ (企業の経営戦略論①)
- 第14回 ケース⑩ (企業の経営戦略論②)
- 第15回 まとめ

- 1st Orientation & introductory discussion (1)
- 2nd Introductory discussion (2)
- 3rd Case 1 (Introduction Case 1)
- 4th Case 2 (Introduction Case 2)
- 5th Case 3 (Introduction Case 3)
- 6th Talk of career management (1)
- 7th Case 4 (Personal Career Formation 1)
- 8th Case 5 (Personal Career Formation 2)
- 9th Case 6 (Personal Career Formation 3)
- 10th Talk of career management (2)
- 11th Case 7 (Corporate Organization 1)
- 12th Case 8 (Corporate Organization 2)
- 13th Case 9 (Corporate Management Theory 1)
- 14th Case 10 (Corporate Management Theory 2)
- 15th Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業内で指示します。

8. 関連URL/URL :

<https://www.sentankyo.jp/articles/123f8570-5cfc-427f-8fad-de507f012883>

<https://todai-umeet.com/article/56143>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業内で指示します。

10. その他/In addition:

経済学部以外の学生も、歓迎します。

(週1回の授業なので、他学部からも履修しやすいと思います。必要なら個別に相談に応じますので、下記のメールアドレスに気軽に連絡して来て下さい。)

教員のメールアドレス:

k7c7u7y7j7@gmail.com

(何か質問があれば、誰でも気軽に連絡して来て下さい)

<参考>

(「宇野ゼミ」は東大、北大、上智大でも受講生アンケートでも最上位に例年ランクされ、各大学で表彰を受けています。学生からのコメントは下記の通りです。)

◎宇野先生が、経験から様々な話をしてくれ、この授業で話を聴くだけでも(もちろん積極的な参加でその何倍も得るものがあるが)とても勉強になるし、就活ができる。

◎挑戦すればするだけ成長に繋がれる授業であり、就活始めるにも良いきっかけとなる。就活が終わっていても非常に学びを得られる機会が多くあり、満足度が凄く高い授業である。

◎学生たちが話すことがメインの授業であり、さまざまな学生と話すことで多様な価値観や意見を知ることができた。また学生同士の親睦を深めることができ、コロナ禍で機会が減った対話を積極的に行う事が出来た。必修にしても良いと感じるほど、受講を勧めたい。

◎これから就職活動を控えている身としてはとても役に立つ今までで一番いい授業だと感じた。

◎何よりクラス全体の雰囲気がとても和やかで、良い意味で授業感がなくとても楽しい講義であった。履修して良かったと心の底から思う。

◎講師の宇野先生が学生の就活支援に非常に熱心で気さくな人柄であるため、この授業はこれから就活を行う、あるいは就活を始めたばかりの学生に役立つと思う。これまでに最も印象に残る授業だった。

◎むしろWEB開講の方が適していると思う。授業内外で履修学生とコミュニケーションをとることで、良い刺激を受けることができる。大学としての勉強に加えて、社会に出て役立つ実用的なスキルが身につく。教員の対応も真摯であり、非常に優れた授業であると感じた。

◎この授業にしかできないこと、(発言を積極的にする、就活の役に立つケースを読んで授業で問題発見や解決策を考える事ができる)ができました。そして、教授からもわかりやすい説明やアドバイスをいただきました。今まで取った授業で一番良かったです。

◎宇野さんの授業は、私がこれまで受けた授業の中でも最も面白くて今後社会人になってもこの授業で身につけた知識やスキルは絶対に為になると思ったからです。大学のシラバスに宇野さんの授業を是非増やしてほしいです。この授業をとれて本当によかったなと思いました!

◎ただ授業が面白いだけでなく、先生、受講生とも仲良くなれるところが魅力的です。コロナ禍で学生が求めているニーズを把握した上で授業設計がされているので、今まで受けてきた授業の中で一番面白かったです。)

キャリアワークショップ/Career Workshop

担当教員/Instructor：宇野 健司 /KENJI UNO

曜日・講時/Day/Period：木曜3限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN228J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroom クラスコード：

キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」（通称「宇野ゼミ」）

実務経験豊富な社会人教員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義（インプット）よりも、ディスカッション（アウトプット）形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、毎回異なる事例（ケース①～⑩）を題材に、学生がディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第1回および第2回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第6回および第10回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方（就職活動を含む）、海外大学への留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&Aを含めたセッションを行う予定です。

< As for information about this class, we use "Classroom." We also utilize "ZOOM" as a tool of real-time online class session. If you have any question, please contact the following e-mail address. kenji.uno@dir.co.jp >

Known as "Uno seminar." This class offers a case method type of lessons by a business professional.

Covering practical themes such as personal career formation, corporate organization theory, and business strategy, this class will utilize discussion rather than lecture.

Students are required to lead discussions actively, and the lecturer provides relevant knowledge, broadens perspective, deepens understanding, and motivates positive behavior.

A maximum of 30 students participate discussions (Case1 to 10) each time, and the lecturer summarizes later in each class.

In the 1st and 2nd classes, we will have "Orientation and introductory discussion." In the 6th and 10th classes, sessions about how to form your career will be held.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談（就職活動、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など）をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身に付けること
- (2) 自分のキャリアについて考えること
- (3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

Course Goals

Through discussion, "Express opinion confidently" "Respect other people's opinion and listen in good faith" "Exchange problem-oriented ideas rather than critiques" and "Foster communication appropriately." Those skills are necessary even after graduation.

Also, based on the experiences of the lecturer (job hunting, studying abroad in overseas graduate schools,

acquiring specialized skills, business practices and working methods, etc.), students learn “how to build up future career.”

The goals of the class are summarized as follows:

- (1) Acquire discussion skills
- (2) Think about your career
- (3) Motivate each other and act voluntarily for the future

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (1)
- 第2回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (2)
- 第3回 ケース① (導入事例①)
- 第4回 ケース② (導入事例②)
- 第5回 ケース③ (導入事例③)
- 第6回 人生設計の話
- 第7回 ケース④ (個人のキャリア形成①)
- 第8回 ケース⑤ (個人のキャリア形成②)
- 第9回 ケース⑥ (個人のキャリア形成③)
- 第10回 将来のキャリア形成の話
- 第11回 ケース⑦ (企業の組織論①)
- 第12回 ケース⑧ (企業の組織論②)
- 第13回 ケース⑨ (企業の経営戦略論①)
- 第14回 ケース⑩ (企業の経営戦略論②)
- 第15回 まとめ

- 1st Orientation & introductory discussion (1)
- 2nd Introductory discussion (2)
- 3rd Case 1 (Introduction Case 1)
- 4th Case 2 (Introduction Case 2)
- 5th Case 3 (Introduction Case 3)
- 6th Talk of career management (1)
- 7th Case 4 (Personal Career Formation 1)
- 8th Case 5 (Personal Career Formation 2)
- 9th Case 6 (Personal Career Formation 3)
- 10th Talk of career management (2)
- 11th Case 7 (Corporate Organization 1)
- 12th Case 8 (Corporate Organization 2)
- 13th Case 9 (Corporate Management Theory 1)
- 14th Case 10 (Corporate Management Theory 2)
- 15th Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業内で指示します。

8. 関連URL/URL :

<https://www.sentankyo.jp/articles/123f8570-5cfc-427f-8fad-de507f012883>

<https://todai-umeet.com/article/56143>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業内で指示します。

10. その他/In addition:

経済学部以外の学生も、歓迎します。

(週1回の授業なので、他学部からも履修しやすいと思います。必要なら個別に相談に応じますので、下記のメールアドレスに気軽に連絡して来て下さい。)

教員のメールアドレス:

k7c7u7y7j7@gmail.com

(何か質問があれば、誰でも気軽に連絡して来て下さい)

<参考>

(「宇野ゼミ」は東大、北大、上智大でも受講生アンケートでも最上位に例年ランクされ、各大学で表彰を受けています。学生からのコメントは下記の通りです。)

◎宇野先生が、経験から様々な話をしてくれ、この授業で話を聴くだけでも(もちろん積極的な参加でその何倍も得るものがあるが)とても勉強になるし、就活ができる。

◎挑戦すればするだけ成長に繋がれる授業であり、就活始めるにも良いきっかけとなる。就活が終わっていても非常に学びを得られる機会が多くあり、満足度が凄く高い授業である。

◎学生たちが話すことがメインの授業であり、さまざまな学生と話すことで多様な価値観や意見を知ることができた。また学生同士の親睦を深めることができ、コロナ禍で機会が減った対話を積極的に行う事が出来た。必修にしても良いと感じるほど、受講を勧めたい。

◎これから就職活動を控えている身としてはとても役に立つ今までで一番いい授業だと感じた。

◎何よりクラス全体の雰囲気がとても和やかで、良い意味で授業感がなくとても楽しい講義であった。履修して良かったと心の底から思う。

◎講師の宇野先生が学生の就活支援に非常に熱心で気さくな人柄であるため、この授業はこれから就活を行う、あるいは就活を始めたばかりの学生に役立つと思う。これまでに最も印象に残る授業だった。

◎むしろWEB開講の方が適していると思う。授業内外で履修学生とコミュニケーションをとることで、良い刺激を受けることができる。大学としての勉強に加えて、社会に出て役立つ実用的なスキルが身につく。教員の対応も真摯であり、非常に優れた授業であると感じた。

◎この授業にしかできないこと、(発言を積極的にする、就活の役に立つケースを読んで授業で問題発見や解決策を考える事ができる)ができました。そして、教授からもわかりやすい説明やアドバイスをいただきました。今まで取った授業で一番良かったです。

◎宇野さんの授業は、私がこれまで受けた授業の中でも最も面白くて今後社会人になってもこの授業で身につけた知識やスキルは絶対に為になると思ったからです。大学のシラバスに宇野さんの授業を是非増やしてほしいです。この授業をとれて本当によかったなと思いました!

◎ただ授業が面白いだけではなく、先生、受講生とも仲良くなれるところが魅力的です。コロナ禍で学生が求めているニーズを把握した上で授業設計がされているので、今まで受けてきた授業の中で一番面白かったです。)

アセットマネジメント/Asset Management

担当教員/Instructor : 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 木曜3限

对象学年/Eligible Participants: 2-3-4.

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0220J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

この授業では、日本投資顧問業協会と投資信託協会の支援によって派遣される最前線の実務家講師陣を毎回ゲストスピーカーとしてお迎えし、オムニバス形式で講義を行います。アセットマネジメントないし資産運用が如何なる社会的機能・役割を果たし、如何なる社会的責任を負うべきか、「リスク」概念を中核とする基礎的理論がどのように実践に結びつくのか、等の実際の諸問題につき、実務家による解説を通じて学んでいきます。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

アセットマネジメントないし資産運用の基礎的理論と実際についての知識を踏まえて、リスクマネジメントに纏わるビジネスの仕組みや実態について論理的に考察できる能力を養うこと。

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

日本投資顧問業協会・投資信託協会の寄付により運営されている講義である。
昨年度の内容は以下の通りである。(本年度の内容は9月頃に決定予定)

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 アセット・マネジメントとは
- 第3回 株式、債券のリスクとリターン
- 第4回 アセット・アロケーションと分散投資
- 第5回 投資信託
- 第6回 不動産証券化と資産運用
- 第7回 株式市場の分析
- 第8回 ヘッジファンド
- 第9回 金融デリバティブ取引
- 第10回 PE（プライベート・エクイティ）投資
- 第11回 機関投資家とコーポレート・ガバナンス
- 第12回 自主規制とコード
- 第13回 エコノミスト・ストラテジストの業務
- 第14回 アセット・マネジメント・ビジネスの最先端（経営者が語る）

第1回に本講義の注意点について説明をします。

4. 実務・実践の授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評估方法/Evaluation method:

理解度確認セッションに代えて Google Classroom を利用した課題の提出を検討しているが、状況に応じて変更の可能性あり

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

アセットマネジメントの世界	投資信託協会・日本投資顧問業協会編	東洋経済新報社	2010	978-4492711774	参考書

978-4492711774

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

必要があれば初回の講義の際に指示致します。

10. その他/In addition :

特に履修の前提条件は定めませんが、新聞の経済記事など、日頃からマスメディアの情報に慣れ親しむことを求めます。

受講者が300人を超え、経済学部以外の同一学部から

5名以上の履修者がいる場合、その学部生の履修を

認めない場合があります。

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

マーケティング営業/Sales and Marketing

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：火曜 2 限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN221J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義は、ブルデンシャル生命保険株式会社の寄附講義として設置され、営業のプロとして最前線で働く同社のトップセールスパーソンや役員、および他業界のトップセールスパーソンが講師となり、自らのセールス経験に基づいた実践的な講義を行う。営業に必要なスキル、セールスプロセスといったノウハウだけではなく、営業職の醍醐味や心構え、「営業」という職種を通じて得られるリーダーシップ力や人間的成長といったソフト面についても体系的に講義する。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

本講義を通じ、営業に関する的確な知識やノウハウを知り、また営業職を経験することで、結果としてリーダーに必要な対人関係力や人間力などの素養を養えるということを理解する。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 営業を科学する
- 第3回 セールスプロセス①：オープニングインタビュー
- 第4回 セールスプロセス②：ファクトファインディング
- 第5回 ワーク①：オープニングインタビュー、ファクトファインディングの実践
- 第6回 セールスプロセス③：プレゼンテーション
- 第7回 セールスプロセス④：クロージング
- 第8回 ワーク②：プレゼンテーション、クロージングの実践
- 第9回 アフターフォロー
- 第10回 営業のマネジメント①：セルフマネジメント
- 第11回 若手セールスパーソンによるパネルディスカッション
- 第12回 営業のマネジメント②：チームマネジメント
- 第13回 営業の醍醐味
- 第14回 振り返り・まとめ
- 第15回 理解度確認セッション

※授業日程については一部変更になる可能性がある。

授業に関する連絡等は Google Classroom を用いて行う。
授業のクラスコードは i7pjt4s である。常に確認するようにしてほしい。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

授業への参加態度（50%）および理解度確認セッション（50%）

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

公式 HP <https://www.prudential.co.jp/>

公式 YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCJIdZcSK1TjcmSYiuLherra>

日出ずる国の営業 <https://www.hiizurukuninoeigo.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

事前に営業への関心をもって社会の実例について調べる。
事後に講義で学んだことを基に、実践の可能性について検討する。

10. その他/In addition :

地域財務金融行政論/Regional Fiscal and Financial Administration

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員 1 /

曜日・講時/Day/Period : 木曜 4 限

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0221J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google Classroom のクラスコード「 」

東北財務局による寄付講座です。日本の財政、経済及び金融を取り巻く現状や課題等について理解を深めることを目的とし、財務省と金融庁の地方出先機関である東北財務局幹部・担当職員が政策現場での経験をもとに講義を行います。特に専門性の高いテーマは、本省庁や関係機関等からゲストスピーカーを招聘します。

In this course, officials including executives from the Tohoku Local Finance Bureau will introduce the policy of the Ministry of Finance and Financial Services Agency and how they are carried out in the local region. Also officials from the Ministry of Finance and Financial Services Agency will provide their experience on how the public finance and financial policies are decided in the central government level.

For particularly highly specialized themes, we will invite guest speakers from the main ministries and agencies and related organizations.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

これまで大学の講義等で学んできた財政、経済、金融等に関する知識や見聞等に、本講義における現場での実践状況等の解説を加えることで、日本や東北地方が抱える諸課題やその解決策等について、自分事として主体的に考える機会となることが期待できるほか、より広い視野・視点に立って社会やビジネスへの興味・関心を高めることを目標とします。

This course is designed to help students deepen their knowledge and understanding of the role of public finance and financial policies, and enhance their interest in business and society as a whole.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

東北財務局の幹部・担当官のほか、財務省・金融庁や関係機関等で直接政策等に携わっている職員等を招聘し、各々の所掌業務等について解説することを基本とします。また、適宜、当局に勤務する東北大学OB・OGによる、就職活動等に関する経験談や社会人としての心構え等の紹介機会も設けます。

この講義は原則、対面授業で実施し、講義終了後は小テストを実施することとします。

講義に必要な資料や情報は、Google Classroom を使用して提供します。

(講義テーマ (予定))

: 東北財務局業務の概要等 (組織概要・業務紹介、講義の概要・方法説明等)

: 我が国の予算と財政

: 予算執行調査、災害復旧制度

: 国際金融政策及び為替政策

: 東日本大震災からの復興の取組み

: 我が国の税制の概要等

: 日本経済の現状

: 東北地方の経済情勢

: 財政融資資金・地方資金

: 金融行政①

: 金融行政②

: 国有財産行政

: 地方創生の取組み

: 我が国の会計制度

※上記の講義内容・順番を基本としつつ、講師は毎回変わります。また、公務の要請等により、講義の順番や内容等 (授業計画) を変更する場合があります。

This class will be held in an “omnibus” lecture series style.

Lectures will be provided by officials including executives from the Tohoku Local Finance Bureau, as well as officials from Ministry of Finance and Financial Services Agency etc..

The contents and schedule are as above, but may change due to official duties or other circumstances.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義並びに理解度確認セッション等、当講義に関するものは全て日本語とします。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

第2回～第14回の講義終了毎の「小テスト (40%)」では短文記述とアンケートを実施し、「理解度確認セッション (60%)」では、原則、選択式、択一式等を組み合わせて実施することとし、それぞれを点数化した合計と出席状況により評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

東北財務局HP→ <https://lfb.mof.go.jp/tohoku/>、財務省HP→ <https://www.mof.go.jp/>、
金融庁HP→ <https://www.fsa.go.jp/>、復興庁HP→ <https://www.reconstruction.go.jp/>、
国税庁HP→ <https://www.nta.go.jp/>、日本公認会計士協会HP→ <https://jicpa.or.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Google Classroom にアップロードされた講義資料の内容を事前に確認してください。

特に予習は必要ありませんが、日頃から新聞報道等で政治や経済事象(特に財政・金融)等の時事ネタに関心を持つことで、この講座の理解をより深めることができます。

復習は講義の内容が社会にどのように関わっているか、自分なりに考察してください。

※いずれも、東北財務局、財務省、金融庁のホームページ等で最近の動き (トピックス等)を確認することを推奨します。)

質問等は各講義終了後のアンケートで受付け、

10. その他/In addition :

第1回(初回)の講義は、導入ガイダンスであり、授業計画や講義内容、注意事項等を詳しく説明するため、履修希望者は必ず出席してください。

5月1日もしくは7月3日のいずれかの授業を休講とします。第1回講義時に指示します。

連絡先 東北財務局総務部財務広報相談室

Tel 022-263-1111 (内線 3017) E-mail THZKOUHOUKANOP@th.lfb-mof.go.jp

損害保険概論/Introduction to General insurance (non-life insurance)

担当教員/Instructor: 松代 貴志 /TAKASHI MATSUSHIRO

曜日・講時/Day/Period: 火曜 4 限

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0225J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業の目的は、損害保険全般について幅広く学ぶとともに、各種のリスクに注目したうえで、リスクに対する備えについて考える機会とする。

授業は、損害保険の仕組みなどの概要、損害保険商品の内容とその社会的・経済的な役割を学ぶとともに、損害保険業界を取りまく環境や展望などについても概観する。

The objective of the class is to provide students with the opportunities to gain extensive knowledge on general insurance and to contemplate on risk preparedness against a backdrop of emergence of various risks in the society. The class will also provide the students with the basic mechanism of how general insurance works, the content and socio-economic function of general insurance products as well as the current situation and the future prospects of the general insurance industry.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

損害保険全般の知識の習得と、将来、社会人として損害保険を効果的に活用できる知識の習得を目指す。

The goal of the study is to obtain general understanding of general insurance including the knowledge necessary to effectively utilize general insurance products in our social lives.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

この授業は、一般社団法人 日本損害保険協会 (<https://www.sonpo.or.jp/>) が提供する。

各回の授業は、日本損害保険協会の講師を中心に、実務に精通する(実務経験を有する)様々な損害保険関係者がオムニバス形式で専門テーマの講義を行なう。

The class is sponsored by the General Insurance Association of Japan (<https://www.sonpo.or.jp/en/>).

The class will be provided in an "omnibus format" where different lecturers, mainly from the General Insurance Association, with expertise in respective areas will deliver lectures on the given themes.

講義は、原則、対面授業とするが講義室の定員を超える登録があった場合は、対面とオンラインのローテーション方式あるいは全講義をオンライン方式とすることがある(オンライン授業はオンデマンド方式。)

なお、講義で使用する資料は、原則として ISTU に事前添付する。

1. ガイダンス
2. 保険の仕組み、役割
3. 保険に関する法律(保険業法・保険法)
4. 防災・減災(報道の視点を中心に)
5. すまいの保険(火災保険)
6. すまいの保険(地震保険)
7. くるまの保険(自賠責保険)
8. くるまの保険(自動車保険)
9. からだの保険(傷害保険・医療保険・海外旅行保険)
10. 企業分野の保険
11. 保険会社の業務
12. 損害調査業務
13. 代理店の業務
14. 損害保険会社の経営
15. 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

講義、理解度確認セッションともに日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション(筆記)を8割とする。

その他2割はいくつかの講義の際に授業の所感を確認するので、その提出回数・記載の内容を勘案して配点する。
確認方法は、オンライン授業は電子メール、対面授業は所定の用紙による提出とする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

この科目は一般社団法人 日本損害保険協会により提供されています。

ツーリズムとインバウンドの経済学 I / Economics of Tourism and Inbound 1

担当教員/Instructor：陳 鳳明 /FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period: 木曜3限

对象学年/Eligible Participants: 2-3-4

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM228J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/object and summary of class:

- ・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。新型コロナウイルスの流行により、観光経済は大きな打撃を受けました。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でポストコロナ G0 T0 キャンペーン等インバウンドにもとづく地域経済の回復が求められています。
- ・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、観光産業への理解の促進を図る講義と企画をセットした教育を行います。
- ・観光、運輸、サービス関係だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・観光経済学、インバウンドの内容を理解し、観光を産業としてみる知識の習得。
- ・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方のポストコロナのインバウンドに役に立つアイデアを話し合い、企画します。
- ・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
- ・自分のアイデアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1 インTRODakション;インバウンドの経済社会的な重要性
- 2 観光データの解説;観光の経済統計と分析の手法
- 3 アニメ・サブカルツリズム
- 4 課題（観光プロモーションの好事例収集）
- 5 地域のプロモーション
- 6 福島県の観光の魅力は何か?専門家による講義
- 7 最終課題解説（チーム分け）
- 8 山形県の観光の魅力は何か?専門家による講義
- 9 JR 東日本に学ぶ;鉄道産業から総合サービス産業へ
- 10 宮城県の観光の魅力は何か?専門家による講義
- 11 アイディア・ワーク1(私の考える南東北ベストツアー)
- 12 ツアーの構成
- 13 企画予備プレゼン
- 14 プレゼン改善ワーク
- 15 前期最終プレゼン：コンペ

4. 実務・実践の授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

学期末にチームと個人でオリジナルのツアーの提案レポートを提出。チームはコンペでプレゼン。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

講義中に資料提示

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【pq5vkpu】である。

10. その他/In addition :

ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅱ/Economics of Tourism and Inbound 2

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：木曜4限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM229J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

- ・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でインバウンドにもとづく国際的な観光事業の展開が図られています。
- ・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、広く学生を対象に観光産業への理解の促進を図る講義（座学）と演習（実習）をセットした教育を行います。
- ・観光、運輸、サービス関係に就職を考えている人だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・観光経済学、インバウンドの内容を理解して、観光を産業としてみる知見を習得します。
- ・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方インバウンドに役に立つアイデアを話し合い、企画します。
- ・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
- ・自分のアイデアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

- 1 イントロダクション；インバウンドの経済社会的な重要性
- 2 観光マーケティング；食を通じた地域おこし
- 3 岩手県の観光の魅力は何か？専門家による講義
- 4 仙台の地域振興
- 5 秋田県の観光の魅力は何か？専門家による講義
- 6 JR 東日本講義；観光産業人材に期待されること
- 7 ツアーの構成要素
- 8 インバウンドと行政
- 9 青森県の観光の魅力は何か？専門家による講義
- 10 地域のプロモーション方法
- 11 最終課題解説（チーム分け）
- 12 アイデア・ワーク（私の考える北東北ベストツアー）
- 13 ツーリズムとツアープランニング
- 14 予備プレゼンとコメント
- 15 最終プレゼン

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

インバウンド推進のためのオリジナルアイデアを企画化したり、プレゼンワークに出席しレポートとして提出します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

授業中に指示。

8. 関連URL/URL：

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは b53niwf である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

講義中に課題を出すのでオンライン等で提出。

10. その他/In addition :

1 学期のツーリズムとインバウンドの経済学 I とは別に、本講義で 2 単位を取得できます。

日本学メソドロジー基盤 A/Japanese Studies Methodology foundation A

担当教員/Instructor：尾崎 彰宏、教員未定 /

曜日・講時/Day/Period：日曜1限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM322J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：
2. 学修の到達目標/Goal of study：
3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：
4. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business
5. 使用言語/Language Used in Course：
6. 成績評価方法/Evaluation method：
7. 教科書および参考書/Textbook and references：
8. 関連URL/URL：
9. 授業時間外学修/Preparation and Review：
10. その他/In addition：

ビジネスデータ科学/Business Data Science

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /KURANDO TAKAHASHI

曜日・講時/Day/Period：木曜4限、木曜5限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN227J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom：

生成AIの発展により、企業や社会ではますますAIを理解する人材が必要とされています。企業がビジネスを推進するためには、ビジネスや社会課題とAIテクノロジーを理解し、データサイエンティストやエンジニアとビジネスを繋ぎ、適切な課題設定、解決策の提案・実行できる人材（AIビジネスコンサルタント）が求められています。しかし当該人材育成には課題が2つあります。1つ目、AI理解を深めようにもPython等、プログラミングスキルが必要とされることが多く、プログラミングができない、もしくは苦手の学生が取り残されるということ。2つ目に、「いま」、ビジネスや社会の分野でどのようにAI活用されているのかについて、具体例を持って教えることが難しいため、理解を深めることができにくいということ。

「ビジネスデータ科学」は、2019年上述の課題を解決するために開講され本年で6年目の講義です。当講義を受講することで、経済学部等文系学部生がAI（機械学習）の本質の理解を深め、ビジネスや社会課題についてデータやAI（機械学習）を活用し、どのように解決するのかを捉えることができる人材（AIビジネスコンサルタント）に成長できます。講義では、AI専門家でなくても数クリックのマウス操作で、学習済みモデルを構築できる自動機械学習ソフトウェア（「AnyData」）等を活用します。プログラミング知識のない学生でも、モデル構築の一連の流れを簡単に「体験」することができ、AIに興味を持つ学生数を飛躍的に向上することができると考えております。

本年度もAIをビジネスで活用している企業による事例紹介セッション等を設ける予定です。また、皆さんが得た知識をアウトプットするプレゼンテーション機会も提供します。具体的には、地元企業から課題提示を受け、データやAIを活用し、当該課題解決や新規ビジネス創出に、どのようにAIを活用するかといった提案をしてもらう予定です。

Not only Japan, but worldwide, lack of number of Data Scientists is the serious issue. To solve the issue, we, aiforce solutions Inc., open the Business Data Science course in order to educate students to have AI reteracy.

""AnyData"", an automated machine learning tool developed by Alinside inc, will be used in the course therefore no programing skill is required.

At the end of the course students will have to present to local companies to solve their issues using AI.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

学修の到達目標は、大きく2つです。

- ・AIでできること（機能）を理解したうえで、企業課題に対し、データ・AIを活用した解決策や新規ビジネス創出の提案ができるようになること

- ・複数の機械学習・深層学習アルゴリズムを利用して、自らデータの前処理、可視化、モデリングができるようになること（プログラミング知識不問。自動機械学習ソフトウェア（AnyData）を活用します）

- ・Students will be able to predict/classify itmes using maching learning and deep learning algorithms.

- ・Students will be able to present AI solutions to companies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は基本的に講義・ワークショップ・ハンズオン形式で進めます。内容はビジネスの実業務で、AIコンサルタントやデータサイエンティストが身につけるべき基本的なスキル（以下）をベースに、適宜履修生の状況に合わせる予定です。

The course will be based on lectures, workshops and presentations. The contents may be changed according to students' understanding of the contents.

第1回

1. オリエンテーション・Q&A
2. オリエンテーション・Q&A

第2回

3. 【ビジネス構想力】デジタル時代ビジネスモデルの理解①：DX概論
4. 【ビジネス構想力】デジタル時代ビジネスモデルの理解②：AIの機能理解

第3回

5. 【データサイエンス】AI（機械学習）を理解しよう①【ビジネス推進力】ビジネス課題解決手法：問題解決手法（コンサルティングメソドロジー）

6. 【データサイエンス】AI（機械学習）を理解しよう②

第4回

7. 【データサイエンス】AI（機械学習）でAIモデルを作ってみよう①
8. 【データサイエンス】AI（機械学習）でAIモデルを作ってみよう②

第5回

9. 【ビジネス構想力】ビジネス環境の理解：課題設定力
10. 【データサイエンス】AI（機械学習）のビジネス活用

第6回

11. 【ビジネス推進力】課題解決力（コンサルティングメソドロジー）
12. 【データサイエンス】データから課題を見出す

第7回

13. 【ビジネス構想力】グループワーク① - プレゼンテーション準備
14. 【ビジネス構想力】グループワーク② - プレゼンテーション準備

第8回

15. 地元企業の課題に対し、データやAIを活用した解決策のプレゼンテーション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

提出物・小テスト・出席 30%
プレゼンテーション 40%
データ分析課題（学習済モデルの構築・ケース） 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

シン・ニホン	安宅和人	NewsPicks パブリッシング	2020	9784910063041	参考図書
イシューからはじめよ	安宅和人	英治出版	0	0	参考図書
仕事ではじめる機械学習	有賀康顕	オライリージャパン	0	09784910063041	参考図書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

参考図書について一点。文章は難しく感じるかもしれませんが。「予習で自分で教科書を読んで理解しよう」とは考えないでください。授業で取り上げ、かみ砕いて説明した箇所を、後で自分で見返してみる、という姿勢でいてください。

講義後半では、企業に対し、AI活用の提案をするため、時間外での企業調査やデータ分析が想定されます。

10. その他/In addition :

Social Research Methods/Social Research Methods

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /WANG YANGYUZI

曜日・講時/Day/Period : 水曜 3 限

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM327E, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course introduces research methodologies in Political Economics through frameworks like Marxian, Sraffian, Post-Keynesian, and Evolutionary economics. Students will learn how to critically read economic literature, develop and conduct economic research, and compose academic papers, focusing on key principles, critical analysis, and effective communication.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

By the end of the semester:

- Students will develop an understanding of the selected economic fields, including their own research themes. This includes a knowledge of the research topics, the main research methods, main ideas, and the advantages and disadvantages of these fields.
- Students will gain proficiency in academic writing by formulate research questions, constructing arguments, and presenting findings coherently.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

This course includes 15 sessions:

Part I Reading Economic Literature Critically

Session 1 Crafting a Research Proposal: Establishing a Clear Plan

Session 2 Understanding and Applying Critical Thinking in Research:

- Examples from classical Political Economic papers

Session 3 Selecting and Evaluating References in Political Economics:

- Examples from the surveys of different topics

Part II How to write an academic paper I: From Research Interests to Research Proposal

Session 4 Defining Research Interests and Identifying Topics:

- What are political economists' interests?
- What does an interesting political economic topic look like?

Session 5 Refining Research Interests in a Research Questions:

- Guide students in narrowing broad interests into a specific, researchable question.
- Turning a research question into the research problem

Session 6 Conducting a Literature Review in Political Economics

- How to examine existing literature to understand debates, theoretical frameworks, and research gaps

Session 7 Building a compelling research narrative:

- How to tell a story for the readers?

Session 8 To answer the question from readers: SO WHAT? Novelty and Contributions

Part III How to write an academic paper II: Structuring and Supporting an Academic Paper

Session 9 The framework of an academic paper

Session 10 Formulating hypothesis, arguments, and claims

Session 11 Reasons and evidence:

- Modeling in Political Economics

Session 12 Reasoning and Evidence in Political Economics

Session 13 Introduction, conclusions, and then abstract

Part IV How to write an academic paper III: Revising and Refining Your work

Session 14 Enhancing Academic Writing. For example, improving Format, Style, and Readability with AI Tools

Session 15 Course Review and Q&A

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

The total score: 100 points

- Class participation (30%).
- Research proposal (70%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

The craft of Booth, W. C., University of 2019

research Colomb, G. G., Chicago press
& Williams,
J. M.

A manual for Turabian, K. L. University of 0
writers of Chicago Press.
research
papers, theses,
and
dissertations:
Chicago style
for students and
researchers.

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are encouraged to try to compose a research proposal for their thesis following the course progress.

10. その他/In addition :

Spatial Economics/Spatial Economics

担当教員/Instructor: 曾 道智 /DAO-ZHI ZENG

曜日・講時/Day/Period: 金曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM333E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、国際貿易や産業の集積などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた貿易理論と地域科学に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の代表的な一般均衡モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

Spatial economics clarifies regional industrial agglomeration and international trade by incorporating spatial factors into traditional economics. This lecture mainly focuses on trade theory and regional science, which exhibit a remarkable development in recent years. Specifically, we study representative general-equilibrium models in international economics and regional economics, and then show their applications. To understand this course, you are expected to have some basic knowledge of microeconomics.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

基礎理論を学び、研究フロンティアの情報を把握する。

To learn the basic theory and understand the research frontier.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

今年度の授業には GoogleClassroom を利用する。授業の実施形態は主にオンライン（オンデマンド）であるが、受講生からの要望が強ければ、途中から対面授業に変える。授業内容は下記の 15 回を予定している。

1 序論

2 Dixit-Stiglitz の CES モデル

3 自国市場効果

4 二要素モデル

5 Mathematica の使用法

6 準線形モデル

7 異質性モデル

8 重力モデル I

9 重力モデル II

10 厚生分析

11 Non-CES の均衡分析

12 均衡と最適

13 核・周辺モデル

14 連続空間

15 応用とその他

We use Google Classroom this year. I am preparing on-demand lectures, but the class may be switched to a face-to-face one if many students hope in-person lectures. There will be 15 lectures as follows.

1 Introduction

2 The Dixit-Stiglitz CES model

3 The home market effects

4 2-factor models

5 Mathematica usage

6 Quasi-linear mode

7 Heterogeneity models

8 Gravity models I

9 Gravity models II

10 Welfare analysis

11 Non-CES equilibrium analysis

12 Equilibrium vs. optimum

13 Core-periphery models

14 Continuous space

15. Applications etc.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

英語で講義を行う。

The lectures will be in English.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業への関与度(30%)、宿題(70%)に応じて評価する。

Students are evaluated based on the level of class participation (30%) and assignments (70%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

空間経済学	曾道智・高塚創	東洋経済新報社	2016	978-4492314852	教科書
The Spatial	Fujita, M.,	MIT Press	1999	0	参考書
Economy	Krugman P and				
	Venables A.				
				978-4492314852	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業後は宿題によって復習する。宿題の点数は最終成績の評価に使用される。

Home works are used to review the lectures. They are also used to evaluate your final score.

10. その他/In addition :

Office hour: Friday 16:30-18:00 or by appointment.

Mathematics for formal economic modeling and analysis/Mathematics for formal economic modeling and analysis

担当教員/Instructor: BAI YU、LI YANJUN /BAI YU

曜日・講時/Day/Period: 火曜1限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM328E, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is designed to equip students with the essential mathematical tools necessary for formal economic analysis. It will focus on calculus, linear algebra, and advanced methods such as dynamic optimization, all of which are crucial for analyzing and understanding advanced economic models. Kindly note that this course is primarily designed for master's students. If undergraduate students wish to enroll, they should have a strong foundation in calculus, as well as proficiency in listening, speaking, reading, and writing in English.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

To learn how to apply mathematical techniques in formal economic analysis.

To develop the ability to utilize mathematical tools to address a range of economic problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

Calculus:

Differentiation and integration

Multivariable calculus: partial derivatives, optimization

Applications of calculus in economic theory: utility maximization, cost minimization

Linear Algebra:

Vectors, matrices, and systems of linear equations

Eigenvalues and eigenvectors

Other Advanced Mathematical Topics for Economics:

Log-linearization

Dynamic Optimization

And other related topics

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Homework assignments: 40%

Midterm exam (closed-book): 30%

Final exam (closed-book): 30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Specific
references will
be provided
during the
class.

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

Please kindly email me to confirm the time at bai.yu.c2@tohoku.ac.jp.

10. その他/In addition :

生命保険経営概論/Introduction to Life Insurance business management

担当教員/Instructor：高浦 康有、河島 鉄郎 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：木曜3限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM213J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom：classroom コードは「 wtbwfpz 」

この授業の目的は、以下の3点。

1. 各種基礎知識（金融工学、経営学、財務管理会計）が会社運営の実務にどう活用されているかを学習。
2. 商品開発、リスク管理など生命保険分野の業務全般に関わる実践的知識と事業環境の動向に関わる知識習得。
3. 今後、学生が体験する企業インターンシップや就職活動の事前準備としての各種情報提供および意見交換。

Following 3 points are the objectives of this lecture.

1. Learn how each basic knowledge (Financial Engineering, Business Economics, Financial Management Economics) is used in business operation.
2. Acquire working knowledge in all aspects of life insurance business such as product development, risk management and current business environment trend.
3. Dialogue and various information sharing for preparing company's internship program and job-hunting.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

この授業の到達目的は、以下の3点。

1. 会社運営の実務に必要とされる各種基礎知識について数値を用いた演習及びその理解。
2. 業務全般に関して授業を通じて得た知識を用い、自らの考え方をロジカルに構成できること。
3. 卒業後の人生設計において、一定の指針を身に付けられること。

Following 3 points are the goal of study.

1. Practice using the value of basic knowledge needed in actual business operation, and understand them.
2. Enable to construct your own logical thinking in all aspects of business using the knowledge achieved in this course.
3. Establish a guiding principle for making a life plan after graduation.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

講義の流れ：1つの講義は4つのパートで構成。

- A) 各種基礎知識（例：統計学）から実務で活用されているアイテムを復習/学習。
- B) それらが実務（例：商品開発）においてどう活用されているか紹介。
- C) 事例に対し、皆さまの視点から批評（肯定的/否定的等）を実施し、自らがその実務の立場に立った場合どうするか考察。
- D) 社員の立場からの各種情報提供/意見交換（例：会社生活/就職活動等）。

授業スケジュール。

1. ガイダンス
2. 確率・統計 1/2
3. 確率・統計 2/2
4. 金融 1/2
5. 金融 2/2
6. 財務会計 1/2
7. 財務会計 2/2
8. 管理会計
9. 経済 1/2
10. 経済 2/2
11. マーケティング 1/2
12. マーケティング 2/2
- 13-15. サマリ

Each lecture is constructed in four parts.

- A) Learn/ review useful cases from each basic knowledge (ex.Statistics).
- B) Introduce how these topics are practically used in life insurance business (ex. Product development).
- C) Consider how you would react actually when you are responsible for this business, making a comment (positive/negative,etc.) from each point of view.
- D) Dialogue/ various information sharing from AXA Life employees (ex: Business career/Job-hunting, etc.)

Progress schedule of the class.

- 1. Guidance
- 2. Probability and Statistics 1/2
- 3. Probability and Statistics 2/2
- 4. Finance 1/2
- 5. Finance2/2
- 6. Financial Accounting 1/2
- 7. Financial Accounting 2/2
- 8. Managment Accounting
- 9. Economics 1/2
- 10. Economics 2/2
- 11. Marketing 1/2
- 12. Marketing 2/2
- 13-15. Summary

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

授業及びレポート共に日本語とする。

Lecture and report both in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

以下3点から総合的に判断（最終理解度確認セッションは実施しない）

- 1. 出席状況
- 2. 各授業後に出されるレポート
- 3. 全体を通した最終レポート

Comprehensively evaluated by following 3 points (No test nor session for final comprehension);

- 1. Attendance record
- 2. Each report submitted after the lecture<br

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎授業後に期限を設けて、課題を設定する予定。

An assignment will be set with deadline after each lecture.

10. その他/In addition :

2025年度は木曜3講時に開講予定（時間割表でも確認してください）。4月10日は休講予定（Google クラスルームで最新情報を確認してください）。

金融リテラシー/Financial Literacy

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YOSHIKAZU YOKOYAMA

曜日・講時/Day/Period：木曜5限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM215, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

将来の人生を設計する上で必要となるお金に関する正しい知識を習得し、適切な判断力を養うことを目標としています。技術の進歩や経済社会環境の変化が加速する中、ますます予測が難しい時代に突入しています。このような時代において、お金の役割や働き、リスクを理解し、社会で生き抜くためのヒントや答えにつながる学びを得ることで、ライフプランニングやキャリアプランニングの観点から、自主的に判断し行動できる態度を育むことが大切です。

The objective is to acquire accurate and essential knowledge about money that is fundamental to planning one's future life, as well as to cultivate the ability to make informed and appropriate decisions. As technological advancements and transformations in the economic and social landscape continue to accelerate, we are entering an increasingly unpredictable era. In such a context, it is crucial to comprehend the roles, functions, and potential risks associated with money. Furthermore, it is imperative to foster an attitude of autonomous decision-making and proactive engagement, particularly in the realms of life and career planning, by learning how to derive insights and solutions necessary for navigating contemporary society.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

一般的な金融リテラシーに加え、金融業界、地方創生、サステナビリティなどの理解を深め、金融経済に関する知識やケーススタディを学ぶことで、以下の3つの到達レベルを目指します。主体性：経済的に自立した生活を送るため、実生活で主体的に金融商品を活用する能力を養う 課題解決力：生涯を見通した生活の変化に応じて、生活設計や資産形成に関する課題を認識し、解決する力を養う 社会性：社会の持続的な発展のため、金融を通じて新たな価値創造に寄与する力を養います。

In addition to acquiring general financial literacy, students are expected to deepen their understanding of the financial industry, regional development, and sustainability. Through the study of financial economics and case analyses, they aim to achieve the following three educational objectives:

Initiative: To foster the ability to proactively and effectively utilize financial products in daily life, thereby supporting financial independence.

Problem-Solving Skills: To develop the capacity to identify and address issues related to life planning and asset formation in response to changes across the life course.

Social Skills: To cultivate the ability to contribute to the creation of new value through finance, promoting the sustainable development of society.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

SMBC グループの主要8社および七十七銀行で働く従業員が、各社の事例を基に講義を行います。基本的な金融商品・サービスの内容から、サステナビリティの実現を通じた社会課題の解決に向けた取り組みなど、金融業界に関する幅広い分野について学びます。これにより、社会とつながることで成長を実感し、より豊かな生活を送るために必要な金融知識を習得します。また、社会の持続的な発展のため、金融を通じて新たな価値創造に寄与する力を養うための授業計画となっています。

1. ガイダンス/企業説明

SMBC グループ、七十七銀行の紹介及び授業の概要説明

2. 次世代にむけた人生100年時代の金融リテラシー

次世代を担う若年層に必要な金融リテラシーの概要を説明

学ぶ目的を説明し、動機付けを行う

3. ライフプランニング、家計管理

実現したいライフイベントを洗い出し、実現に必要なお金を算出し計画的な貯蓄について学ぶ

4. キャリアプランニング

ライフプランの中からキャリア形成期に焦点を当て、中長期的なアクションプランを作成

講師の経験談を交え、漠然とした憧れを目標に変える

5. キャッシュレス

キャッシュレス推進の背景を学び、多角的な視点でキャッシュレス決済に関するメリット、デメリットを考える

6. お金を借りる／保険

ライフイベント実現に向けて資金計画を立てる上で、ローンの基礎知識とローン事情を学び、正しい判断力を養う

7. 資産運用（基礎・実践・リスク管理）

資産運用を実践する上でのリスク管理の知識を身に着ける

8. 資産形成

iDeCo、NISAをはじめとする資産形成の手段を学び、資金計画の選択肢を増やす

9. 消費者トラブル／支え合う社会の仕組み

身近な契約にまつわるトラブルの種類・手口を学び、正しい判断力を養う

社会保険制度、税金、社会保険料について学び、社会の仕組みを知る

10. リースと社会との繋がり

身近にある「リース」という金融商品を知り、脱炭素や循環型経済との関わりについて学ぶ

11. 地域金融×SDGs

企業のサステナブル経営に向けて各成長ステージでやるべきことを知る ～シード（創業期）からレイター（成熟期）まで～

12. 銀行の役割と地域金融の取組事例

銀行の社会的役割、地域金融機関との取り組みを知り、地域経済へ関心を高める

13. サステナビリティ

ESG やSDGs に関連する世界と日本の動きの全体像をはじめ、企業のサステナビリティへの取り組み状況について学ぶ

14. ライフプランニング表作成

キャリアプラン、家計予算を盛り込んだ、ライフプランニング表を作成

15. プレゼンテーション

ライフプランニング表、レポートをもとに小グループ内で発表

Employees from eight major companies within the SMBC Group, along with representatives from 77 Bank, will deliver lectures incorporating case studies from their respective organizations. These sessions will provide participants with a comprehensive understanding of the financial industry, covering topics ranging from fundamental financial products and services to advanced initiatives aimed at addressing societal challenges through the promotion of sustainability. Through these educational experiences, students will acquire essential financial knowledge that not only enhances their personal development and quality of life but also strengthens their connection to society. Moreover, the curriculum is structured to foster the capacity to contribute to the creation of new social value through finance, thereby supporting the sustainable development of society.

Course Structure and Topics:

1.Guidance / Company Introduction

Overview of the SMBC Group and 77 Bank, and an introduction to the objectives and structure of the course.

2.Financial Literacy for the Next Generation in the Era of a 100-Year Life

An overview of the financial literacy essential for young people expected to lead the next generation, including an explanation of the learning objectives and motivational guidance.

3.Life Planning and Household Budget Management

Identification of personal life goals, estimation of necessary financial resources, and learning the fundamentals of planned savings.

4.Career Planning

A focus on career development as part of life planning, with the creation of medium- to long-term action plans. Participants will refine their aspirations into concrete goals through the shared experiences of guest lecturers.

5.Cashless Economy

Examination of the rationale behind the promotion of cashless transactions, and analysis of their advantages and disadvantages from multiple perspectives.

6.Loans and Insurance

Introduction to basic concepts of borrowing and insurance, with emphasis on their roles in financial planning for life events. Development of decision-making skills regarding responsible financial choices.

7.Asset Management: Fundamentals, Practice, and Risk Management

Acquisition of foundational knowledge and practical skills in asset management, with particular attention to risk assessment and mitigation.

8.Asset Building

Exploration of asset-building methods such as iDeCo and NISA, aimed at broadening financial planning strategies.

9.Consumer Protection and Social Support Mechanisms

Study of common issues related to consumer contracts, including typical fraud schemes, and the development of the ability to make informed consumer decisions.

10.Leasing and Its Role in Society

Examination of leasing as a familiar financial instrument, and its relevance to decarbonization efforts and the circular economy.

11.Regional Finance and the SDGs

Consideration of the responsibilities of enterprises at various stages of growth-ranging from start-up to maturity-within the context of sustainable management and the Sustainable Development Goals (SDGs).

12.The Role of Banks and Regional Financial Initiatives

Analysis of the social role played by banks and their collaborative efforts with regional financial institutions, enhancing students' understanding of and engagement with local economies.

13.Sustainability

A comprehensive overview of global and domestic trends related to ESG (Environmental, Social, and Governance) and the SDGs, along with current practices in corporate sustainability initiatives.

14.Life Planning: Creation of a Personal Life Plan

Development of individual life planning charts, incorporating career goals and household financial plans.

15.Presentations

Group presentations based on individual life plans, followed by report writing to consolidate learning outcomes.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

金融機関の現役社員が主業務に関連する授業を担当し、これまでの業務で得た経験と知識を織り交ぜた講義を行います。

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行います。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認テスト(25%)、金融リテラシー検定(30%)、ライフプランニング表・レポートの提出(20%)、平常点(25%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

普段から新聞やWEB ニュースでの経済や社会の動向、企業の取組みについて情報収集してください。講義で使用した資料を読み込んで、内容を整理してください。またより深く学ぶため、インターネットや書籍等で授業に関連した情報を収集してください。予習復習は各1時間程度を目安とします。

10. その他/In addition :

講義ごとに資料を格納します。

アントレプレナーシップ/Entrepreneurship

担当教員/Instructor：早坂 昌彦 /MASAHIKO HAYASAKA

曜日・講時/Day/Period：火曜3限

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN220, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

将来何かしらの形で起業にかかわる意欲や可能性を持ち、ある程度事業アイデアを既に持っている学生を主な対象とする。講義は、学生が解決すべき課題を明確化し、解決策のアイデアを着想し、そのアイデアを事業プランの各項目毎に落とし込んでいくという流れで進む。最終講義では、複数人の前でプレゼンを実施し、そのプレゼンに関する聴衆からの Q&A に適切に答える、といった一連のプロセスを体験し、今後そのプロセスを再現できることを目的とする。また、各回の講義を通じて、そのために必要な経営理論や発想法等をケーススタディを通じてインタラクティブな形式で身に付けられるようにする。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

本講義を通じて、学生は以下の能力を身につけることを到達目標とする。

- ・課題発見力：自身の関心や社会的課題を整理し、解決すべき具体的な課題を特定する能力を習得する。
- ・アイデア創出力：多様な発想法を活用し、解決策のアイデアを創出し、それをビジネスモデルへと発展させる力を養う。
- ・事業計画構築力：事業アイデアを基に、事業プランの各要素（顧客セグメント、価値提案、収益モデル、マーケティング戦略など）を論理的に整理し、計画を具体化する力を身につける。
- ・プレゼンテーション力：自身の事業アイデアを的確に表現し、聴衆の関心を引きつけるプレゼンテーションスキルを向上させる。
- ・批判的思考力と対応力：プレゼンテーション後の質疑応答に対し、論理的かつ適切に対応する力を養う。
- ・実践的経営知識の習得：経営理論、起業プロセス、ケーススタディを通じて、実践的な知識を習得し、それを具体的な事業創造に活かす。
- ・チームワークとネットワーキング：起業家や専門家との交流を通じて、協力しながら学び、実際のビジネスシーンで活用できる人的ネットワークを築く。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

- 1 ガイダンス/リーンキャンパス：講義の目的と進め方を説明し、リーンキャンパスの基本を学ぶ。
- 2 顧客の課題：顧客の課題を発見・整理し、ビジネス機会として捉える方法を学ぶ。
- 3 価値提案・ソリューション：顧客の課題に対する独自の価値提案と解決策を設計する方法を学ぶ。
- 4 ビジネスモデル（収益の流れ・コスト構造）：収益化の仕組みとコスト構造を分析し、持続可能なビジネスモデルを設計。
- 5 市場機会（顧客セグメント）：市場規模やターゲット顧客を特定し、最適な市場機会を評価する。
- 6 競争環境：競合分析を行い、市場でのポジションと競争優位性を明確化する。
- 7 起業家による実際の事業計画プレゼン：実際の起業家によるプレゼンを通じて、事業計画の実践的な視点を学ぶ。
- 8 圧倒的な優位性：他社が簡単に模倣できない独自の競争優位性の構築方法を学ぶ。
- 9 マーケティング（チャネル・主要指標）：顧客獲得戦略やマーケティングチャネル、成功指標の設定を学ぶ。
- 10 財務予測：事業の収益計画を作成し、収益・コスト・資金管理の基礎を学ぶ。
- 11 チーム・資金調達：事業の成功に必要なチーム構築や資金調達の手法について学ぶ。
- 12 社会起業の場合（パーパス・インパクト）：社会的課題を解決するビジネスの特徴やパーパスの重要性を学ぶ。
- 13 プレゼンテーションのワークショップ：投資家や関係者に響くピッチの作り方と効果的な話し方を練習。
- 14 プレゼンテーション準備：最終プレゼンに向けて、スライド作成や発表のブラッシュアップを行う。
- 15 最終プレゼンテーション：事業プランを発表し、フィードバックを受けて今後の展開を考える。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course：

講義は日本語で行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method：

- ・毎回の講義・グループワーク・講義後アンケート等での貢献（30%）
- ・中間レポートの成果（30%）
- ・第15回のプレゼンテーションでの成果（40%）

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

起業原論	東出 浩教、他	中央経済社	2023	ISBN978-4502475610	参考文献
RUNNING LEAN	Ash Maurya	O'REILLY	2022	0	参考文献
Designing for Growth	Jeanne Liedtka and Tim Ogilvie	Columbia Business School	2011	0 ISBN978-4502475610	参考文献

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業時間外の学修として、毎回の講義後のアンケートの提出、中間レポートの作成、最終プレゼンの準備などがあり、平均すると週 1 時間程度の時間を要すると見込まれる。

10. その他/In addition :

【クラスコード： rkyq6y6】

応用数理/Applied Mathematics

担当教員/Instructor : 狩野 隼輔 /SHUNSUKE KANO

曜日・講時/Day/Period : 木曜 4 限

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM233, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

近年、経済学におけるネットワーク分析、データサイエンス、機械学習などにおいて、グラフ理論の考え方が重要な役割を果たしている。本講義では、グラフ理論を中心に離散数学の基本概念を学び、その応用としてスペクトルグラフ理論についても紹介する。

2. 学修の到達目標/Goal of study :

離散数学・グラフ理論の基本概念を理解し、経済データやネットワーク分析への応用をイメージできるようにすること。グラフの構造を特徴づける手法（探索アルゴリズム、スペクトルグラフ理論）を理解すること。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. ガイダンス、グラフの定義（無向・有向グラフの基礎、応用例）
2. 集合と関係（グラフの表現としての集合、二項関係と同値関係）
3. 有向グラフの基礎（強連結成分分解、DAG の概念）
4. 木と最短経路（ダイクストラ法、最小全域木）
5. グラフの位相的性質（オイラー路・ハミルトン路、平面グラフ）
6. ネットワークと流れ問題（最大流・最小カット定理、応用）
7. 線形代数の復習（行列、固有値、特異値分解の基礎）
8. グラフの行列表現（隣接行列、ラプラシアン行列、正規化ラプラシアン）
9. スペクトルグラフ理論入門（固有値とグラフの構造、チーガー不等式）
10. クラスタリングとスペクトル法（k-平均法、スペクトルクラスタリング）
11. ハイパーグラフ入門（ハイパーエッジ、応用）
12. グラフフーリエ変換（グラフ信号処理の基礎、応用）
13. 有向グラフのスペクトル解析（PageRank、Google マトリクス）
14. 応用例（経済ネットワーク、金融市場分析、ソーシャルネットワーク解析）
15. 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

数回のレポートと理解度確認セッションで評価する予定である。詳しくは授業初回で説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

グラフ理論入門	R. J. ウィルソン	近代科学社	参考書
	(著), 西関隆夫,		
	西関裕子(訳)		
スペクトルグラフ理論	吉田悠一	サイエンス社	参考書
Graph Theory with Applications to Engineering and Computer Science	Narsingh Deo	PHI Learning	参考書
Spectral and Algebraic Graph Theory	Daniel Spielman		参考書

8. 関連URL/URL :

classroom コード : piz3x5y

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

参考書4は著者のホームページからドラフトをダウンロード可能：
<http://cs-www.cs.yale.edu/homes/spielman/sagt/sagt.pdf>

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：北川 章臣 /AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：古谷 豊 /YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔 /KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period : 水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川名 洋 /YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹 /NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日置 史郎 /SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次 /SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：浅野 康司 /KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：久保田 荘 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：久保田 荘 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：久保田 莊 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：久保田 莊 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：久保田 莊 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：久保田 莊 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：久保田 莊 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：久保田 莊 /SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period : 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period : 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /YUTA KURODA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：松田 安昌 /YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period: 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日引 聡 /AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：泉田 成美 /SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor : LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor: LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor: LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor: LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : LI YANJUN /LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：川端 望 /NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜4限、金曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period : 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜4限、金曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜4限、金曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：永易 淳 /JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄 /MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘 /KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period: 水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗 /NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：若林 緑 /MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：吉田 浩 /HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：湯田 道生 /MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：石原 卓弥 /TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : B A I YU /BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics(I)A

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之 /MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜4限、金曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period: 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：結城 武延 /TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：吉永 裕登 /YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：松田 康弘 /YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：尾関 規正 /NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor : KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor : KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG /KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：室井 芳史 /YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period: 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：石垣 司 /TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：李 銀星 /YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一 /KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介 /SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management（Ⅱ）A

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：一小路 武安 /TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period: 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：秋池 篤 /ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 4 限、水曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：福嶋 路 /MICH I FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period : 月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /NGUYEN CHI NGHIA

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period: 火曜 4 限、火曜 5 限

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：菅原 歩 /AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：火曜4限、火曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃 /AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：金曜 4 限、金曜 5 限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (Ⅰ)A

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：水曜4限、水曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：西出 優子 /YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：月曜4限、月曜5限

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

民法/Civil Law

担当教員/Instructor：学務テスト 教員1 /SHIGEMITSU ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：水曜2限、金曜1限

対象学年/Eligible Participants：3・4

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-LAW801J, 単位数/Credit(s)：4.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom：

分業社会の今日、我々は他人の財物を獲得したりサービスを受けて生活をしているが、それらの獲得手段として契約がある。この契約を法的にみるとどのようなことになるのか。とりわけ紛争が生じた場合にはどのように法的に解決されるのか。具体的に身の回りで生ずる紛争を例示しながら、民法やその他の特別法（消費者契約法・特定商取引法・割賦販売法・借地借家法、など）がどのようにルールづけているのか、つまりはどのような条文が適用されるのかを具体的にみていくことにする。さらには、条文を適用する際に条文を解釈することも必要となり、裁判所においてどのように解釈され、法律が適用されているのかも含めてみていくことにする。これにより、経済活動をルールづけている民法を具体的に知ることができるとともに、経済活動を多面的・立体的にみることもできるようになる。

またこれらを通じて、法的思考方法を理解し、身に付け、社会で起きている様々な紛争を法的にみることができるようになるとともに、権利意識を身につけることを目的とする。

This course provides explanations of the economic transaction based on the concepts of law and helps students learn how to resolve conflict by applying law, as well as deepen understanding of its court decision.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

1. 様々な取引関係（契約）を法的に説明することができる。
2. 争いが生じた場合、法律を適用することによってどのように解決されるのかを説明することができる。
3. 民法上の主要な争いについての裁判所の判断を説明することができる。

The purpose of this course is to help students explain many cases of economic conflict and their court decisions by developing thinking skills through lectures.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

第1回：ガイダンス1（法学入門、法的思考とは何か、法律を学ぶことの意義・方法）

第2回：ガイダンス2（民法とは何か）

第3回：権利主体としての自然人と法人

第4回：契約の成立要件（申込と承諾）

第5回：契約の有効要件としての能力（意思能力と行為能力）

第6回：契約の有効要件としての意思表示

第7回：契約の有効要件としての目的

第8回：有権代理・無権代理

第9回：表見代理

第10回：解除・クーリングオフ

第11回：弁済の要件

第12回：弁済の効果

第13回：消滅時効

第14回：債務不履行1（履行強制）

第15回：債務不履行2（損害賠償請求 その1 要件）

第16回：債務不履行3（損害賠償請求 その2 範囲）

第17回：売買契約1（双務契約の原則）

第18回：売買契約2（契約不適合）

第19回：売買契約3（物権の取得）

第20回：売買契約4（不動産物権変動）

第21回：売買契約5（動産物権変動）

第22回：賃貸借契約1（総説）

第23回：賃貸借契約2（不動産賃貸借）

第24回：消費貸借契約

第25回：担保の必要性

第26回：人的担保1（保証）

第27回：人的担保2（連帯債務）

第28回：物的担保1（抵当権）

第29回：物的担保2（非典型担保）

第30回：まとめ（理解度確認セッション・授業を振り返って）

This is a lecture-based course.

The contents and schedule are as shown below:

- 1) Learn about 'claims and obligations' based on a contract.
- 2) Understand requirements for various contracts.
- 3) Recognize the occurrence and extinction of 'claims and obligations' based on case studies.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

講義は日本語で行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

数回行うレポート課題の評価が 50%、理解度確認セッションの評価が 50%。
なお、評価基準は、
専門用語を正確に理解しているか、
条文を事実に適切に当てはめることができるか、
条文自体の解釈が複数ある場合に自分の考えを論理的に展開することができるか、
であるが、より詳細には開講時に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

オリエンテーション 民法〔第3版〕	松久三四彦ほか	有斐閣	2024 年 10 月	9784641233386	参考書
契約法入門	窪田充見	弘文堂	44621	9784335359033	参考書
消費者のための 民法入門	村千鶴子	新世社	43678	97848838429889784641233386	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

レジュメを配布します。レジュメには項目の最初に設問を設定しています。予習として、この設問に答えてみる。まずは自分の感覚として答えを考え、ついで参考書等で調べ、最後に授業で確認してください。その際、自分の考えとの異同を確認し、どうしてそのような答えになるのかを自ら考えてみてください。
毎回の授業が終わったら、何が理解できて何が理解できないのかを確認する。理解できない部分は、まずは自分で調べ、それで解決できない場合にはメール等で質問してください。

10. その他/In addition :

メールアドレスは、s-ishigaki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp です。

簿記1/Bookkeeping 1

担当教員/Instructor: 成田 由加里 /YUKARI NARITA

曜日・講時/Day/Period: 水曜 6 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC295J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

企業の経済活動を表す財務諸表を作成するために基本となる簿記の考え方を学ぶ。対象とするのは個別財務諸表であり、個別財務諸表作成レベルの簿記の理解をその目的とする。経済環境に新たな変化に対し、販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方の「幹」を太くすることにより、どのような場面でも柔軟に対応できる基礎力が養われることが本講義の目的である。

To learn the basics of bookkeeping to prepare financial statements that represent the economic activities of companies. The focus of the course is on individual financial statements. The goal of this course is to develop the ability to respond flexibly in any situation by fully understanding the "core" of the bookkeeping concept, while being aware of business processes such as sales, financing, and investment, even if a new change occurs in the economic environment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方や背景を理解し、個々の取引を会計の表現方法に変換し財務諸表作成に至る会計処理を修得することを学修の到達目標とする。

The objective of this course is to understand the concept and background of accounting by being aware of business processes such as sales, financing and investment, and to master the accounting processes to prepare financial statements by converting individual transactions into accounting expressions.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回: オリエンテーション・簿記勘定体系とビジネスプロセス/Orientation・Bookkeeping Chart and Business Process

講義の概要、講義の進め方、成績評価、学習方法（予習・復習）などについてシラバスを用いて確認する。

第2回: 【損益計算】一般商品販売/General product sales

損益計算の基本に関する会計処理を学ぶ。

第3回: 【損益計算】一般商品販売・消費税/General product sales and consumption tax

損益計算の基本と消費税に関する会計処理を学ぶ。

第4回: 【損益計算】棚卸資産/Inventories

売上原価を算定するうえで重要なファクターである棚卸資産の算定方法を学ぶ。

第5回: 【損益計算】商品売買～委託販売/Product Sales-Consignment Sales

委託売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第6回: 【損益計算】商品売買～試用販売/Product Sales-Trial Sales

試用売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第7回: 【損益計算】商品売買～その他 / Special Product Sales- Others

その他売買について、ビジネスプロセスを理解し収益認識基準に基づく商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第8回: 【損益計算】工事契約に関する会計処理（建設業会計）/Accounting for construction contracts

請負工事収益の認識基準に基づく会計処理を学ぶ。

第9回: 【金融商品】現預金・金銭債権/Cash and deposits, monetary receivables

貸借対照表の構造を理解し、現預金・金銭債権の評価に基づく会計処理を学ぶ。

第10回: 【金融商品】貸倒引当金/Allowance for doubtful accounts

キャッシュ・フロー見積法等貸倒引当金の会計処理及び貸倒引当金に関する BS・PL 表示を学ぶ。

第11回: 【金融商品】有価証券/Securities

有価証券の4分類及び有価証券の期末評価に関し、評価方法・評価差額の処理とその理由について学ぶ。

第12回: 【固定資産】有形固定資産/Tangible fixed assets

①取得②費用化③減少④資産性に関する評価の4つのフェーズから①②の会計処理を学ぶ。

第13回: 【固定資産】有形固定資産/Tangible fixed assets

①取得②費用化③減少④資産性に関する評価の4つのフェーズから③④の会計処理を学ぶ。

第14回: 理解度確認セッション/Examination

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

第15回: 総括/Review

理解度確認セッションの確認のほか、講義全体を通じた総括を行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

・理解度確認 セッション (60%)・予習復習理解度確認セッション (小テスト) + 課題 (40%) で評価する。

・ AA (90 点以上)、A (80 点以上 90 点未満)、B (70 点以上 80 点未満)、C (60 点以上 70 点未満)、D (60 点未満; 不合格)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

必要に応じて講義で紹介する.

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習範囲をクラスルームで示すので、予習範囲に関して、疑問点を整理して講義に臨むこと.
毎回、予習・復習確認セッション（小テスト）を予定している.

第1回目

復習：クラスルームで示される課題に取り組む.

第2回目

予習：クラスルームに示されるテキスト等範囲に計算も含めて取り組み、不明な点を明らかにする.

復習：クラスルームで示される課題に取り組む. 講義後に配信される小テストの解答・解説を確認すること.

第3回目

予習：クラスルームに示されるテキスト等範

10. その他/In addition :

履修条件：日商簿記2級程度の知識を有することが望ましい
PC 及び電卓持参のこと.

授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom コード等については、会計大学院学内掲示 (<https://www2.econ.tohoku.ac.jp/%7Etuasad/keiji.html>) 内の講義関連情報にある「授業方法一覧（シラバス補遺）」にて確認すること（要 東北大 ID）

簿記2/Bookkeeping 2

担当教員/Instructor: 成田 由加里 /YUKARI NARITA

曜日・講時/Day/Period: 水曜6限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC296J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

企業の経済活動を表す財務諸表を作成するために基本となる簿記の考え方を学ぶ。対象とするのは個別財務諸表であり、個別財務諸表作成レベルの簿記の理解をその目的とする。経済環境に新たな変化に対し、販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方の「幹」を太くすることにより、どのような場面でも柔軟に対応できる基礎力が養われることが本講義の目的である。

To learn the basics of bookkeeping to prepare financial statements that represent the economic activities of companies. The focus of the course is on individual financial statements. The goal of this course is to develop the ability to respond flexibly in any situation by fully understanding the "core" of the bookkeeping concept, while being aware of business processes such as sales, financing, and investment, even if a new change occurs in the economic environment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方や背景を理解し、個々の取引を会計の表現方法に変換し財務諸表作成に至る会計処理を修得することを到達目標とする。

The objective of this course is to understand the concept and background of accounting by being aware of business processes such as sales, financing and investment, and to master the accounting processes to prepare financial statements by converting individual transactions into accounting expressions.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回: オリエンテーション・研究開発費とソフトウェア/Orientation, R & D expenses and software
講義の概要、成績評価、学習方法などについて説明を行い、市場販売目的ソフトウェア等の会計を学ぶ。

第2回: 資産除去債務/ Asset retirement obligations

会計基準の基本的考え方を理解した上で資産除去債務の基本型及び債務見積りの変更の会計処理を学ぶ。

第3回: 減損/ Impairment

減損の重みを理解した上で認識・測定の基本形を学び、のれん・共用資産がある場合の減損会計を学ぶ。

第4回: リース/ Lease

リース取引=「固定資産取引」+「金融取引」と理解した上で、取得・費用化の観点から会計を理解する。

第5回: 引当金・退職給付引当金/ Provisions and Provision for retirement benefits

引当金及び引当金に加えて特有の事象を有する退職給付会計（個別）について理解しその会計処理を学ぶ。

第6回: 退職給付引当金/ Provision for retirement benefits

①基本: 企業会計原則+ ②特有の事象 (1) 年金資産～控除 (2) 数理計算上の差異等～遅延認識を学ぶ。

第7回: 純資産/ Net assets

純資産の部、株主資本の変動を理解し、欠損填補、自己株式の取得、処分、消却時等の会計処理を学ぶ。

第8回: 純資産・ストック・オプション/ Net assets, Stock option

新株予約権の発行時、権利行使時等の会計処理を理解した上で、ストック・オプションの基本を学ぶ。

第9回: スtock・オプション/ Stock option

適正な期間損益計算のため株式報酬費用の適切配分及び条件変更時の会計処理を学ぶ。

第10回: 金融商品～デリバティブ/ Financial Instruments-Derivative

先物取引、オプション取引等デリバティブに関する会計処理を理解する。

第11回: 金融商品～デリバティブ・ヘッジ/ Financial Instruments-Derivative Hedging

デリバティブを基礎にヘッジ会計が果たす有用な役割を理解した上でヘッジ会計の会計処理を学ぶ。

第12回: 外貨換算/ Foreign currency conversion

外貨建取引の換算、外貨建金銭債権債務の換算、外貨建有価証券の換算、為替予約について学ぶ。

第13回: 税効果会計/ Tax effect accounting

法人税、地方税、特に事業税の課税特質、繰越欠損金制度を理解し資産負債法による計算方法を学ぶ。

第14回: 理解度確認セッション/Examination

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

第15回: 総括/ Review

理解度確認セッションの確認のほか、講義全体を通じた総括を行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

・理解度確認 セッション (60%)・予習復習理解度確認セッション (小テスト) + 課題 (40%) で評価する。

・ AA (90点以上)、A (80点以上 90点未満)、B (70点以上 80点未満)、C (60点以上 70点未満)、D (60点未満; 不合格)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

必要に応じて講義で紹介する.

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習範囲をクラスルームで示すので、予習範囲に関して、疑問点を整理して講義に臨むこと.
毎回、予習・復習確認セッション（小テスト）を予定している.

第1回目

復習：クラスルームで示される課題に取り組む.

第2回目

予習：クラスルームに示されるテキスト等範囲に計算も含めて取り組み、不明な点を明らかにする.

復習：クラスルームで示される課題に取り組む. 講義後に配信される小テストの解答・解説を確認すること.

第3回目

予習：クラスルームに示されるテキスト等範

10. その他/In addition :

履修条件：日商簿記2級程度の知識を有することが望ましい
PC 及び電卓持参のこと.

授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom コード等については、会計大学院学内掲示 (<https://www2.econ.tohoku.ac.jp/%7Etuasad/keiji.html>) 内の講義関連情報にある「授業方法一覧（シラバス補遺）」にて確認すること（要 東北大 ID）

原価計算 1 / Cost Accounting 1

担当教員/Instructor: 鈴木 翔太 / SYOTA SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 土曜 3 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC297J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

工業簿記及び原価計算の基礎を身につけることを目的としている。

講義では、演習問題を取り入れながら原価計算を支える理論や計算システムについて学習していく。

/The aim is to teach the basics of industrial bookkeeping and cost accounting.

In the lectures, students will study the theory and calculation systems that support cost accounting while incorporating practice problems.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

1. 原価計算の目的と諸概念について説明できる。

2. 原価計算システムの理論構造を理解し、説明できる。

3. 原価計算の計算問題を解くことができる。

1. Explain the purpose and various concepts of cost accounting.

2. Understand and explain the theoretical structure of the cost accounting system.

3. Can solve calculation problems of cost accounting.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

講義の進め方:

・1回目の講義で講義の概要、進め方、成績評価、学習方法などについて説明を行う/In the first lecture, we will explain the outline of the lecture, how to proceed, grade evaluation, learning method, etc.

・テキストをベースとして、各講義で概ね一つのテーマについて講義する/Based on the textbook, each lecture will give a lecture on almost one theme.

・各セクションには練習問題を設けており、それを中心に復習する/Each section has exercises, and we will review them mainly.

・原則として毎回講義の冒頭に小テストを実施する./In principle, a quiz will be given at the beginning of each lecture.

・練習問題の一部はショートレポートとして提出を求める/Some exercises are required to be submitted as a short report

第1回: オリエンテーション、工業簿記・原価計算の基礎 1 / Orientation・Basic of industrial bookkeeping and cost accounting1

講義の目的および全体のフレームワーク、進め方、成績評価方法、学習方法に関するガイダンスを行う。その上で、原価計算の目的と原価概念について講義する。

第2回: 工業簿記・原価計算の基礎 2 / Basic of industrial bookkeeping and cost accounting2

原価計算の手続きと勘定連絡及び財務諸表との関係について講義する。

第3回: 費目別原価計算 (材料費) / Item cost accounting I (Material cost)

材料費の分類及び会計処理方法について講義する。

第4回: 費目別計算 (労務費計算) / Item cost accounting (Labor cost)

労務費の分類及び会計処理方法について講義する。

第5回: 費目別計算 (経費計算) / Manufacturing overhead

経費の分類及び会計処理方法について講義する。

第6回: 製造間接費 / Manufacturing overhead

製造間接費の配賦方法について講義する。

第7回: 演習問題 (費目別計算) / Exercises

原価計算 1 の第6回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第8回: 個別原価計算 / Single process costing

個別原価計算の計算手続について講義する。

第9回: 個別原価計算における仕損 / Spoilage expenses Shrinkage loss in Job order costing

個別原価計算における仕損及び作業屑の計算手続について講義する。

第10回: 演習問題 (個別原価計算) / Exercises

原価計算 1 の第9回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第11回: 部門別計算 / Departmental cost accounting

部門別計算の計算手続について講義する。

第12回: 部門別計算 / Departmental cost accounting

部門個別費と部門共通費の集計 (第1次集計) について講義する。

第13回: 部門別計算 / Departmental cost accounting

補助部門費の配賦 (第2次集計) について講義する。

第14回: 演習問題 (部門別原価計算) / Exercises

原価計算 1 の第13回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第 15 回：演習問題(理解度確認セッション)/Exercises

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答考査を実施する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

成績評価法 :

理解度確認セッション (50%)、レポート・小テスト (50%)

・AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満 : 不合格)

Evaluation method:

Understanding level confirmation session (50%), report/quiz (50%)

・AA (90 points or more), A (80 points or more)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商1級 工業簿記・原価計算 1 費目別計算 個別原価計算編 第2版(旧:TAC 簿記の教室シリーズ) 鈴木 隆文 著 TAC 出版 2019 9.7848132858e+12 教科書

9.7848132858e+12

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

第1回目

予習：事前に教科書に目を通し、講義の概要を把握すること。

復習：講義中に指定される課題に取り組む。

第2回目

予習：事前に教科書に目を通し、講義の概要を把握すること。

復習：講義中に指定される課題に取り組む。

第3回目

予習：事前に教科書に目を通し、講義の概要を把握すること。

復習：講義中に指定される課題に取り組む。

第4回目

予習：事前に教科書に目を通し、講義の概要を把握すること。

復習：講義中に指定される課題に

10. その他/In addition :

・オフィスアワー/office hour : 講義終了後/After the lecture

連絡先/contact address : shota.suzuki.e5@tohoku.ac.jp

その他/others :

・簿記2級程度の知識を有していることが望ましい。 / It is desirable to have knowledge of bookkeeping level 2.

・電卓を用意しておくこと。/Prepare a calculator.

授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom コード等については、会計大学院学内掲示 (<https://www2.econ.tohoku.ac.jp/%7Etuasad/keiji.html>) 内の講義関連情報にある「授業方法一覧(シラバス補遺)」にて確認すること (要 東北大 ID)

原価計算 2 / Cost Accounting 2

担当教員/Instructor: 鈴木 翔太 / SYOTA SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 土曜 2 限

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC298J, 単位数/Credit(s): 2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

工業簿記及び原価計算の基礎を身につけることを目的としている。

講義では、演習問題を取り入れながら原価計算を支える理論や計算システムについて学習していく。

/The aim is to teach the basics of industrial bookkeeping and cost accounting.

In the lectures, students will study the theory and calculation systems that support cost accounting while incorporating practice problems.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

1. 原価計算の目的と諸概念について説明できる。

2. 原価計算システムの理論構造を理解し、説明できる。

3. 原価計算の計算問題を解くことができる。

1. Explain the purpose and various concepts of cost accounting.

2. Understand and explain the theoretical structure of the cost accounting system.

3. Can solve calculation problems of cost accounting.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

講義の進め方:

・1回目の講義で講義の概要、進め方、成績評価、学習方法などについて説明を行う/In the first lecture, we will explain the outline of the lecture, how to proceed, grade evaluation, learning method, etc.

・テキストをベースとして、各講義で概ね一つのテーマについて講義する/Based on the textbook, each lecture will give a lecture on almost one theme.

・各セクションには練習問題を設けており、それを中心に復習する/Each section has exercises, and we will review them mainly.

・練習問題の一部はショートレポートとして提出を求める/Some exercises are required to be submitted as a short report

・Google Classroom: vp2ltd7

第1回: 単純総合原価計算 / Single process costing

単純総合原価計算について概説する

第2回: 総合原価計算における仕損費・減損 I / Spoilage expenses Shrinkage loss in process cost system

総合原価計算における仕損費・減損について概説する

第3回: 総合原価計算における仕損費・減損 II / Spoilage expenses Shrinkage loss in process cost system

総合原価計算における仕損費・減損について概説する

第4回: 工程別総合原価計算 I / Sequential cost system I

工程別総合原価計算について概説する

第5回: 工程別総合原価計算 II / Sequential cost system II

工程別総合原価計算について概説する

第6回: 組別・等級別総合原価計算 / Class cost system ・ Group cost system

組別・等級別総合原価計算について概説する

第7回: 連産品の原価計算 / CO-product

連産品の原価計算について概説する

第8回: 演習問題 (総合原価計算) / Exercises

総合原価計算の演習を実施する。

第9回: 標準原価計算 I / Standard cost system I

標準原価計算について概説する

第10回: 標準原価計算 II / Standard cost system II

標準原価計算について概説する

第11回: 標準原価計算 III / Standard cost system III

について概説する

第12回: 標準原価計算 IV / Standard cost system IV

標準原価計算について概説する

第13回: 標準原価計算 V / Standard cost system V

標準原価計算について概説する

第14回: 演習問題 2 (標準原価計算) / Exercises2

標準原価計算に係る問題演習を通じて理解を深める

第15回: 演習問題 (理解度確認セッション) / Exercises

理解度確認セッションを実施する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

成績評価法 :

理解度確認セッション (50%)、レポート・小テスト (50%)

・AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満 : 不合格)

Grading method:

Understanding level confirmation session (50%), report/quiz (50%)

・AA (90 points or more), A (80 points or m

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

みんなが欲しかった! 簿記の教科書 日商1級 工業簿記・原価計算 2 総合原価計算・標準原価計算編 第2版(旧:TAC 簿記の教室シリーズ) 鈴木 隆文 著 TAC 出版 2019 9.7848132858e+12 教科書

9.7848132858e+12

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

第1回目

予習: 事前に教科書に目を通し, 講義の概要を把握すること.

復習: 講義中に指定される課題に取り組む.

第2回目

予習: 事前に教科書に目を通し, 講義の概要を把握すること.

復習: 講義中に指定される課題に取り組む.

第3回目

予習: 事前に教科書に目を通し, 講義の概要を把握すること.

復習: 講義中に指定される課題に取り組む.

第4回目

予習: 事前に教科書に目を通し, 講義の概要を把握すること.

復習: 講義中に指定される課題に

10. その他/In addition :

オフィスアワー: 講義終了後

連絡先: shota.suzuki.e5@tohoku.ac.jp

その他講義を受講する際注意すべき点/others :

・簿記2級程度の知識を有していることが望ましい. / It is desirable to have knowledge of bookkeeping level 2.

・前期に開講される原価計算1を履修していることが望ましい. /It is desirable to have taken Cost Accounting 1, which is offered in the first semester.

・電卓を用意しておくこと/Prepare a calculator.

授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom コード等については、会計大学院学内掲示 (<https://www2.econ.tohoku.ac.jp/%7Etuasad/keiji.html>) 内の講義関連情報にある「授業方法一覧(シラバス補遺)」にて確認すること (要 東北大 ID)

インターンシップ/Internship

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：集中講義

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM297J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school & for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。

※Google Classroomを活用します（大学院の受講生についても学部のクラスと合同になります）。

前期クラスコード：sjohk2r

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は5月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）の該当クラスに参加する。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口へ提出する。

※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp（：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務揭示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP、民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。

参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口へ提出する。

※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。

その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

- (1) 受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
- (2) 受入機関での実習時間数が「40 時間以上」であること**
- (3) 当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
- (4) 本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
- (5) 受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

* 実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップとして実施されるものに限る。報酬・手当の有無は問わない。

** 単独または複数の実習プログラムを合算して 40 時間以上であればよい。ただし 20 時間を下回るプログラムを合算対象にすることはできない。

*** 原則として、学内の事前研修（当該履修登録学期）最終クラスの終了日翌日から次学期の事前研修最終クラスの終了日までを期間として定める。たとえば第 1 学期に履修登録した場合は、5 月頃から 11 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となり、第 2 学期に履修登録した場合は、11 月頃から翌年 5 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となる。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

10. その他/In addition :

問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係 インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

インターンシップ/Internship

担当教員/Instructor：高浦 康有 /YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：集中講義

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM297J, 単位数/Credit(s)：2.00 単位

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。

※Google Classroomを活用します（大学院の受講生についても学部クラスと合同になります）。

前期クラスコード：gzp6ddt

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は5月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）の該当クラスに参加する。

※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学BCPレベルにも拠りますので、Classroomからのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口へ提出する。

※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp（：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務揭示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP、民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能です。

参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口へ提出する。

※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。

その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship

program.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

- (1) 受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
- (2) 受入機関での実習時間数が「40 時間以上」であること**
- (3) 当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
- (4) 本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
- (5) 受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

* 実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップとして実施されるものに限る。報酬・手当の有無は問わない。

** 単独または複数の実習プログラムを合算して 40 時間以上であればよい。ただし 20 時間を下回るプログラムを合算対象にすることはできない。

*** 原則として、学内の事前研修（当該履修登録学期）最終クラスの終了日翌日から次学期の事前研修最終クラスの終了日までを期間として定める。たとえば第 1 学期に履修登録した場合は、5 月頃から 11 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となり、第 2 学期に履修登録した場合は、11 月頃から翌年 5 月頃にかけて実施されるプログラムが対象となる。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

10. その他/In addition :

問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係 インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）